

新座市子育て支援に関するアンケート調査 結果報告書

平成 26 年 3 月
新座市

○目次

はじめに	1
1 調査の実施概要	2
2 報告書をみるにあたっての注意点	2
第1章 就学前児童保護者対象調査	3
1 お子さんご家族の状況について	4
2 お子さんの育ちをめぐる環境について	7
3 お子さんの母親・父親の就労状況について	9
4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	17
5 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	28
6 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	34
7 お子さんの病気の際の対応について	37
8 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	42
9 お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	48
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	55
11 新座市の子育て支援について	65
12 子育てで日頃感じていることについて	66
自由回答	69
第2章 就学児童保護者対象調査	79
1 お子さんご家族の状況について	80
2 お子さんの育ちをめぐる環境について	83
3 お子さんの母親・父親の就労状況について	85
4 お子さんの放課後の過ごし方について	93
5 お子さんの病気の際の対応について	103
6 お子さんの不定期または宿泊を伴う一時預かり等の利用について	107
7 新座市の子育て支援について	111
8 子育てで日頃感じていることについて	112
自由回答	115

はじめに

1 調査の実施概要

1. 調査の目的

本調査は、平成 26 年度に「新座市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたっての基礎資料を得るため、子育てをしている市民の子ども・子育てに関する生活実態、教育・保育事業の利用状況や利用意向、その他子育て施策全般に係るご意見、ご要望を把握することを目的として実施しました。

2. 実施概要

- ◇ 調査地域： 新座市全域
- ◇ 調査対象者： ①就学前児童とその保護者 3,000 件
②就学児童とその保護者 1,000 件
※ともに平成 25 年 10 月 1 日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- ◇ 調査期間： 平成 25 年 11 月 8 日～11 月 25 日
- ◇ 調査方法： 郵送配布・郵送回収及び持参回収（督促を兼ねたお礼状発送 1 回）

3. 回収結果

調査種類	配布件数	回収件数	回収率
①就学前児童	3,000	1,799	60.0%
②就学児童	1,000	574	57.4%
①、②合計	4,000	2,373	59.3%

2 報告書をみるにあたっての注意点

- 1 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- 2 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しています。そのため、その合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 3 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は 100%を超える場合があります。
- 4 図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 5 選択肢の語句が長い場合、本文及びグラフ中では省略した表現を用いている場合があります。
- 6 クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸となる項目の「無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。

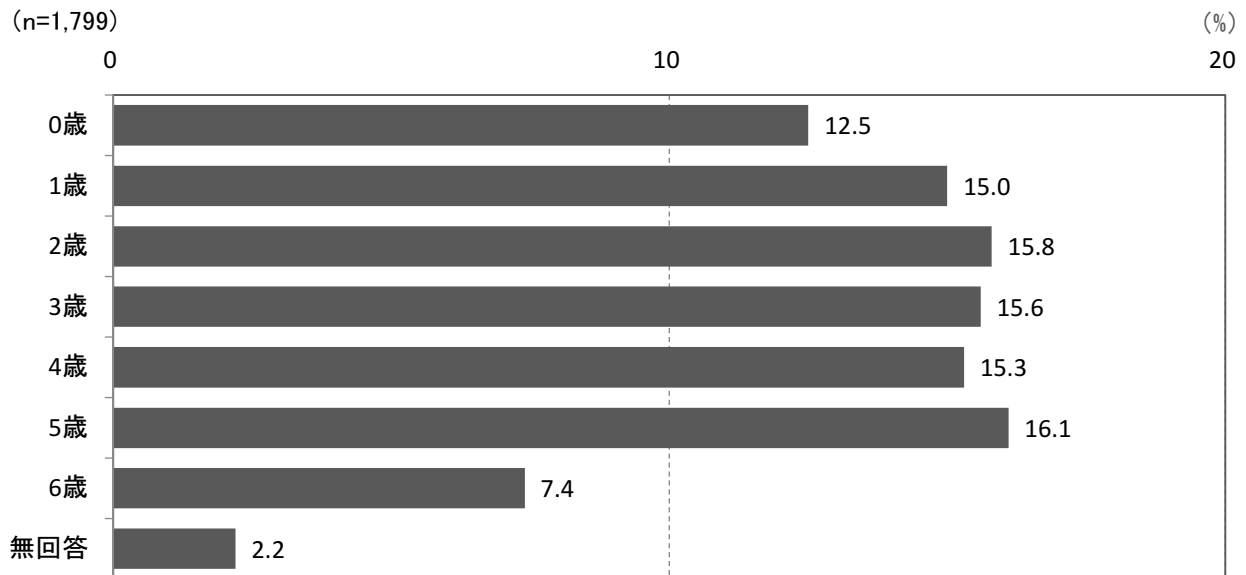
第 1 章

就学前児童保護者対象調査

1 お子さんとご家族の状況について

問1 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数量回答) ※年齢に換算

宛名のお子さんの年齢は、「5歳」が16.1%で最も多く、次いで「2歳」が15.8%、「3歳」が15.6%となっています。

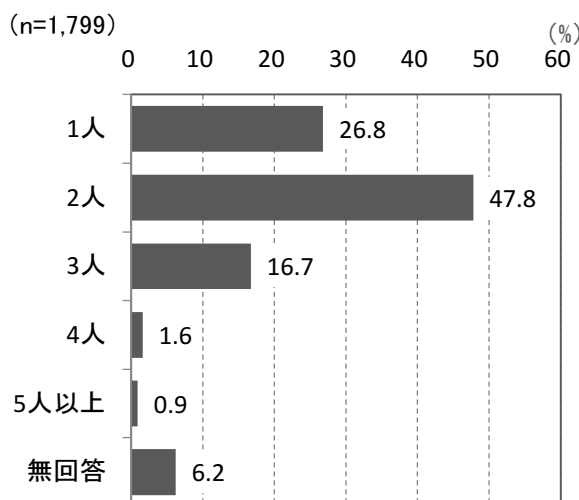


問2 宛名のお子さんのきょうだいは、何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(数量回答)

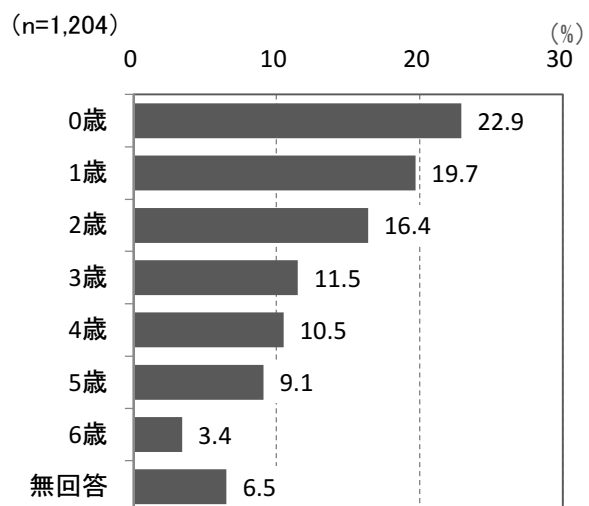
宛名のお子さんのきょうだいの人数は、「2人」が47.8%で最も多く、次いで「1人」が26.8%、「3人」が16.7%となっています。

また、きょうだいの末子の方の年齢は「0歳」が22.9%で最も多く、次いで「1歳」が19.7%、「2歳」が16.4%となっています。

《きょうだいの人数》

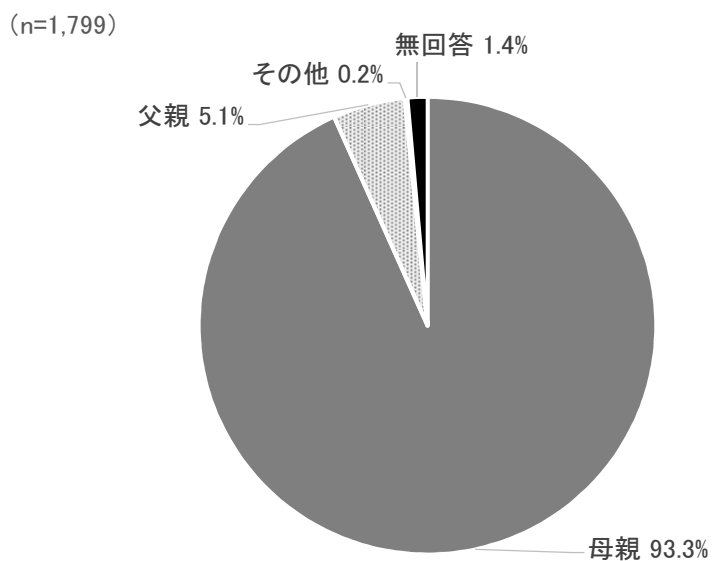


《末子の年齢》



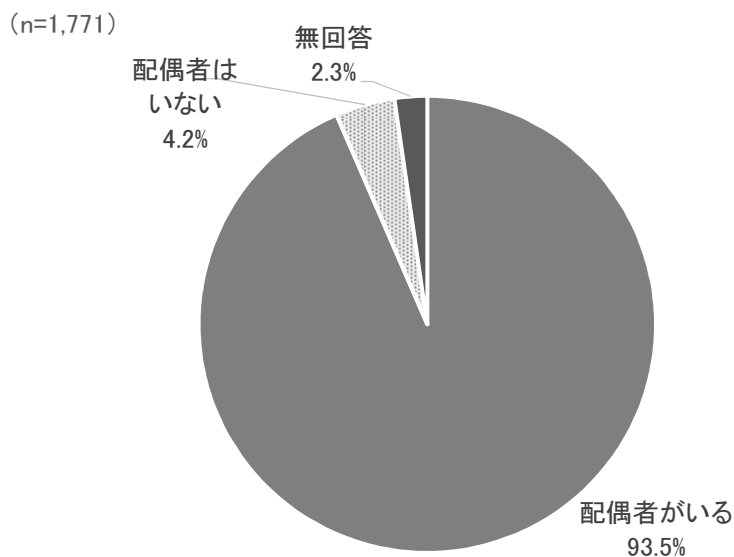
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(単数回答)

調査票の回答者は、「母親」が93.3%、次いで「父親」が5.1%となっています。



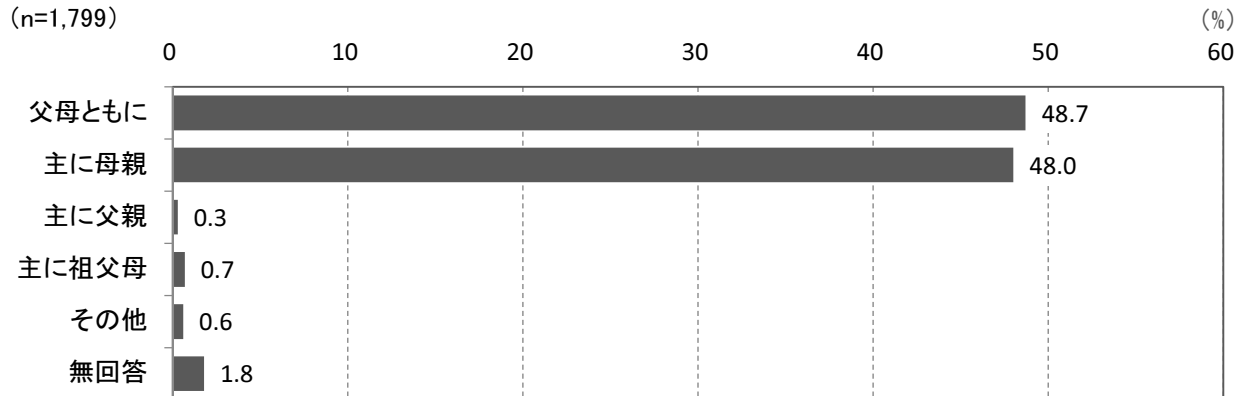
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶者関係についてお答えください。(単数回答)

回答者の配偶者関係は、「配偶者がいる」が93.5%で最も多く、次いで「配偶者はいない」が4.2%となっています。



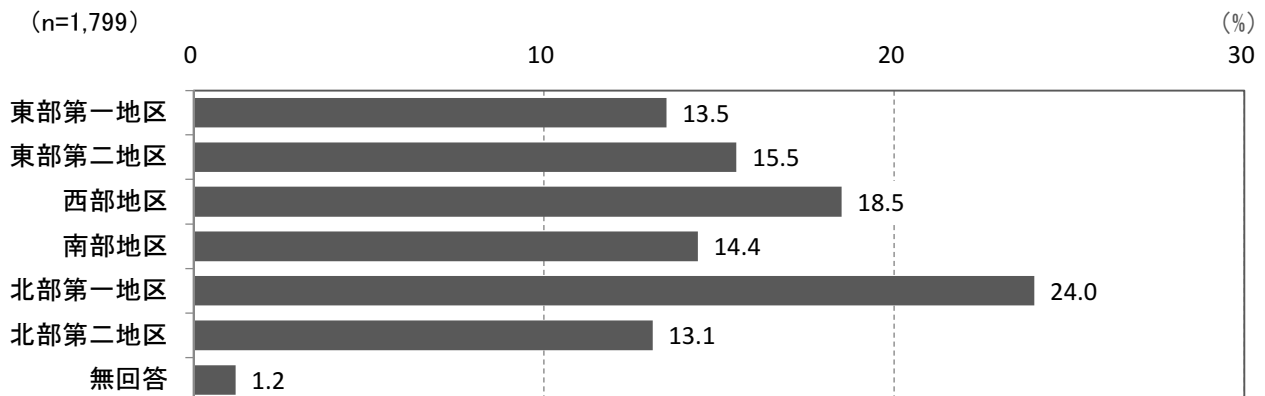
問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(単数回答)

宛名のお子さんの子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が48.7%で最も多く、次いで「主に母親」が48.0%となっています。



問6 お住まいの地区はどちらですか。(単数回答)

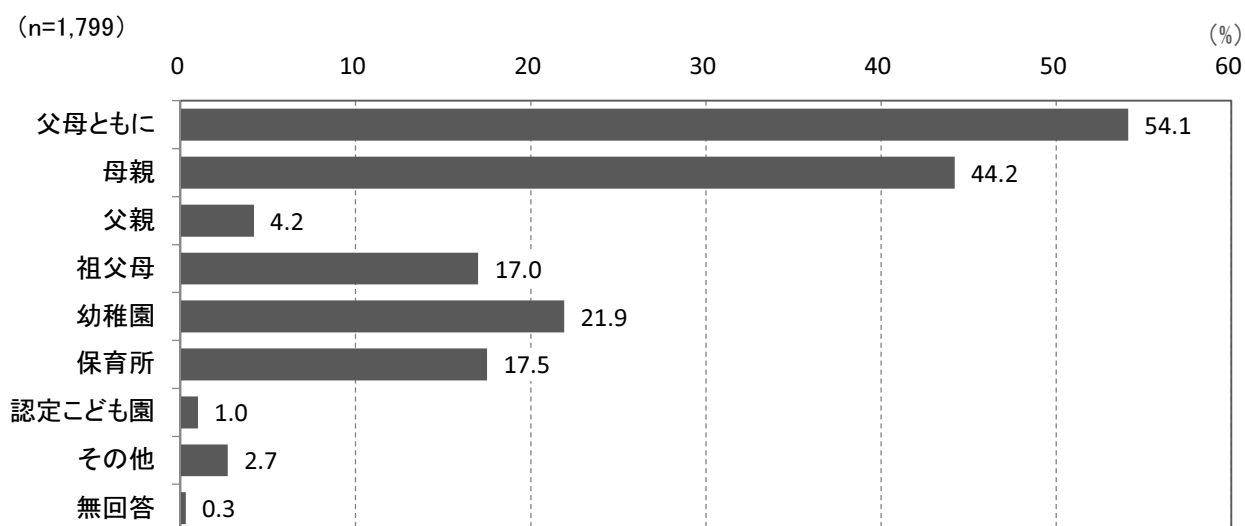
お住まいの地区は、「北部第一地区」が24.0%で最も多く、次いで「西部地区」が18.5%、「東部第二地区」が15.5%となっています。



2 お子さんの育ちをめぐる環境について

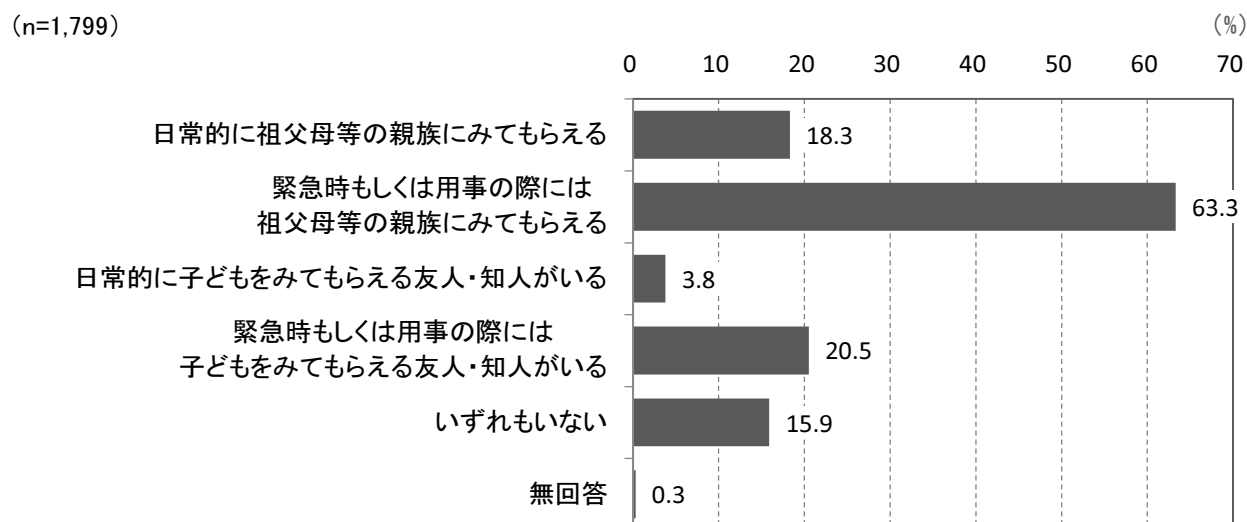
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)

宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方は、「父母ともに」が54.1%で最も多く、次いで「母親」が44.2%、「幼稚園」が21.9%となっています。



問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

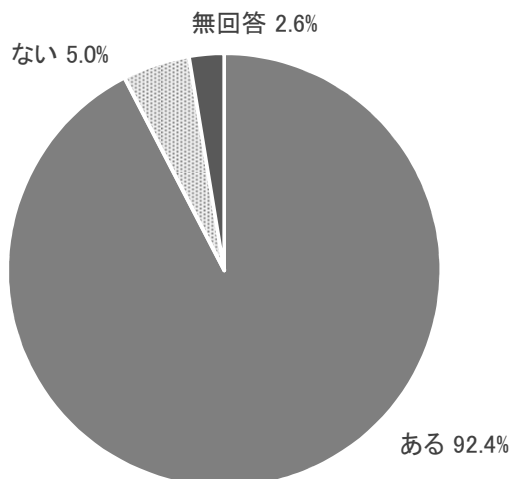
宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.3%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が20.5%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が18.3%となっています。



問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、身近に相談できる先はありますか。(単数回答)

宛名のお子さんの子育てをする上で身近に相談できる先は、「ある」が92.4%で最も多く、「ない」が5.0%となっています。

(n=1,799)

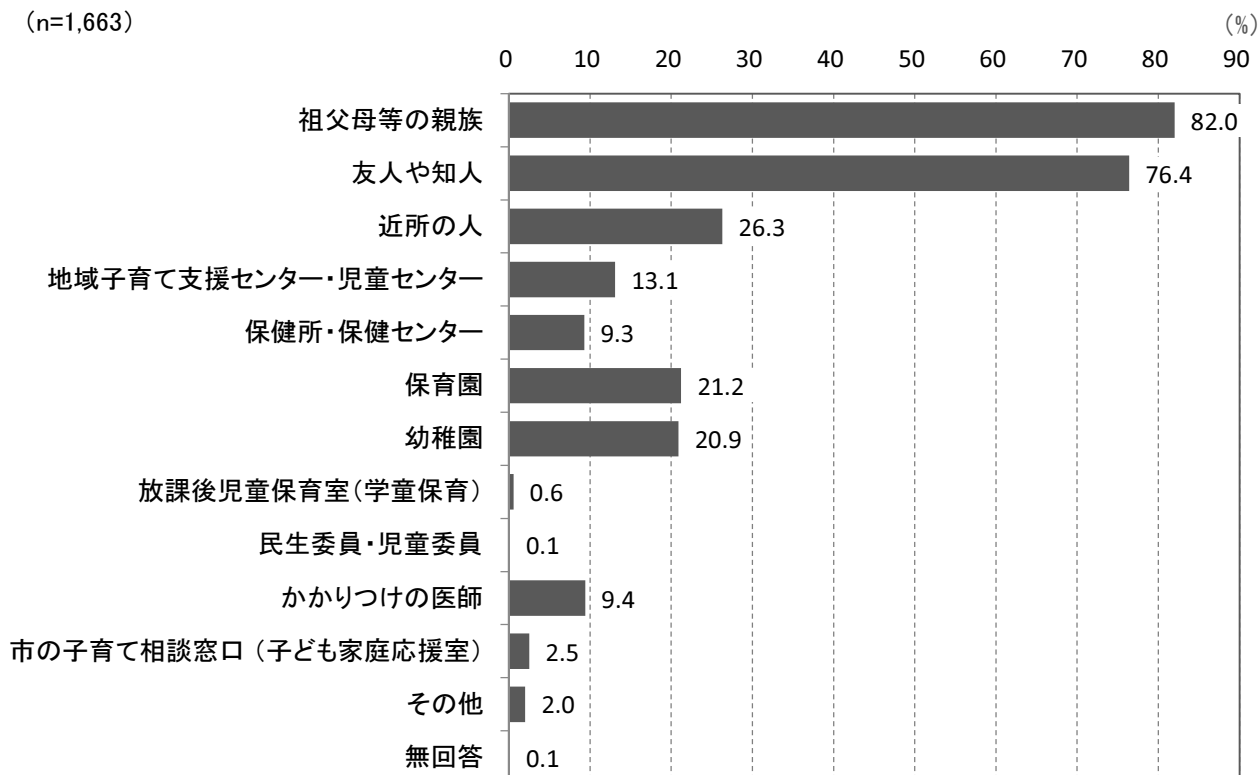


【問9で「1. ある」に○を付けた方にうかがいます】

問9-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、身近に相談できる先は、どなたですか。(複数回答)

お子さんの子育てに関して身近に相談できる先は、「祖父母等の親族」が82.0%で最も多く、次いで「友人や知人」が76.4%、「近所の人」が26.3%となっています。

(n=1,663)



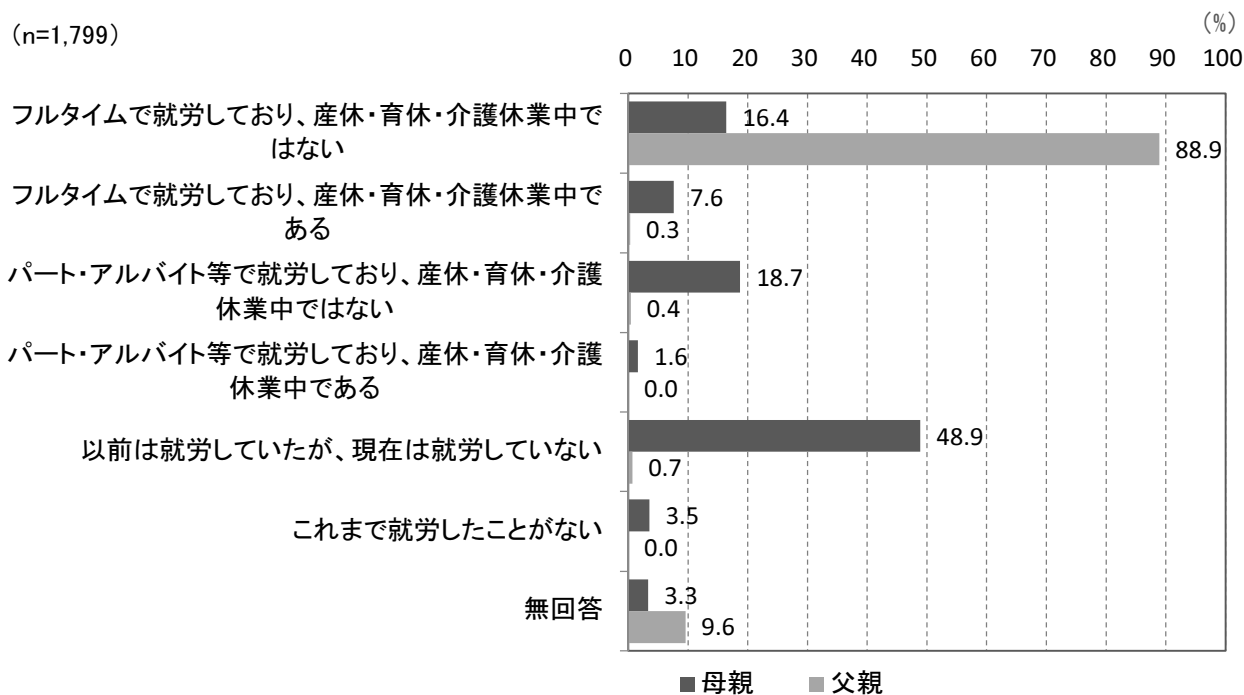
3 お子さんの母親・父親の就労状況について

問 10 宛名のお子さんの母親・父親の就労状況(自営業、自由業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 現在の就労状況は以下のどれにあたりますか。(単数回答)

母親の現在の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 48.9%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 18.7%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 16.4%となっています。

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 88.9%で最も多くなっています。



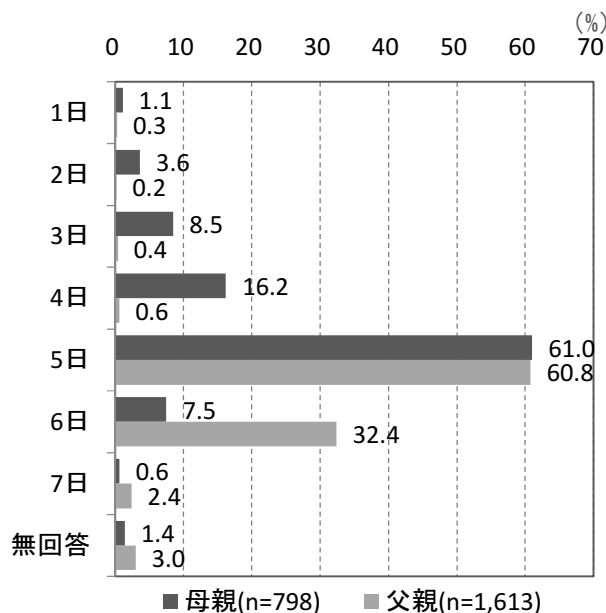
【問 10 の(1)で「1」～「4」(就労している)に○を付けた方にうかがいます】

(2) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数量回答)

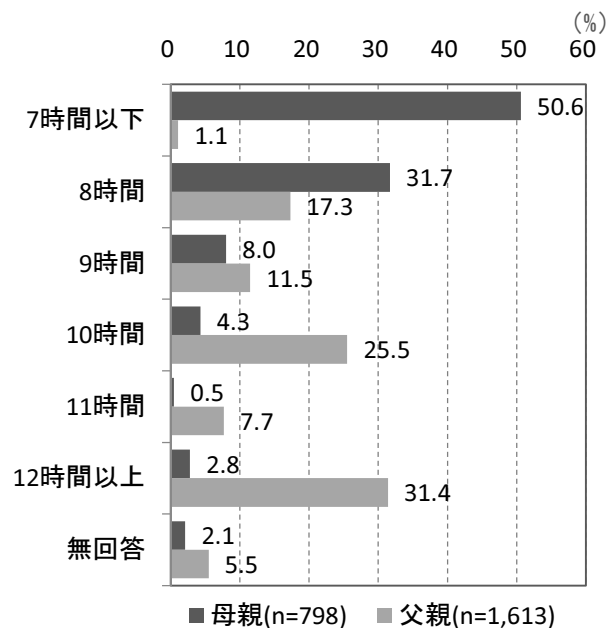
母親の週当たりの就労日数は、「5日」が61.0%で最も多く、次いで「4日」が16.2%、「3日」が8.5%となっています。また、就労時間は、「7時間以下」が50.6%で最も多く、次いで「8時間」が31.7%、「9時間」が8.0%となっています。

父親の週当たりの就労日数は、「5日」が60.8%で最も多く、次いで「6日」が32.4%となっています。また、就労時間は、「12時間以上」が31.4%で最も多く、次いで「10時間」が25.5%、「8時間」が17.3%となっています。

《週当たり就労日数》



《就労時間》

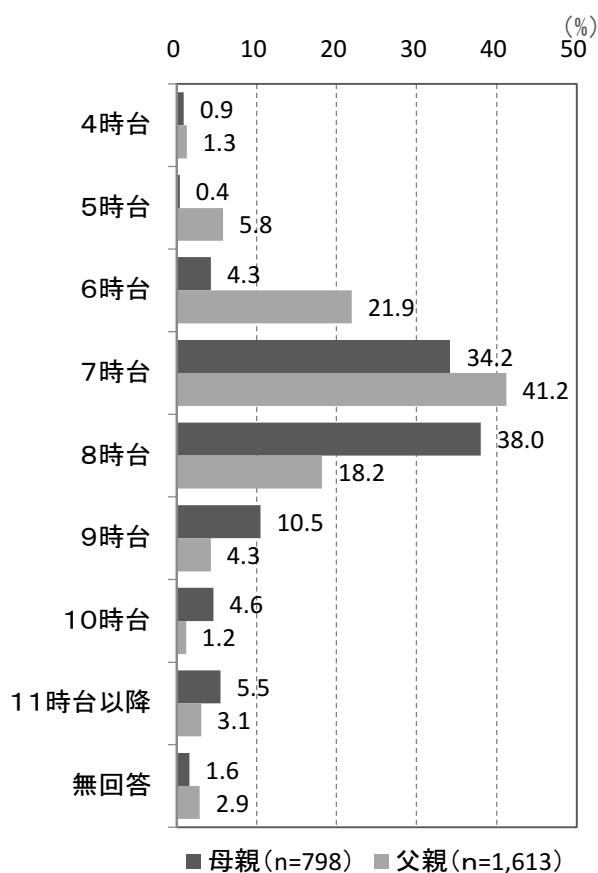


(3) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(通勤を要さない方は、始業・終業時刻をお答えください。)時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。必ず、時刻は24時間制(例：帰宅する時刻 19時30分)でご記入ください。(数量回答)

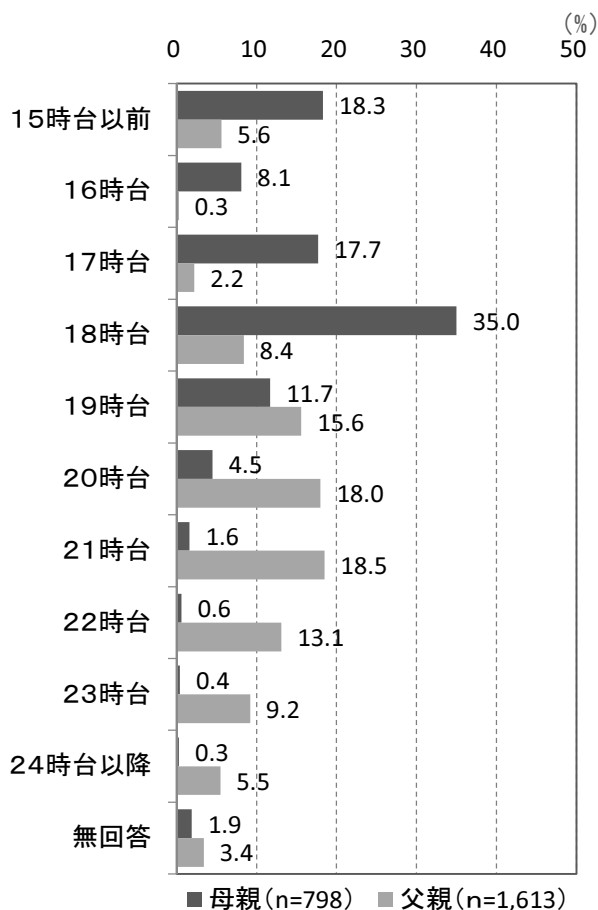
母親が家を出る時間は、「8時台」が38.0%で最も多く、次いで「7時台」が34.2%、「9時台」が10.5%となっています。また、帰宅する時間は、「18時台」が35.0%で最も多く、次いで「15時台以前」が18.3%、「17時台」が17.7%となっています。

父親が家を出る時間は、「7時台」が41.2%で最も多く、次いで「6時台」が21.9%、「8時台」が18.2%となっています。また、帰宅する時間は、「21時台」が18.5%で最も多く、次いで「20時台」が18.0%、「19時台」が15.6%となっています。

《家を出る時間》



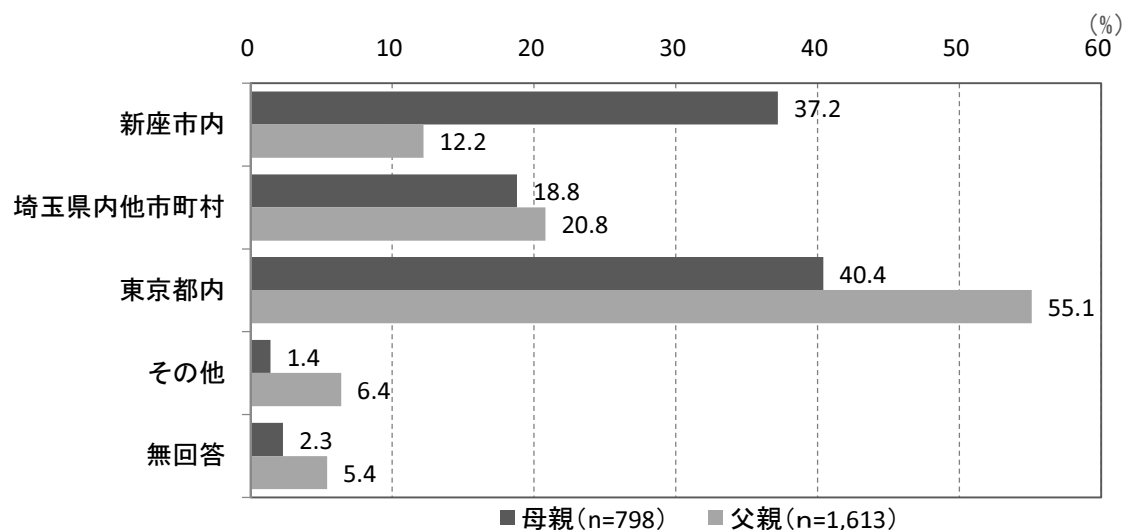
《帰宅する時間》



(4) 勤務先の所在地はどちらですか。新座市以外の方は、カッコ内に自治体名を記入してください。(単数回答)

母親の勤務先の所在地は、「東京都内」が 40.4%で最も多く、次いで「新座市内」が 37.2%、「埼玉県内他市町村」が 18.8%となっています。

父親の勤務先の所在地は、「東京都内」が 55.1%で最も多く、次いで「埼玉県内他市町村」が 20.8%、「新座市内」が 12.2%となっています。



《勤務先所在地上位 5 項目》

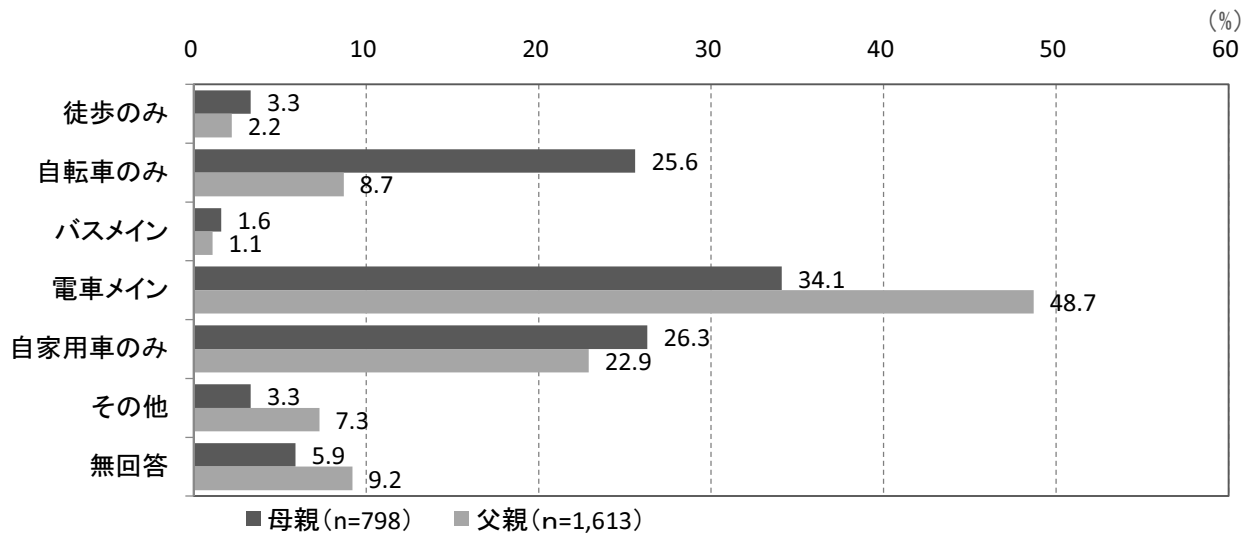
【埼玉県内他市町村】	
母親	父親
朝霞市 (39 件)	さいたま市 (47 件)
さいたま市 (18 件)	朝霞市 (43 件)
和光市 (17 件)	所沢市 (21 件)
志木市 (15 件)	和光市 (19 件)
所沢市 (11 件)	川越市 (16 件)

【東京都内】	
母親	父親
練馬区 (55 件)	練馬区 (102 件)
豊島区 (27 件)	千代田区 (80 件)
千代田区 (27 件)	新宿区 (67 件)
西東京市 (26 件)	港区 (58 件)
新宿区 (25 件)	中央区 (47 件)

(5) 勤務先までの主な交通手段は何ですか。手段が1つの場合は枠に1つのみ、複数の場合は、その順番で枠に、それぞれの手段の番号をご記入ください。(複数回答)

母親の勤務先までの交通手段は、「電車メイン」が 34.1%で最も多く、次いで「自転車のみ」が 25.6、「自家用車のみ」が 26.3%となっています。

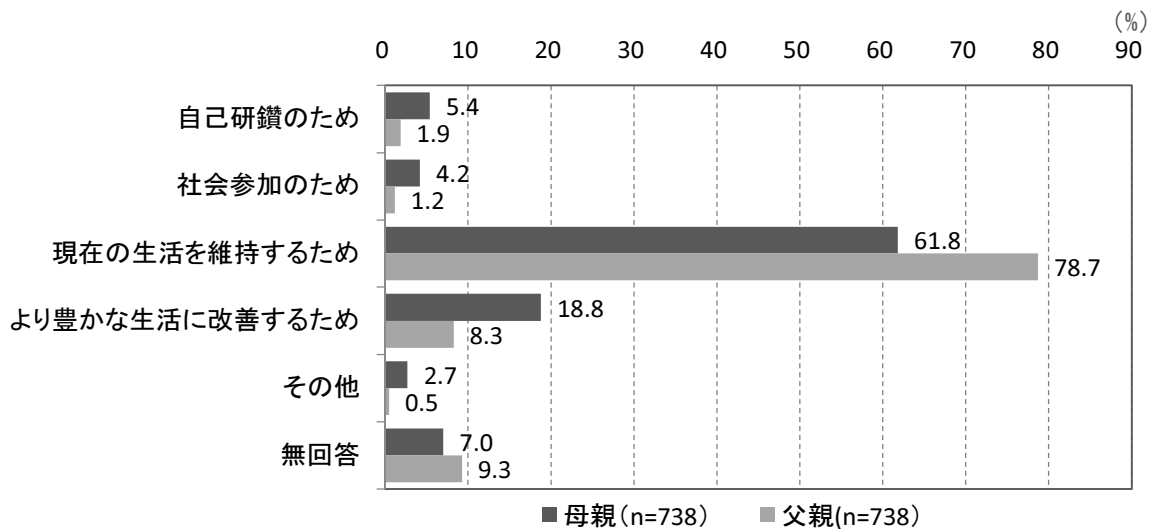
父親の勤務先までの交通手段は、「電車メイン」が 48.7で最も多く、次いで「自家用車のみ」が 22.9%、「自転車のみ」が 8.7%となっています。



【問 10 の(1)で、母親・父親の両方が「1」～「4」(フルタイム、またはパート・アルバイト等で就労)のいずれかに○を付けた方にうかがいます】

(6) 両親が共に就労する目的として、最も近いものに○をしてください (○は1つ) (単数回答)

両親が共に就労する目的として最も近いものについては、「現在の生活を維持するため」が母親で 61.8%、父親で 78.7%と最も多く、次いで「より豊かな生活に改善するため」が母親で 18.8%、父親で 8.3%となっています。

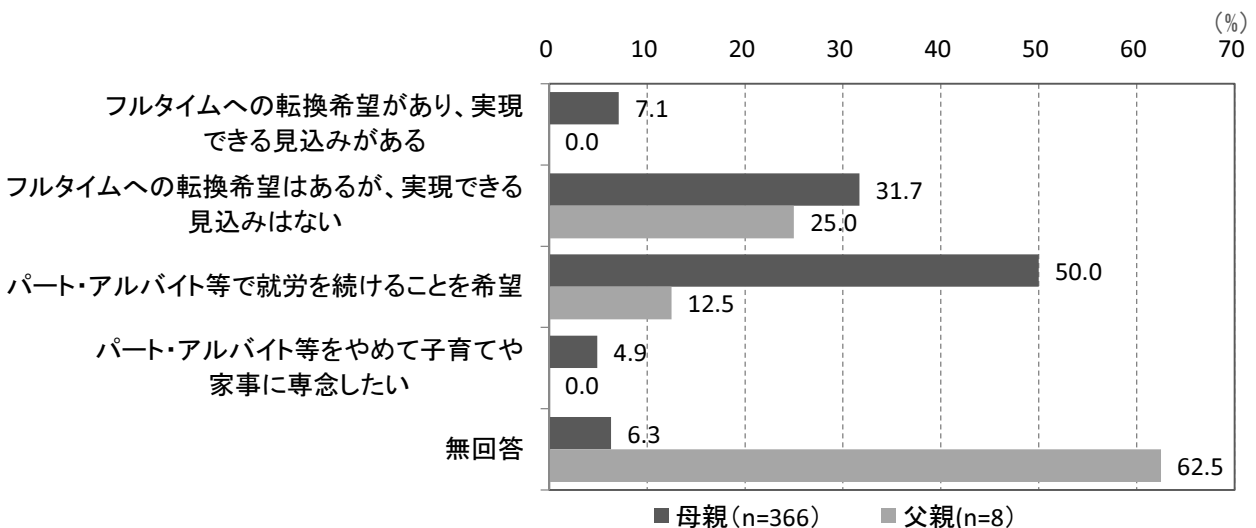


【問 10 の(1)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)に○を付けた方にうかがいます】

(7) フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」が 50.0%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 31.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 7.1%となっています。

父親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.0%となっています。



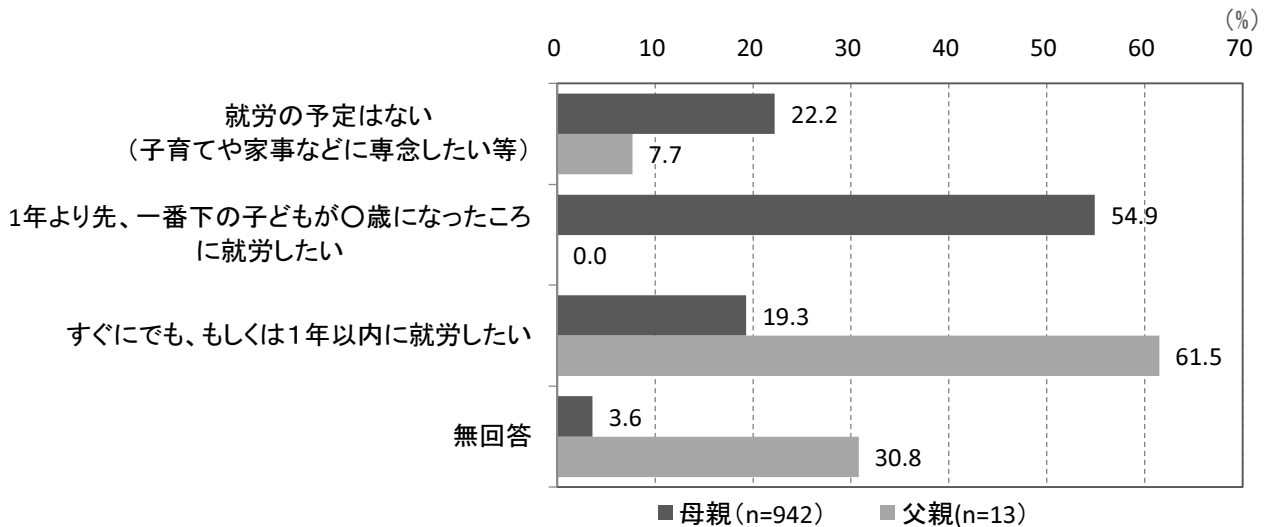
【問 10 の(1)で「5」または「6」(就労していない)に○を付けた方にうかがいます】

(8) 就労したいという希望はありますか。(数値記入)

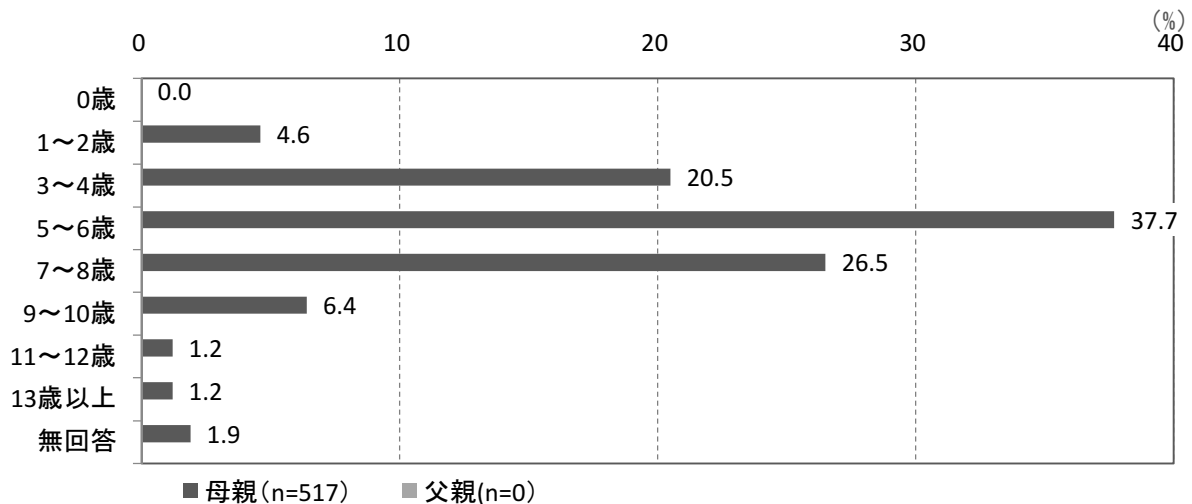
就労していない母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が54.9%で最も多く、次いで「就労の予定はない」が22.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が19.3%となっています。

父親の就労希望は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が61.5%となっています。

母親が、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、「5～6歳」が37.7%で最も多く、次いで「7～8歳」が26.5%、「3～4歳」が20.5%となっています。



《一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか》

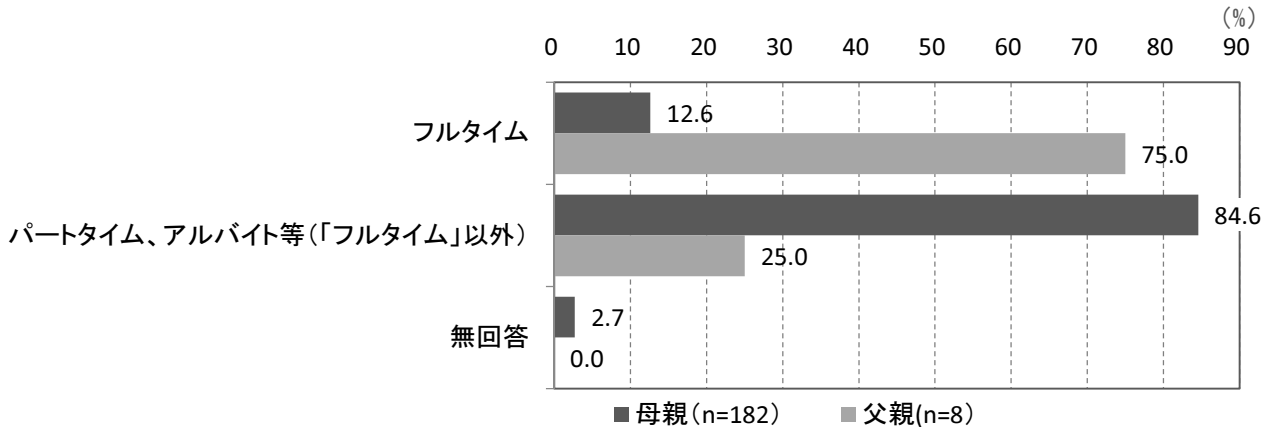


【問 10 の(8)で「3」(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)に○を付けた方にうかがいます】

《希望する就労形態》

母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)」が84.6%、「フルタイム」が12.6%となっています。

父親の希望する就労形態は、「フルタイム」が75.0%、「パートタイム、アルバイト等」が25.0%となっています。



《希望する就労日数・時間》

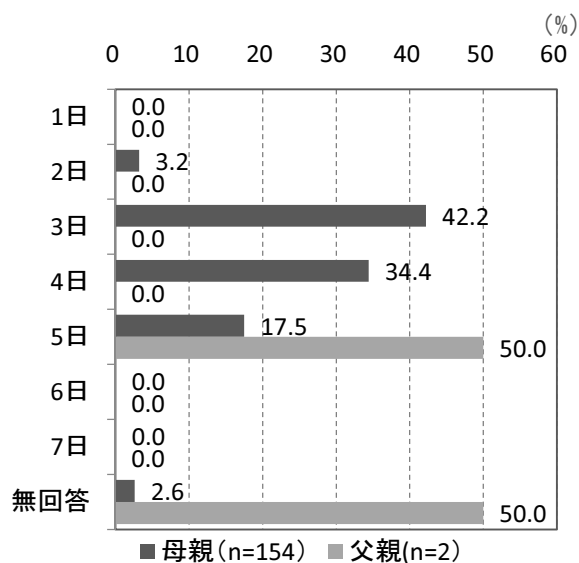
母親の希望する就労日数は、1週当たり「3日」が42.2%で最も多く、次いで「4日」が34.4%、「5日」が17.5%となっています。

父親の希望する就労日数は、1週当たり「5日」が50.0%となっています。

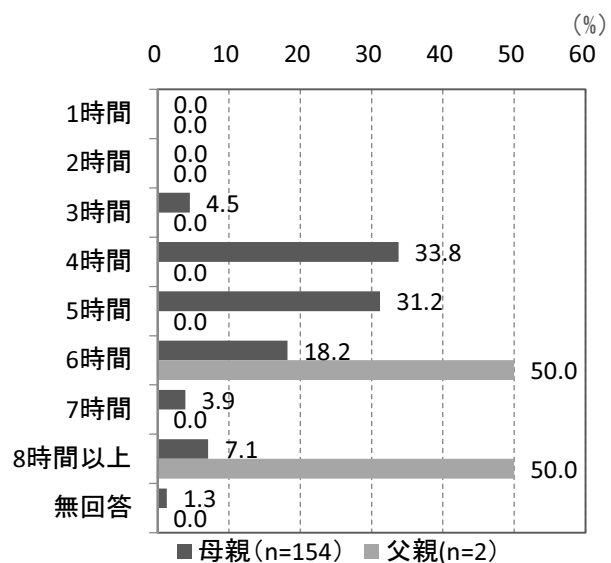
また、母親の希望する就労時間は、1日当たり「4時間」が33.8%で最も多く、次いで「5時間」が31.2%、「6時間」が18.2%となっています。

父親の希望する就労時間は、1日当たり「6時間」及び「8時間以上」が50.0%となっています。

《希望する就労日数》



《希望する就労時間》

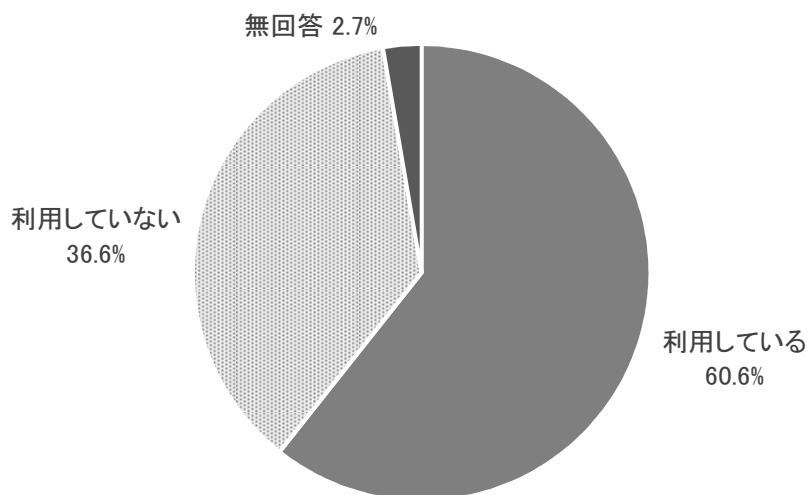


4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(単数回答)

現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかについて、「利用している」が60.6%で最も多く、次いで「利用していない」が36.6%となっています。

(n=1,799)

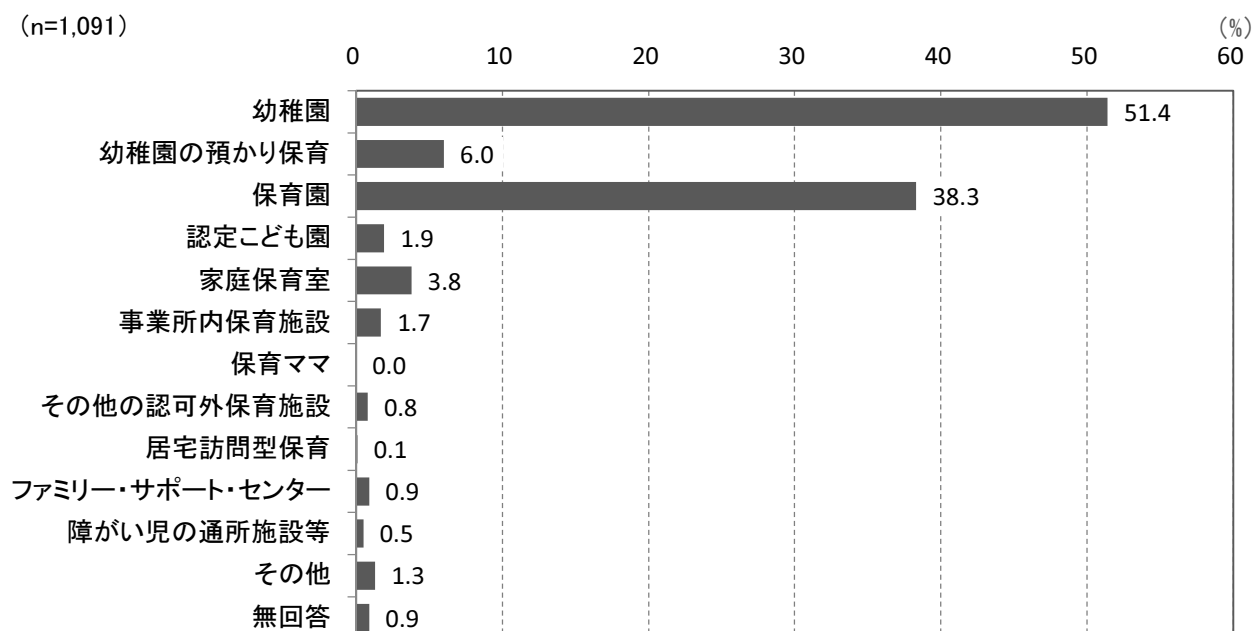


【問 11 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 11-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

宛名のお子さんが定期的に利用している教育・保育の事業については、「幼稚園」が51.4%で最も多く、次いで「保育園」が38.3%、「幼稚園の預かり保育」が6.0%となっています。

(n=1,091)



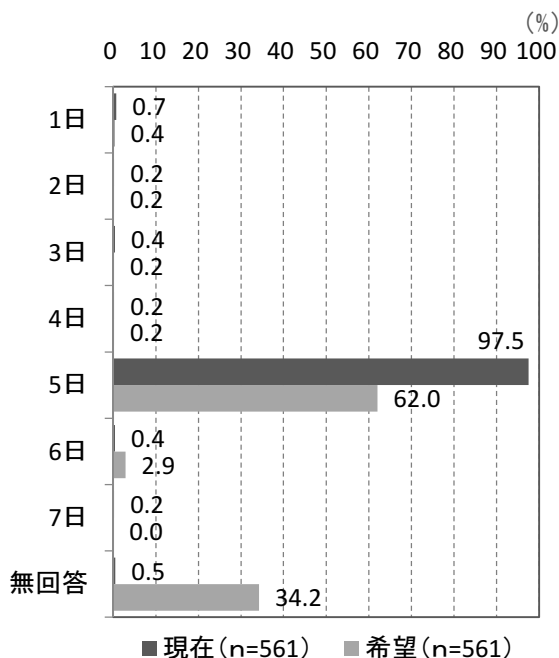
【問 11 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 11-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かをご記入ください。時間は必ず 24 時間制（例：9 時 00 分～18 時 30 分）でご記入ください。（複数の事業を利用している場合は、主なもの 2 つについてお答えください。）（数値記入）

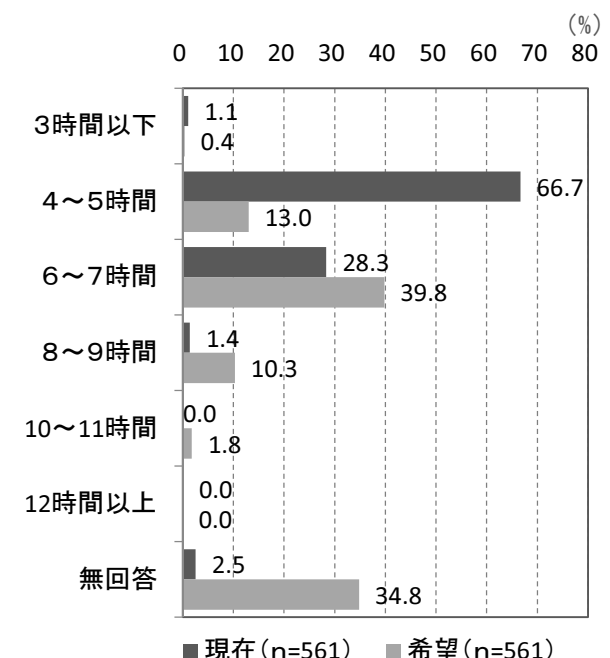
《幼稚園の利用状況・利用希望》

幼稚園の定期的な利用について、1 週当たり「5 日」が 97.5%で最も多く、希望も「5 日」が最も多くなっています。利用時間については「4～5 時間」が最も多くなっていますが、希望では「6～7 時間」が最も多く、また、「8～9 時間」の回答が現在よりも多くなっています。

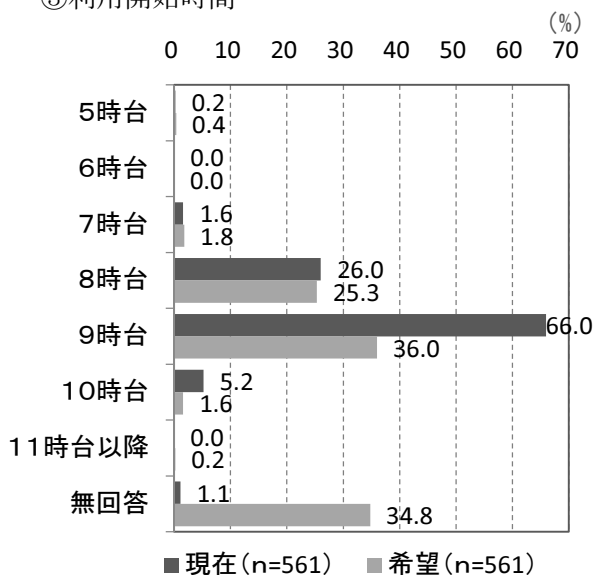
①1 週当たり利用日数



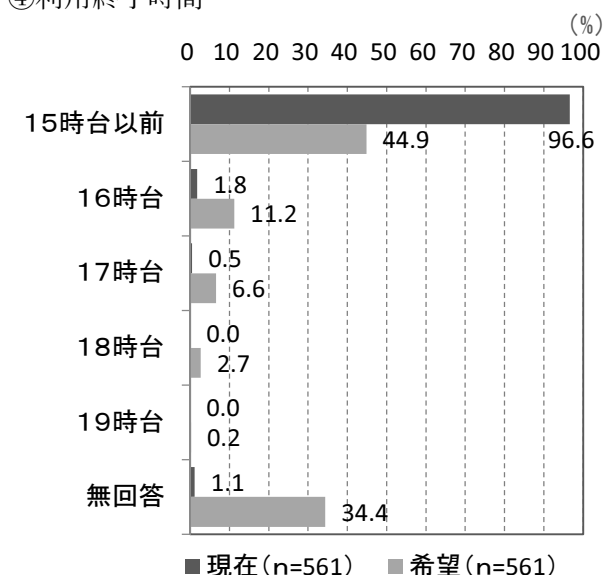
②1 日当たり利用時間



③利用開始時間



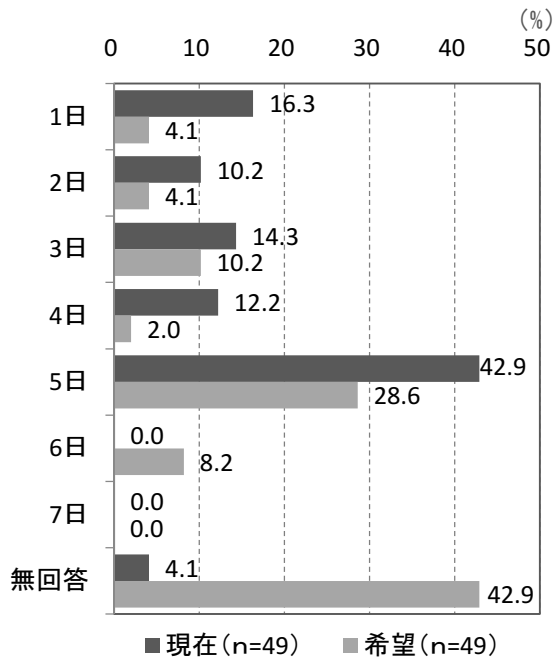
④利用終了時間



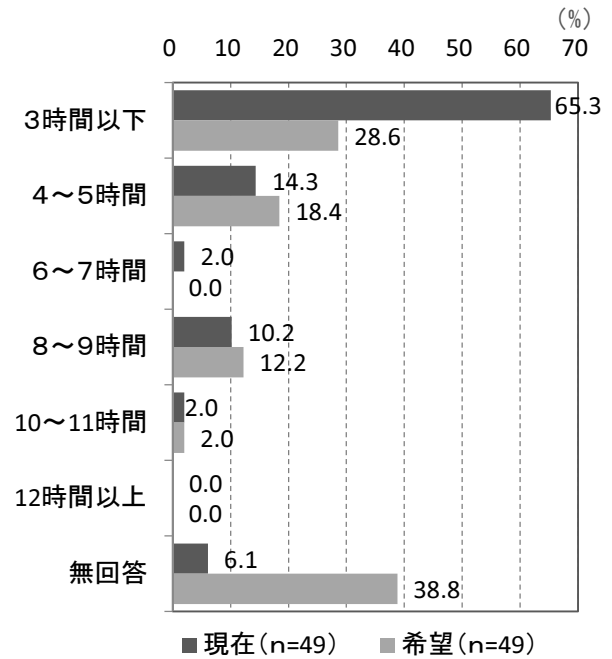
《幼稚園の預かり保育利用状況・利用希望》

幼稚園の預かりの定期的な利用について、1週当たり「5日」が42.9%で最も多く、希望も「5日」が最も多くなっています。利用時間については「3時間以下」が最も多くなっています。利用終了時刻は「17時台」が55.1%で最も多く、希望でも最も多くなっています。

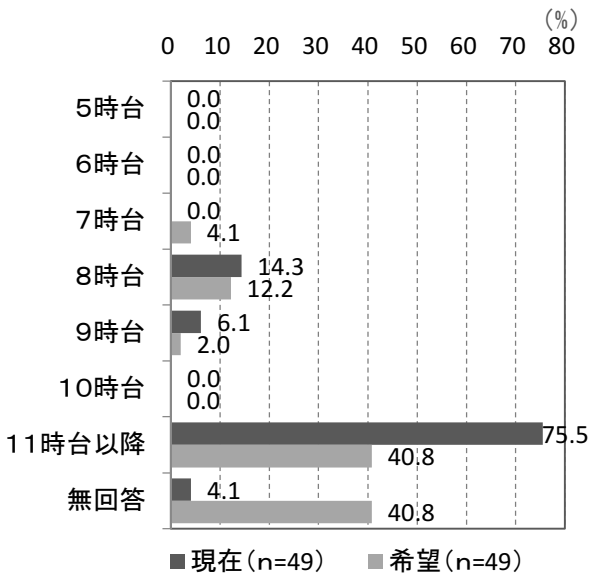
①1週当たり利用日数



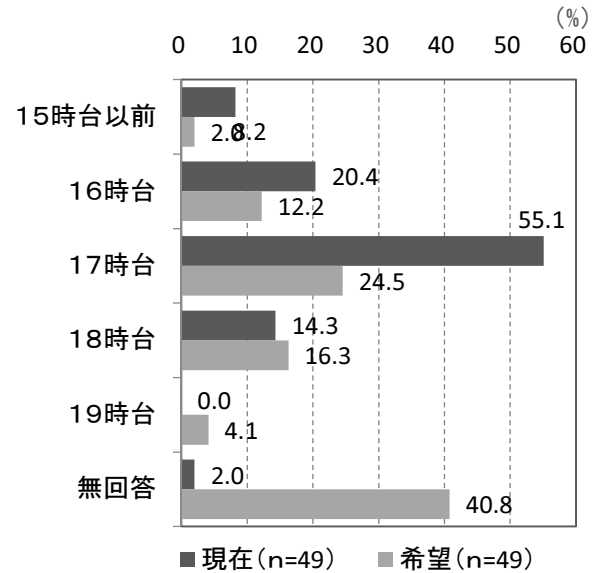
②1日当たり利用時間



③利用開始時間



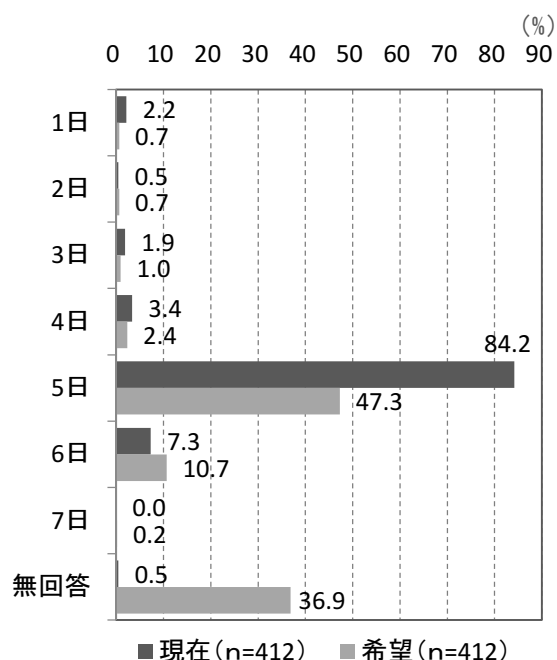
④利用終了時間



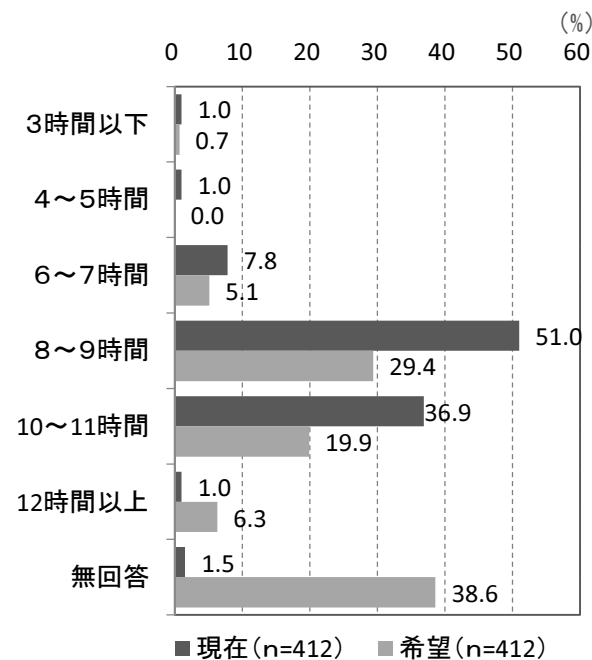
《保育園の利用状況・利用希望》

保育園の定期的な利用について、1週当たり「5日」が84.2%で最も多く、希望も「5日」が最も多くなっています。利用時間については「8～9時間」が51.0%で最も多く、希望でも最も同時間数が最も多くなっています。

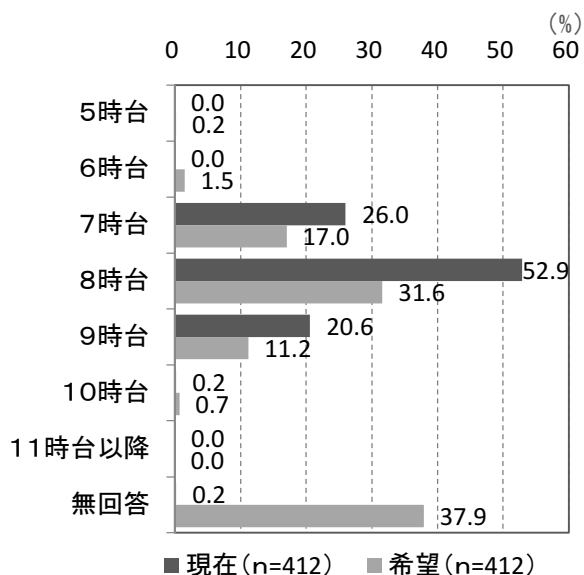
①1週当たり利用日数



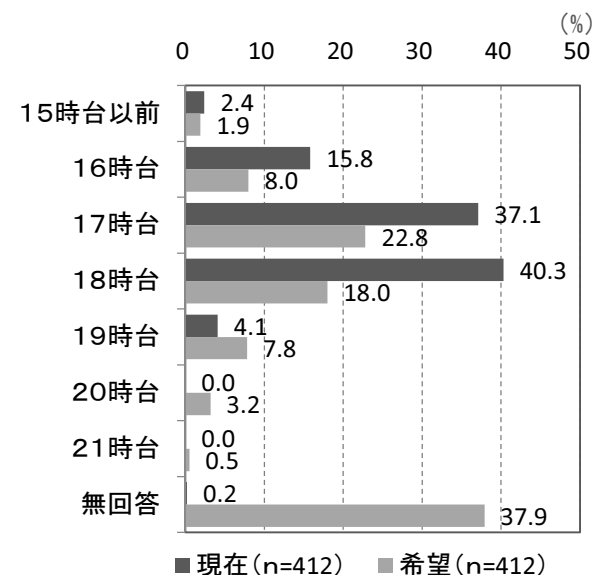
②1日当たり利用時間



③利用開始時間



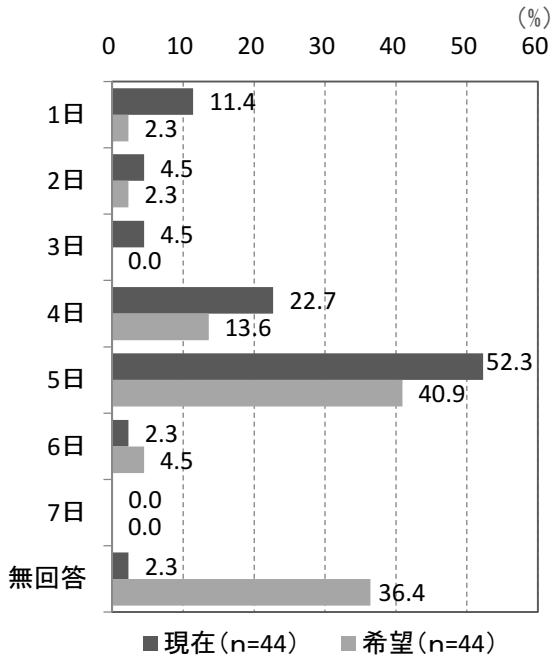
④利用終了時間



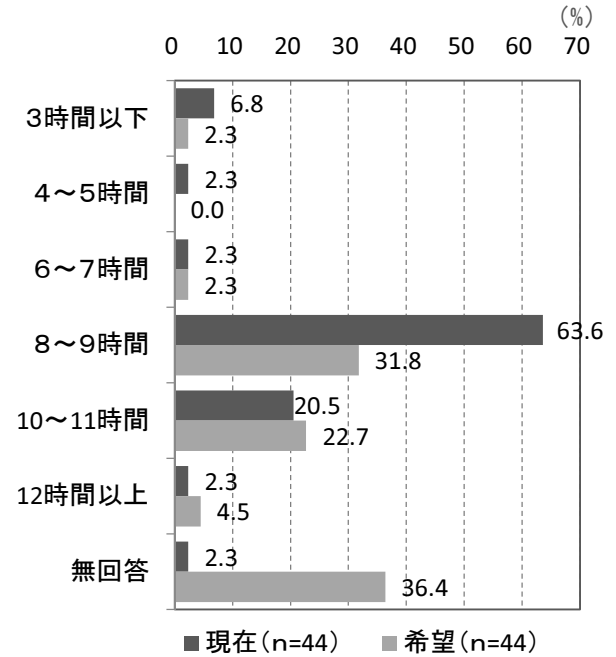
《家庭保育室の利用状況・利用希望》

家庭保育室の定期的な利用について、1週当たり「5日」が52.3%で最も多く、希望も「5日」が最も多くなっています。利用時間については「8～9時間」が63.6%で最も多く、希望でも最も同時間数が最も多くなっています。利用終了時刻は、「17時台」が50.0%で最も多くなっていますが、希望では「18時台」が最も多くなっています。

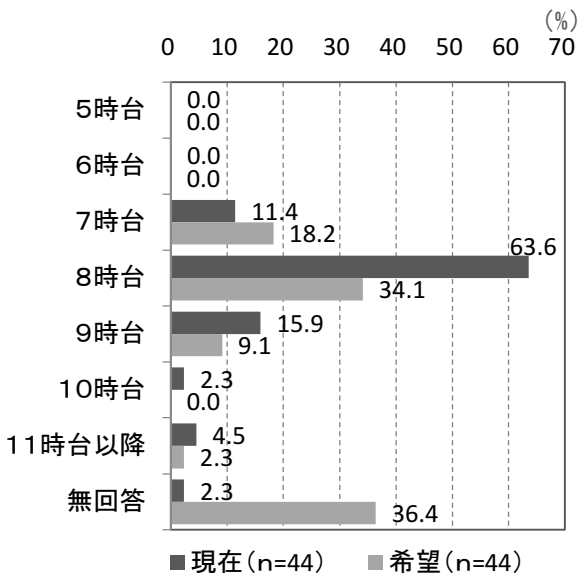
①1週当たり利用日数



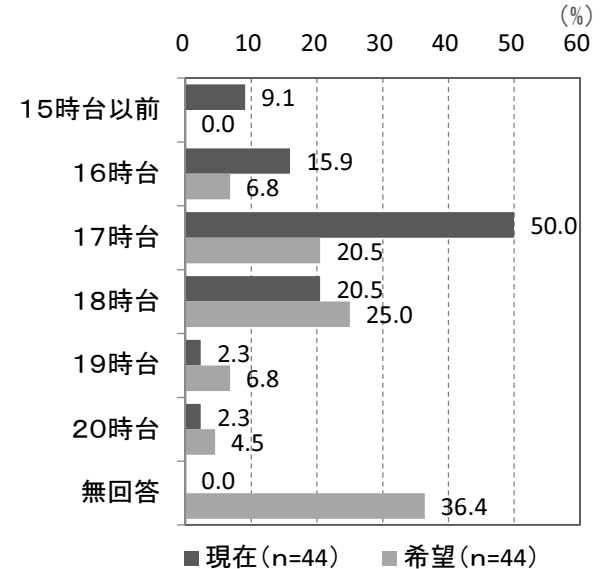
②1日当たり利用時間



③利用開始時間



④利用終了時間



《そのほか（サンプル数 40 未満）の教育・保育サービス利用状況・利用希望》

①認定こども園（n=18）

1週あたり利用日数 (%)	1週あたり利用日数		1週あたり利用時間 (%)	1週あたり利用時間		利用開始時間 (%)		利用開始時間		利用終了時間 (%)		利用終了時間	
	現在	希望		現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
1日	11.1	0.0	3時間以下	22.2	0.0	5時台	0.0	0.0	15時台以前	44.4	27.8		
2日	0.0	0.0	4～5時間	16.7	0.0	6時台	0.0	0.0	16時台	11.1	11.1		
3日	0.0	0.0	6～7時間	33.3	22.2	7時台	5.6	5.6	17時台	33.3	0.0		
4日	22.2	0.0	8～9時間	16.7	22.2	8時台	44.4	27.8	18時台	5.6	11.1		
5日	66.7	50.0	10～11時間	5.6	5.6	9時台	27.8	16.7	19時台	0.0	0.0		
6日	0.0	0.0	12時間以上	5.6	0.0	10時台	5.6	0.0	20時台	5.6	0.0		
7日	0.0	0.0	無回答	0.0	50.0	11時台以降	16.7	0.0	21時台	0.0	0.0		
無回答	0.0	50.0				無回答	0.0	50.0	無回答	0.0	50.0		

②事業所内保育施設（n=18）

1週あたり利用日数 (%)	1週あたり利用日数		1週あたり利用時間 (%)	1週あたり利用時間		利用開始時間 (%)		利用開始時間		利用終了時間 (%)		利用終了時間	
	現在	希望		現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
1日	5.6	5.6	3時間以下	11.1	0.0	5時台	0.0	0.0	15時台以前	16.7	5.6		
2日	0.0	0.0	4～5時間	11.1	0.0	6時台	5.6	0.0	16時台	11.1	0.0		
3日	16.7	5.6	6～7時間	22.2	11.1	7時台	11.1	0.0	17時台	38.9	27.8		
4日	22.2	11.1	8～9時間	38.9	22.2	8時台	50.0	33.3	18時台	27.8	11.1		
5日	44.4	27.8	10～11時間	11.1	11.1	9時台	11.1	11.1	19時台	0.0	0.0		
6日	11.1	5.6	12時間以上	5.6	0.0	10時台	0.0	0.0	20時台	5.6	0.0		
7日	0.0	0.0	無回答	0.0	55.6	11時台以降	22.2	0.0	21時台	0.0	0.0		
無回答	0.0	44.4				無回答	0.0	55.6	無回答	0.0	55.6		

③その他の認可外保育施設（n=9）

1週あたり利用日数 (%)	1週あたり利用日数		1週あたり利用時間 (%)	1週あたり利用時間		利用開始時間 (%)		利用開始時間		利用終了時間 (%)		利用終了時間	
	現在	希望		現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
1日	11.1	11.1	3時間以下	11.1	0.0	5時台	0.0	0.0	15時台以前	33.3	22.2		
2日	0.0	0.0	4～5時間	11.1	22.2	6時台	0.0	0.0	16時台	22.2	11.1		
3日	0.0	0.0	6～7時間	22.2	0.0	7時台	11.1	11.1	17時台	0.0	0.0		
4日	11.1	0.0	8～9時間	33.3	11.1	8時台	33.3	22.2	18時台	11.1	11.1		
5日	66.7	33.3	10～11時間	11.1	11.1	9時台	33.3	22.2	19時台	22.2	11.1		
6日	11.1	22.2	12時間以上	11.1	11.1	10時台	11.1	0.0	20時台	0.0	0.0		
7日	0.0	0.0	無回答	0.0	44.4	11時台以降	0.0	0.0	21時台	0.0	0.0		
無回答	0.0	33.3				無回答	11.1	44.4	無回答	11.1	44.4		

④居宅訪問型保育（n=1）

1週あたり利用日数 (%)	1週あたり利用日数		1週あたり利用時間 (%)	1週あたり利用時間		利用開始時間 (%)		利用開始時間		利用終了時間 (%)		利用終了時間	
	現在	希望		現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
1日	0.0	0.0	3時間以下	100.0	0.0	5時台	0.0	0.0	15時台以前	0.0	0.0		
2日	0.0	0.0	4～5時間	0.0	0.0	6時台	0.0	0.0	16時台	0.0	0.0		
3日	0.0	0.0	6～7時間	0.0	0.0	7時台	0.0	0.0	17時台	0.0	0.0		
4日	100.0	0.0	8～9時間	0.0	0.0	8時台	0.0	0.0	18時台	0.0	0.0		
5日	0.0	0.0	10～11時間	0.0	0.0	9時台	0.0	0.0	19時台	100.0	0.0		
6日	0.0	0.0	12時間以上	0.0	0.0	10時台	0.0	0.0	20時台	0.0	0.0		
7日	0.0	0.0	無回答	0.0	100.0	11時台以降	100.0	0.0	21時台	0.0	0.0		
無回答	0.0	100.0				無回答	0.0	100.0	無回答	0.0	100.0		

⑤ファミリー・サポート・センター（n=7）

1週あたり利用日数 (%)	1週あたり利用日数		1週あたり利用時間 (%)	1週あたり利用時間		利用開始時間 (%)		利用開始時間		利用終了時間 (%)		利用終了時間	
	現在	希望		現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
1日	28.6	28.6	3時間以下	71.4	71.4	5時台	0.0	14.3	15時台以前	28.6	42.9		
2日	28.6	14.3	4～5時間	14.3	0.0	6時台	14.3	0.0	16時台	14.3	0.0		
3日	0.0	0.0	6～7時間	14.3	0.0	7時台	28.6	28.6	17時台	0.0	0.0		
4日	14.3	0.0	8～9時間	0.0	0.0	8時台	0.0	0.0	18時台	14.3	14.3		
5日	28.6	28.6	10～11時間	0.0	0.0	9時台	14.3	0.0	19時台	28.6	14.3		
6日	0.0	0.0	12時間以上	0.0	0.0	10時台	0.0	0.0	20時台	0.0	0.0		
7日	0.0	0.0	無回答	0.0	28.6	11時台以降	42.9	28.6	21時台	14.3	0.0		
無回答	0.0	28.6				無回答	0.0	28.6	無回答	0.0	28.6		

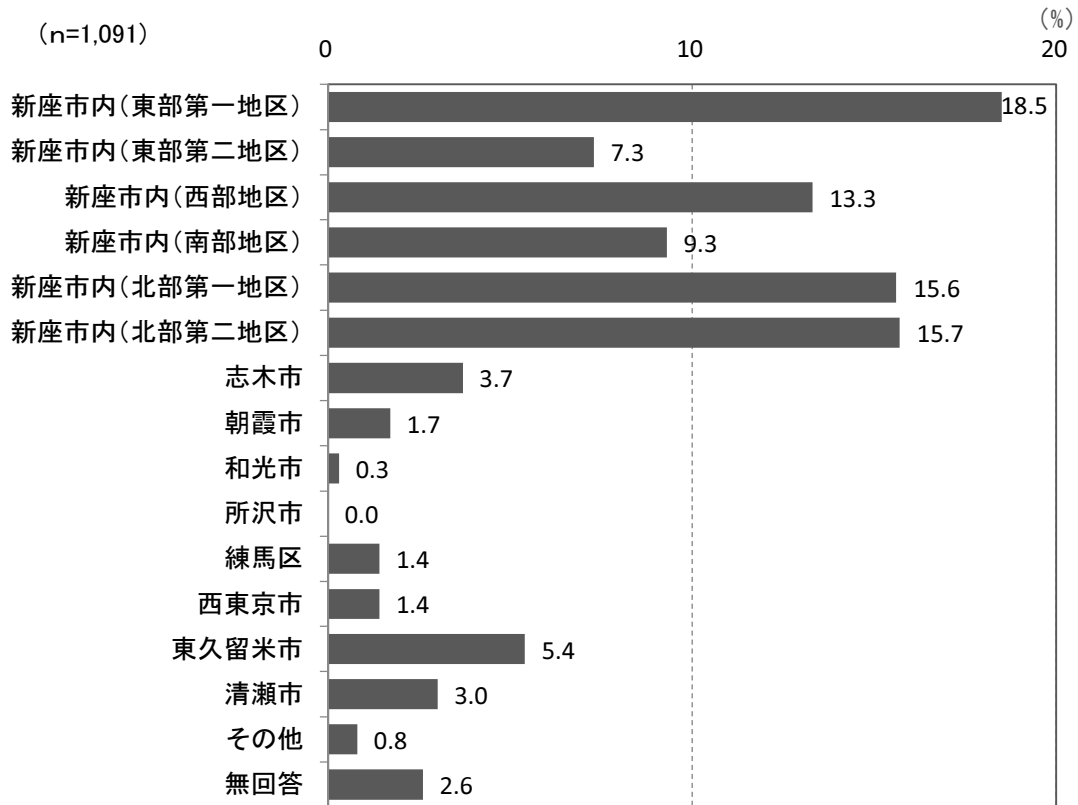
⑥障がい児の通所施設等（n=6）

1週あたり利用日数 (%)	1週あたり利用日数		1週あたり利用時間 (%)	1週あたり利用時間		利用開始時間 (%)		利用開始時間		利用終了時間 (%)		利用終了時間	
	現在	希望		現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
1日	33.3	0.0	3時間以下	83.3	16.7	5時台	0.0	0.0	15時台以前	83.3	33.3		
2日	16.7	16.7	4～5時間	16.7	0.0	6時台	0.0	0.0	16時台	16.7	0.0		
3日	0.0	0.0	6～7時間	0.0	16.7	7時台	0.0	0.0	17時台	0.0	0.0		
4日	16.7	0.0	8～9時間	0.0	0.0	8時台	0.0	0.0	18時台	0.0	0.0		
5日	33.3	16.7	10～11時間	0.0	0.0	9時台	0.0	16.7	19時台	0.0	0.0		
6日	0.0	0.0	12時間以上	0.0	0.0	10時台	83.3	16.7	20時台	0.0	0.0		
7日	0.0	0.0	無回答	0.0	66.7	11時台以降	16.7	0.0	21時台	0.0	0.0		
無回答	0.0	66.7				無回答	0.0	66.7	無回答	0.0	66.7		

【問 11 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 11-3 現在利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(単数回答)

現在利用している教育・保育事業の実施場所については、「新座市内(東部第一地区)」が 18.5%で最も多く、次いで「新座市内(北部第二地区)」が 15.7%、「新座市内(北部第一地区)」が 15.6%となっています。

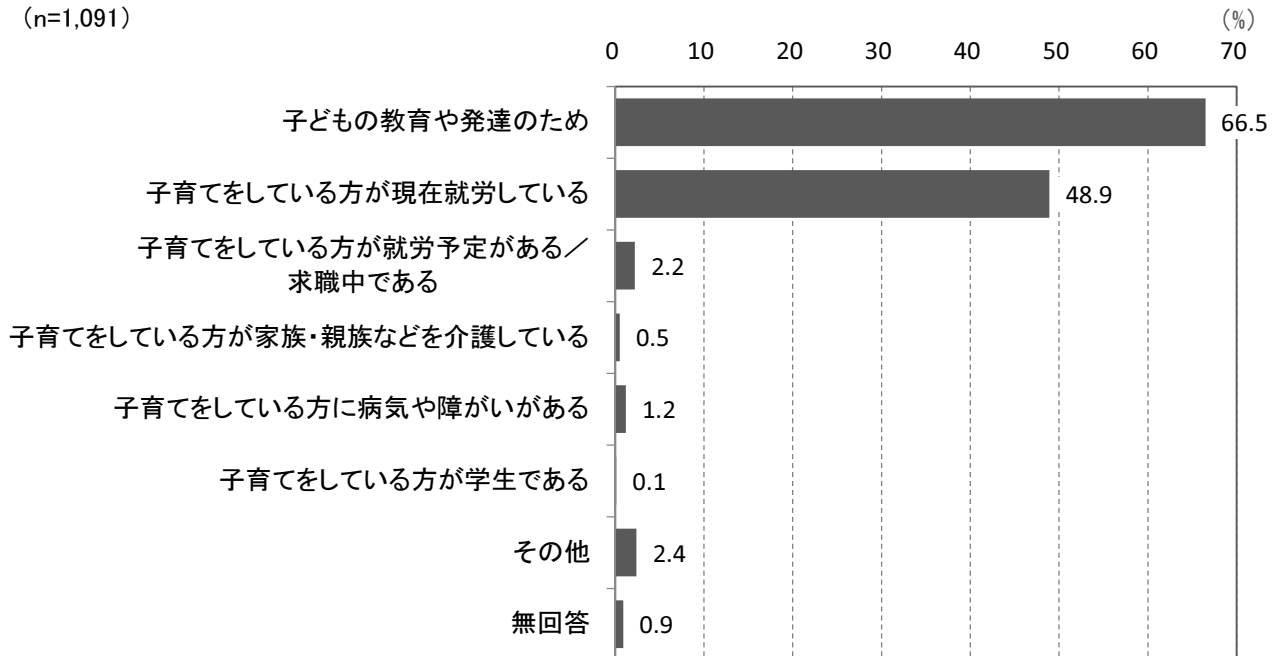


【問 11 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 11-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。(複数回答)

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」が 66.5%で最も多く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」が 48.9%となっています。

(n=1,091)

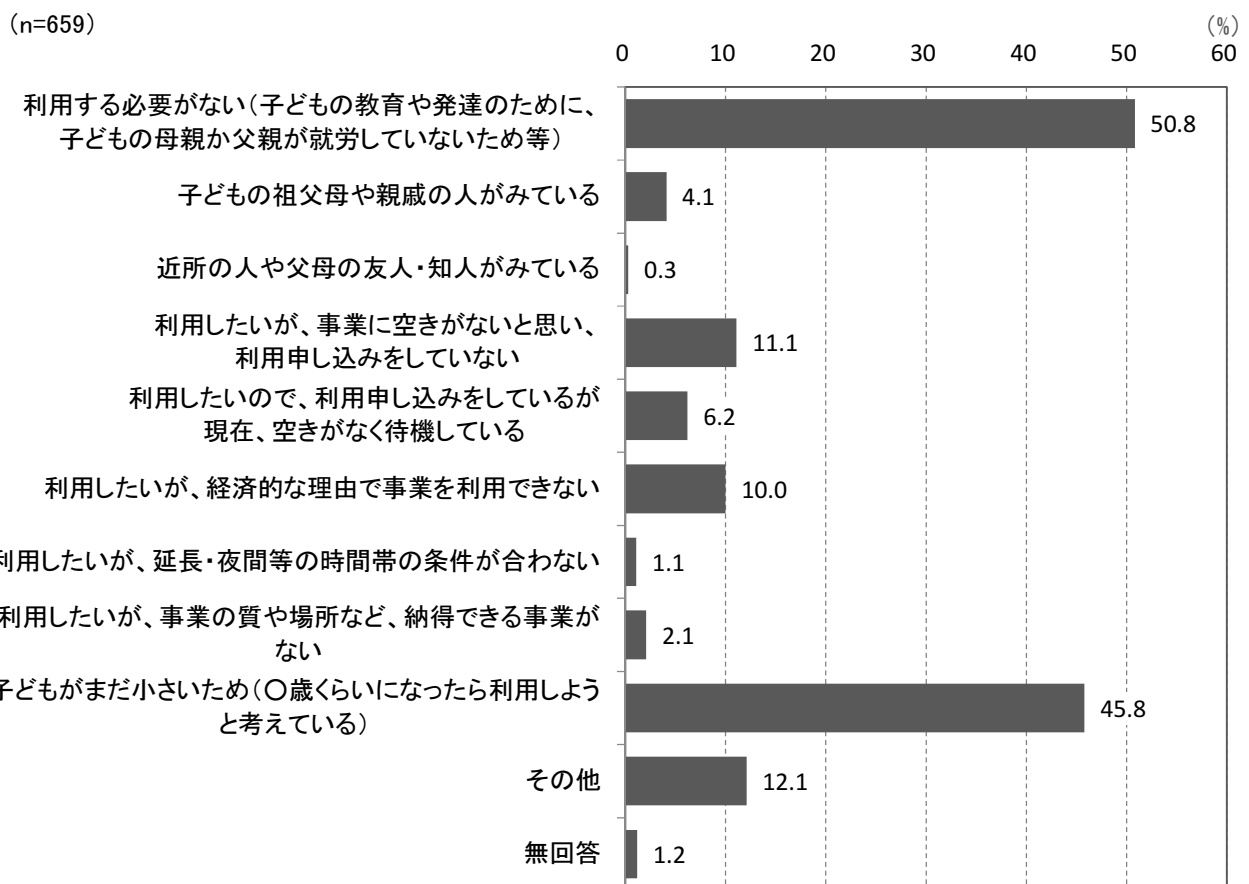


【問 11 で「2. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます】

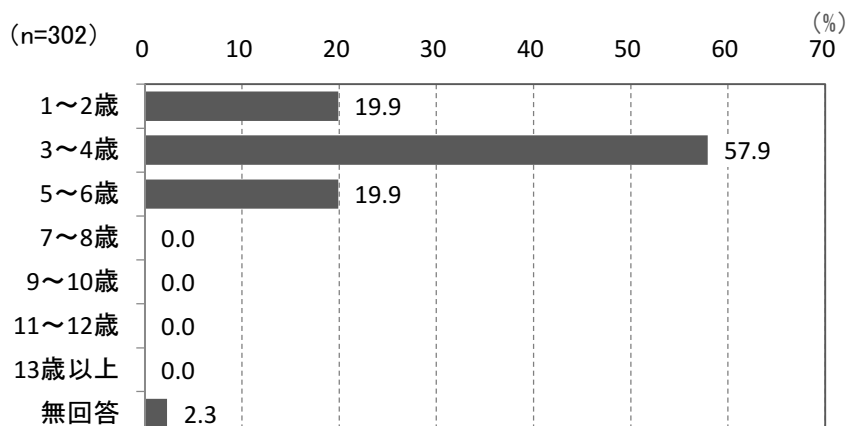
問 11-5 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。(複数回答)

平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由については、「利用する必要がない(子どもの教育や発達のために、子どもの母親か父親が就労していないため等)」が 50.8%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため(〇歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 45.8%、「その他」が 12.1%となっています。

子どもが何歳くらいになったら利用したいかについては、「3~4 歳」が 57.9%で最も多く、次いで「1~2 歳」および「5~6 歳」がともに 19.9%となっています。



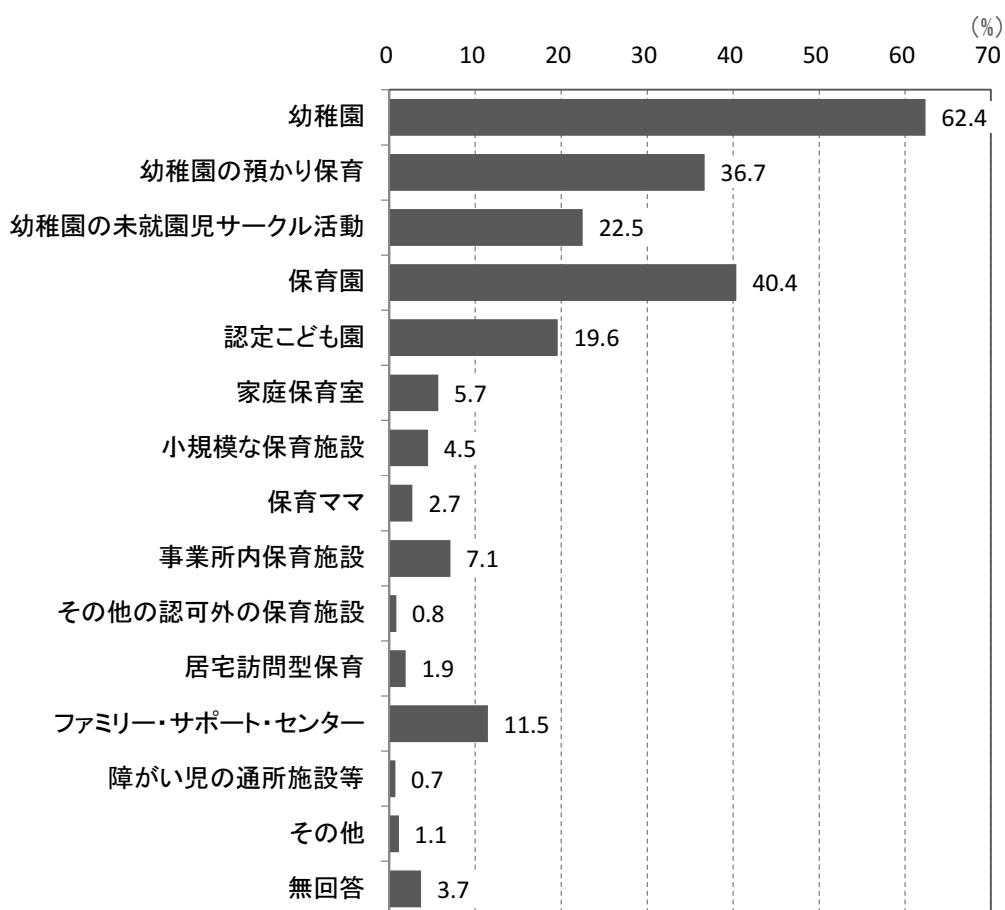
《子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているか》



問 12 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(複数回答)

平日に定期的に利用したいと考える教育・保育の事業については、「幼稚園」が 62.4%で最も多く、次いで「保育園」が 40.4%、「幼稚園の預かり保育」36.7%となっています。

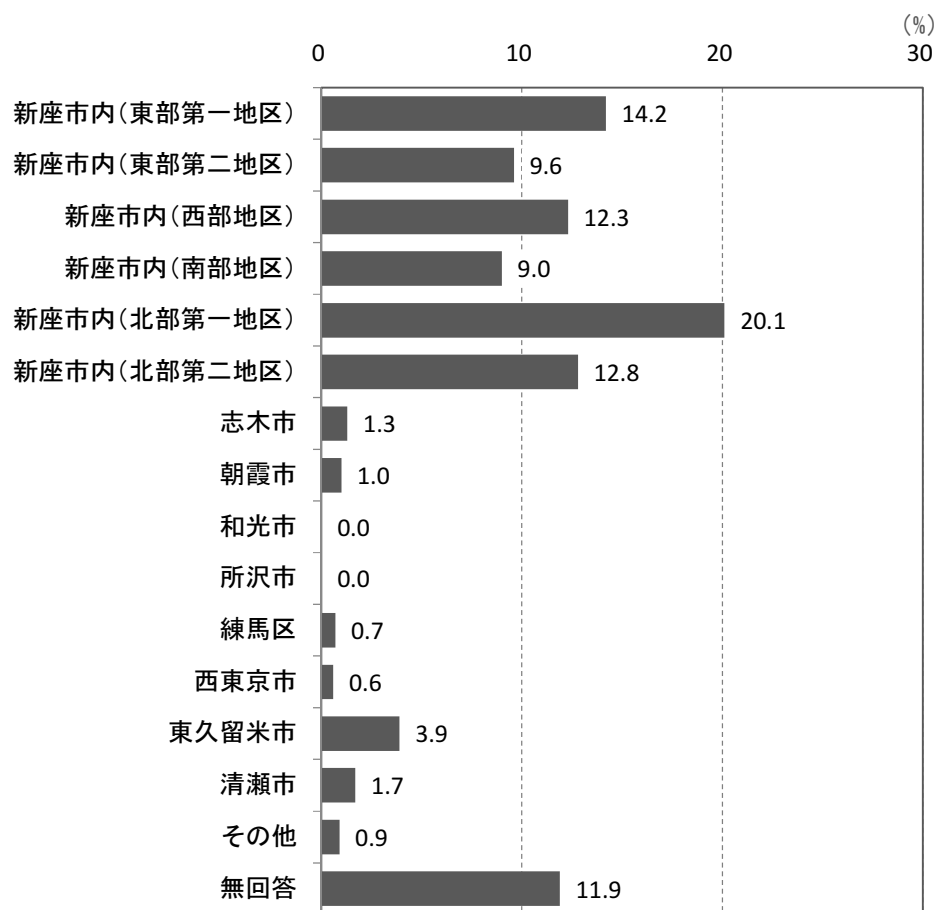
(n=1,799)



問 12-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(単数回答)

教育・保育事業を利用したい場所については、「新座市内（北部第一地区）」が 20.1%で最も多く、次いで「新座市内（東部第一地区）」が 14.2%、「新座市内（北部第二地区）」が 12.8%となっています。

(n=1,799)



5 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 13 下記の地域の子育て支援事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(単数回答)

地域の子育て支援事業で認知度が高いものとしては、「11. 児童センター」が 88.8%で最も多く、次いで「1. 母親学級、パパママ学級、育児学級」が 87.5%、「14. パパママ応援ショップ」が 86.3%となっています。

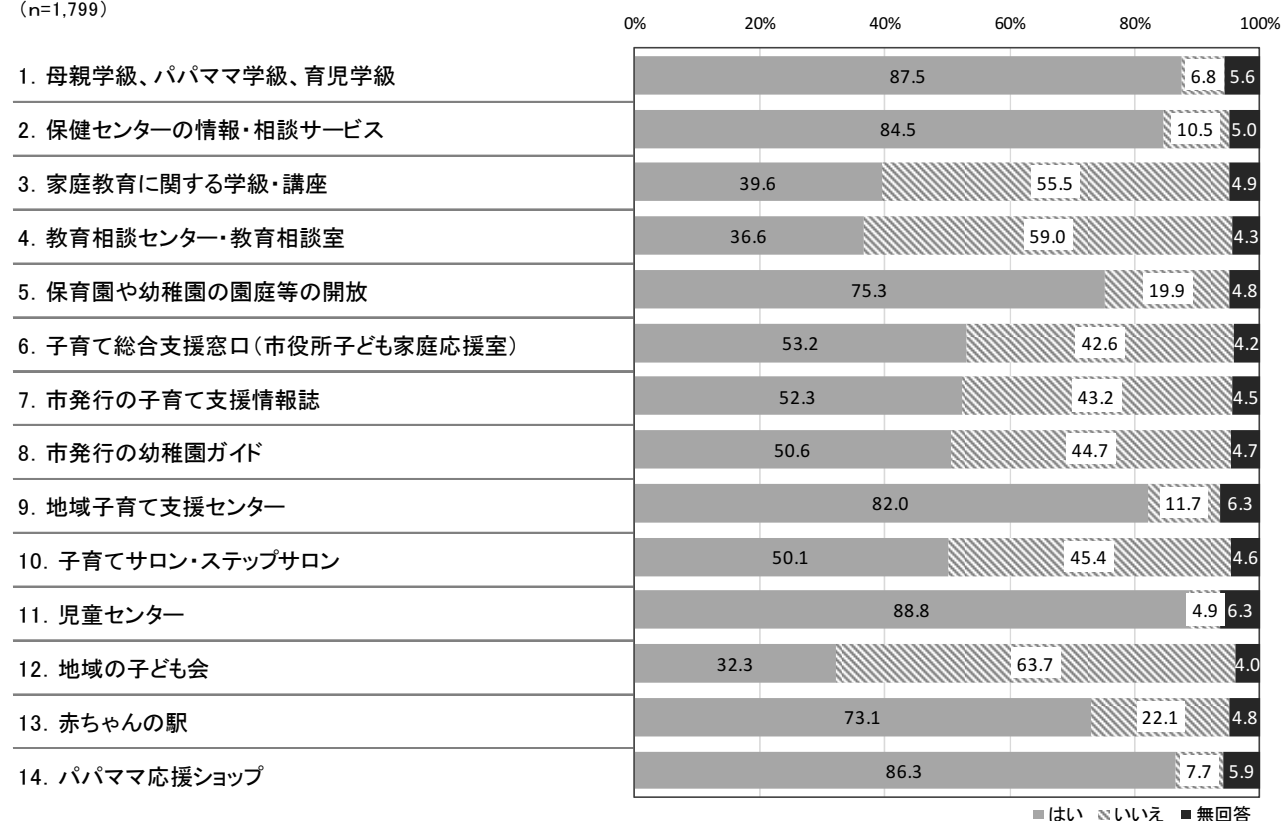
一方、認知度の低いものとしては、「12. 地域の子ども会」が 32.3%で最も低く、次いで「4. 教育相談センター・教育相談室」が 36.6%、「3. 家庭教育に関する学級・講座」が 39.6%となっています。

これまでに利用したことがある事業は、「14. パパママ応援ショップ」が 77.7%で最も多く、次いで「11. 児童センター」が 71.7%、「9. 地域子育て支援センター」が 61.9%となっています。

今後利用したい事業は、「14. パパママ応援ショップ」が 84.5%で最も多く、次いで「11. 児童センター」が 80.6%、「5. 保育園や幼稚園の園庭等の開放」が 68.8%となっています。

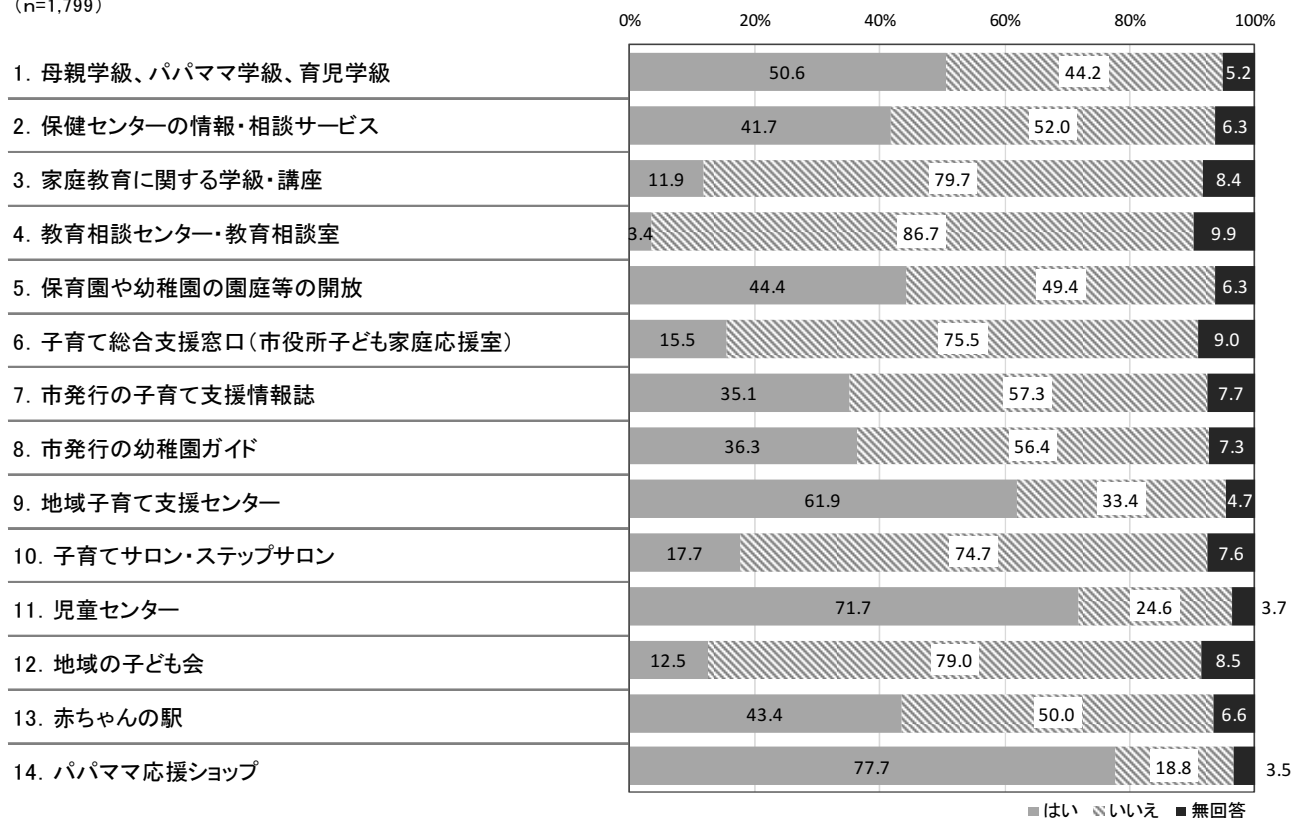
《A 知っている》

(n=1,799)



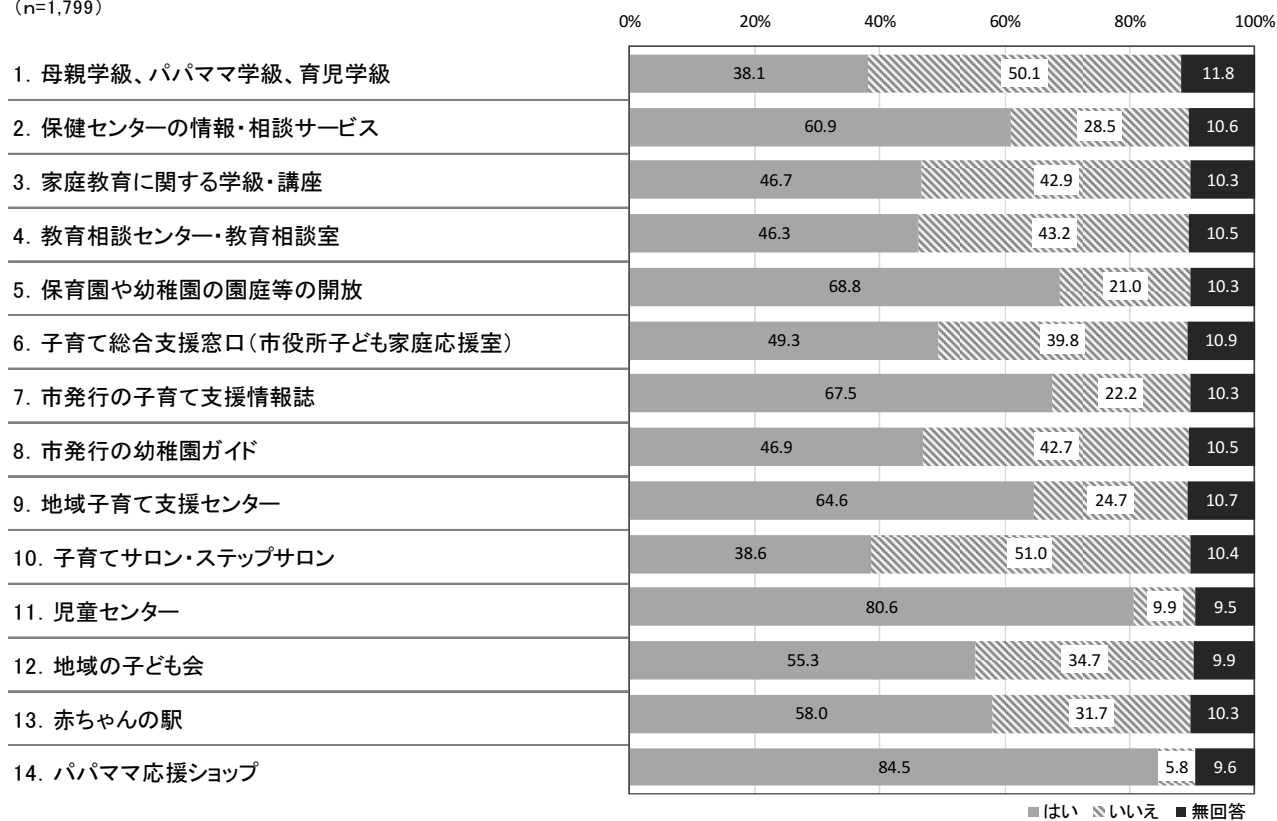
《B これまでに利用したことがある》

(n=1,799)



《C 今後利用したい》

(n=1,799)

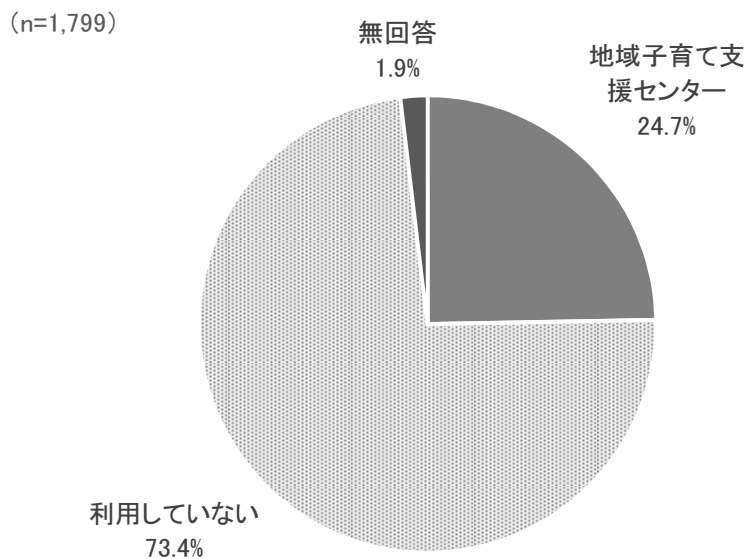


**問 14 宛名のお子さんは、現在、新座市の地域子育て支援センターを利用していますか。
おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（単数回答・数量回答）**

地域子育て支援センターを利用しているかについては、「利用していない」が73.4%で最も多く、次いで「地域子育て支援センター（利用している）」が24.7%となっています。

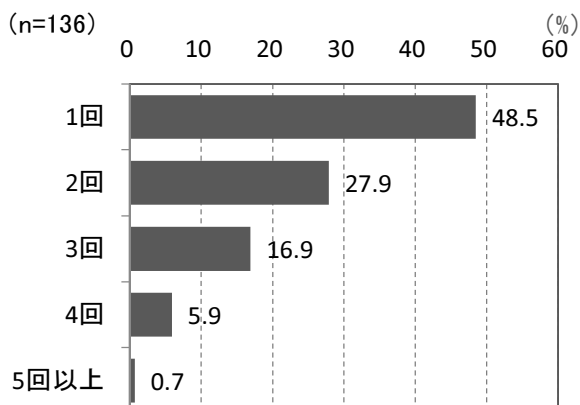
地域子育て支援センターの利用回数(頻度)は、1週当たり「1回」が48.5%で最も多く、1か月当たりでも「1回」が48.7%で最も多くなっています。

利用していない理由は、「利用する必要がない」が42.8%で最も多く、次いで「場所がわからない」および「利用方法がわからない」がともに20.2%となっています。

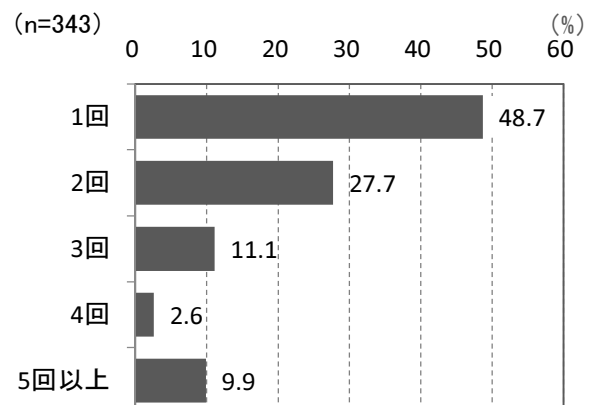


《地域子育て支援センターの利用回数》（無回答除く）

① 1週当たり

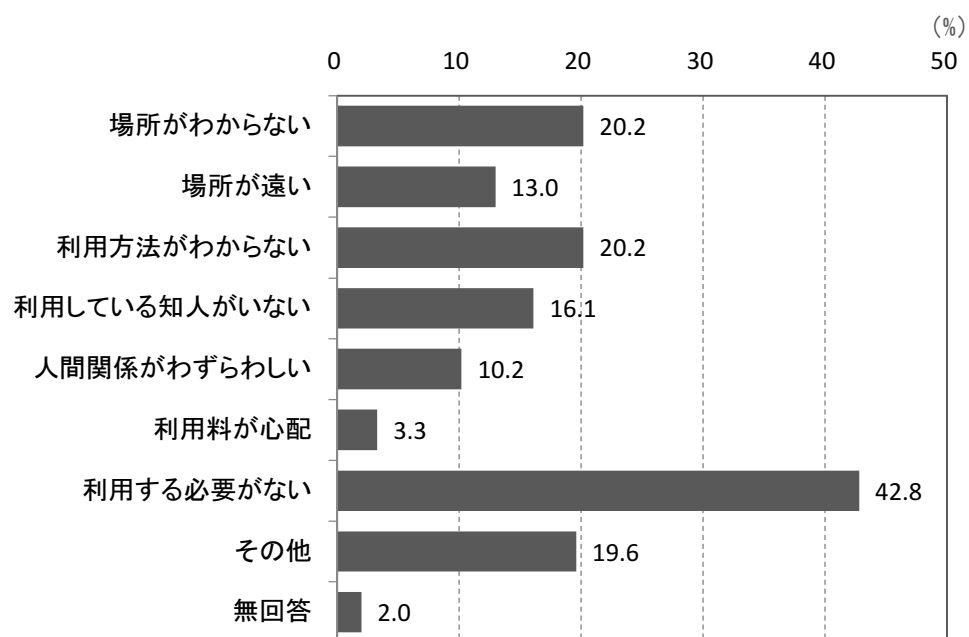


② 1か月当たり



《利用していない理由》

(n=1,320)

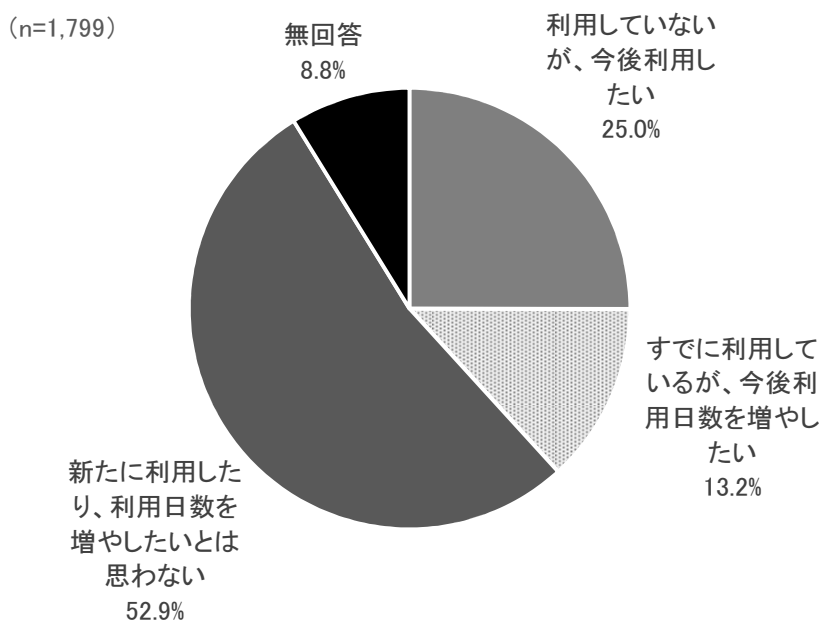


問 15 新座市の地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。およその利用回数（頻度）もご記入ください。（単数回答・数量回答）

地域子育て支援拠点事業の今後の利用については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が52.9%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が25.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が13.2%となっています。

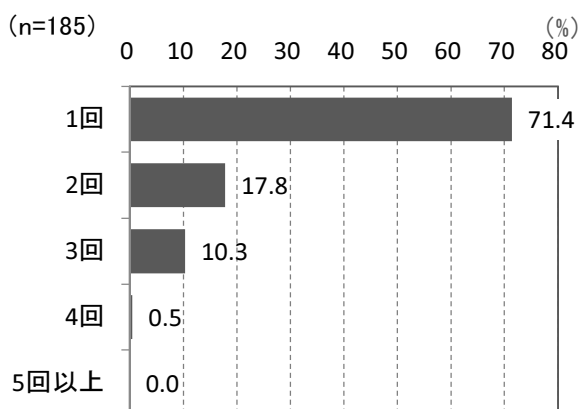
「利用していないが、今後利用したい」場合の利用回数は、1週当たり「1回」が71.4%で最も多く、また、1か月当たりの回数も「1回」が39.7%で最も多くなっています。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」場合の利用回数では、1週当たり、「1回」が67.0%で最も多く、また、1か月当たりの回数は「2回」が29.6%で最も多くなっています。

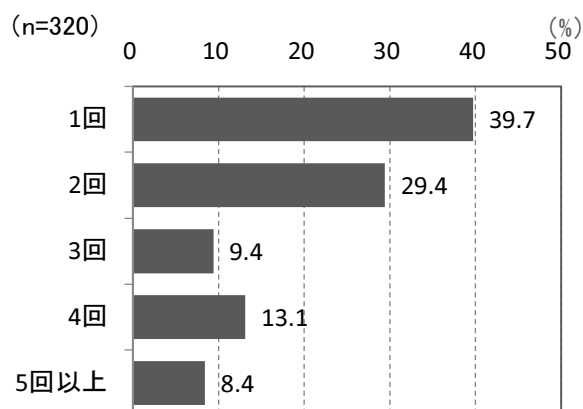


《利用していないが今度利用したい場合の回数》（無回答除く）

① 1週当たり

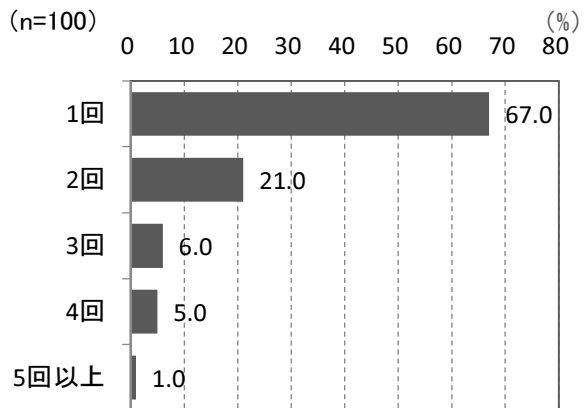


② 1か月当たり

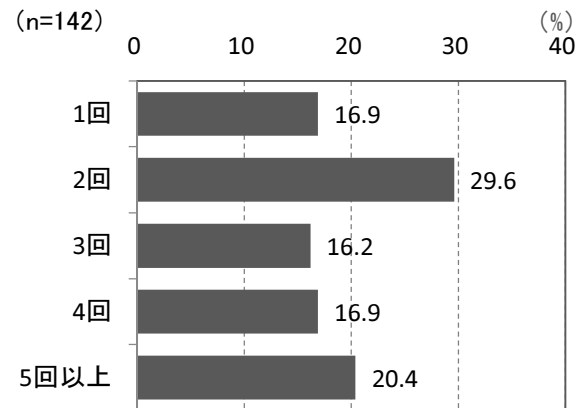


《すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい場合の回数》（無回答除く）

① 1週当たり



② 1か月当たり



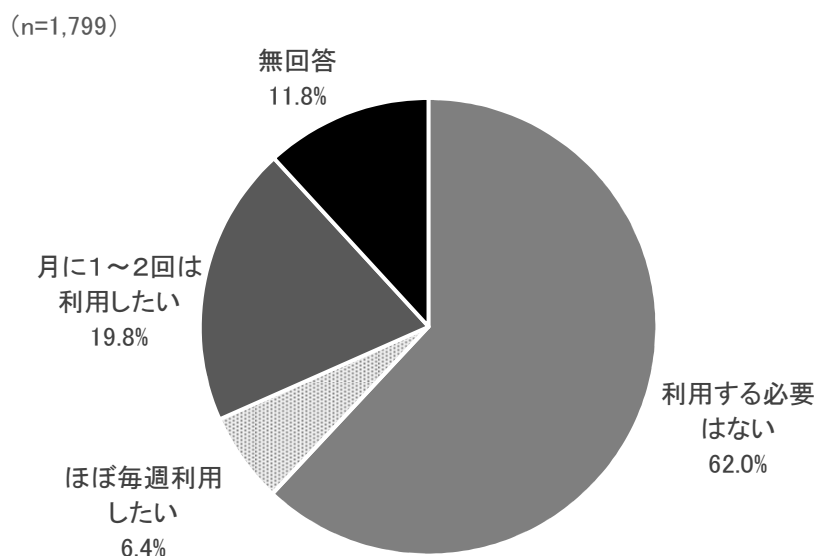
6 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制（例：9時00分～18時30分）でご記入ください。（単数回答・数量回答）

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が62.0%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が19.8%、「ほぼ毎週利用したい」が6.4%となっています。

利用したい希望開始時間は「8時台」が38.7%で最も多く、次いで「9時台」が32.8%となっています。また、希望終了時間については、「18時台」が29.4%で最も多く、次いで「17時台」が24.9%となっています。

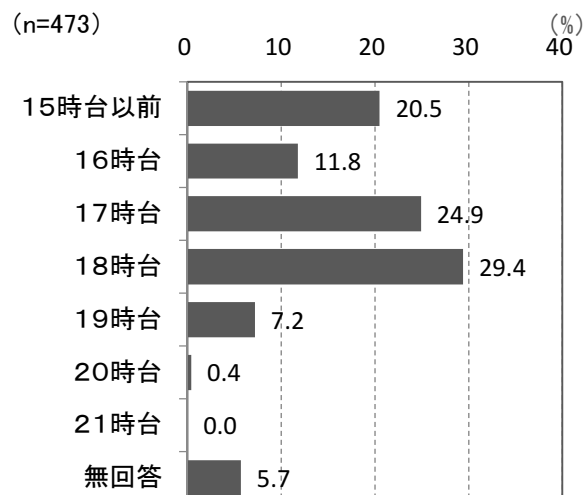
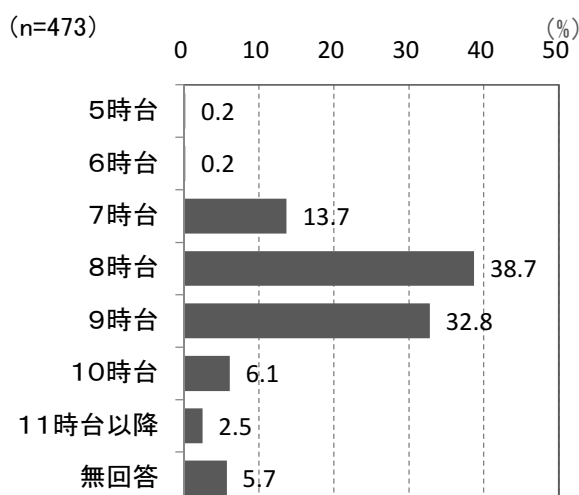
《土曜日の利用意向》



《土曜日の希望利用時間帯》

① 希望利用開始時間

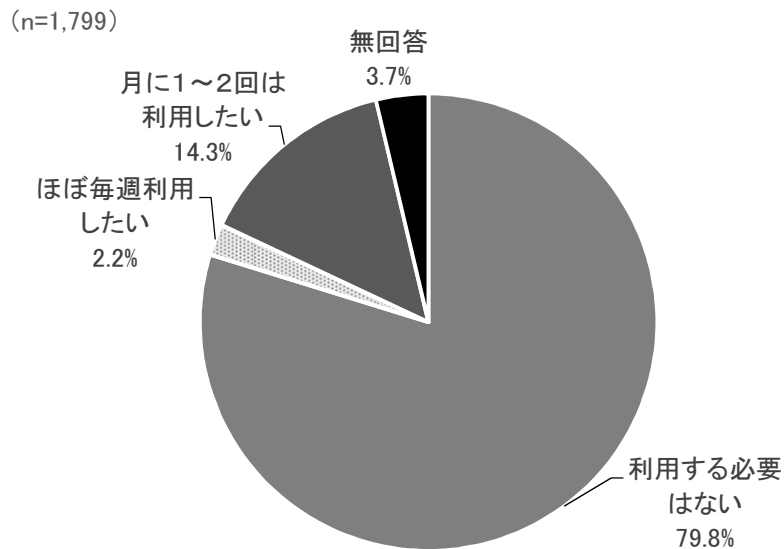
② 希望利用終了時間



日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」が79.8%で最も多く、次いで「月に1~2回利用したい」が14.3%となっています。

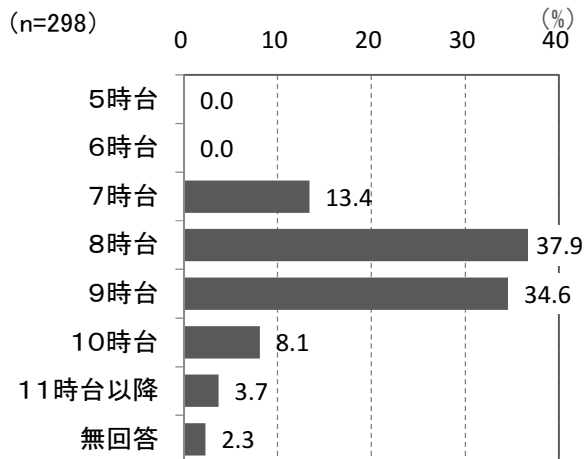
利用したい希望開始時間は「8時台」が37.9%で最も多く、次いで「9時台」が34.6%となっています。また、希望終了時間については、「18時台」が32.6%で最も多く、次いで「17時台」が25.5%となっています。

《日曜・祝日の利用意向》

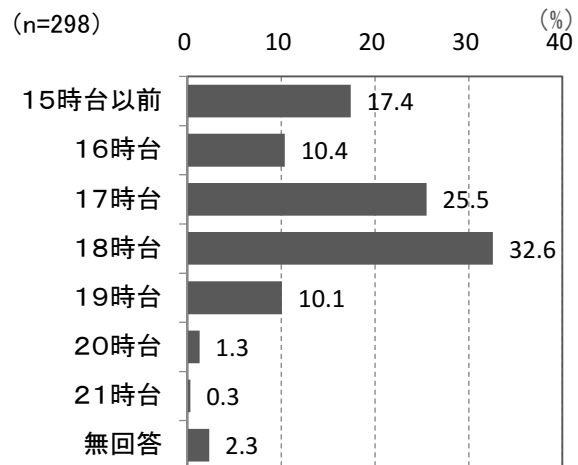


《日曜・祝日の希望利用時間帯》

① 希望利用開始時間



② 希望利用終了時間



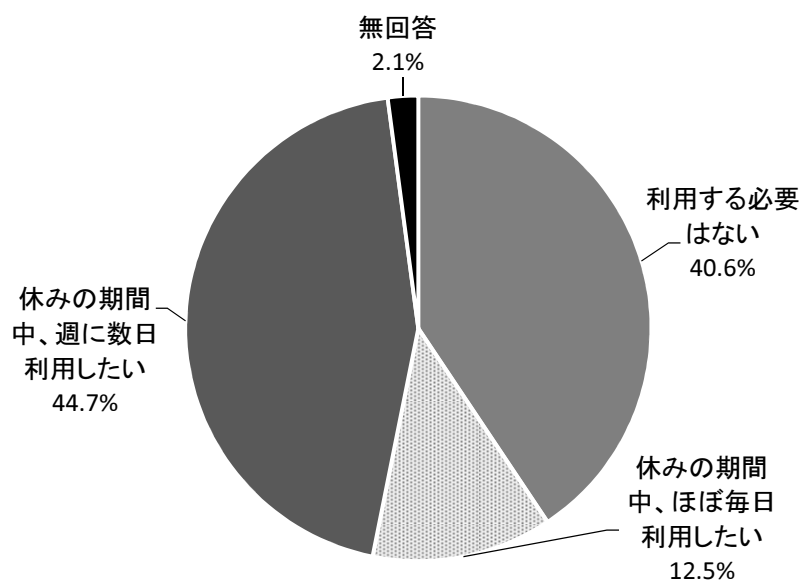
【幼稚園を利用されている方にうかがいます】

問 17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を 24 時間制（例：9 時 00 分～18 時 30 分）でご記入ください。（単数回答・数量回答）

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 44.7%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が 40.6%、「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」が 12.5%となっています。

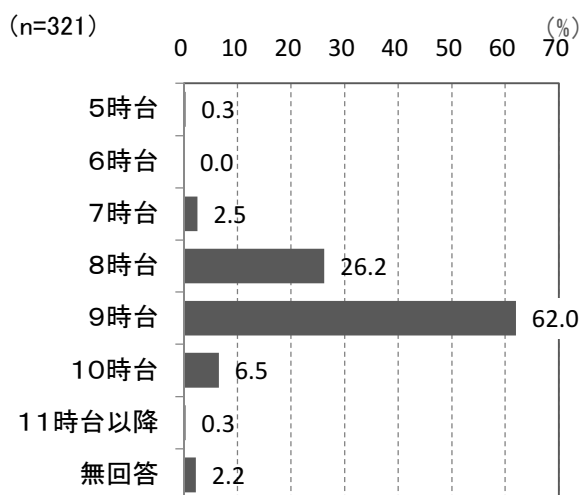
希望利用開始時間は「9 時台」が 62.0%で最も多く、希望利用終了時刻は「15 時台以前」が 48.3%で最も多くなっています。

(n=561)

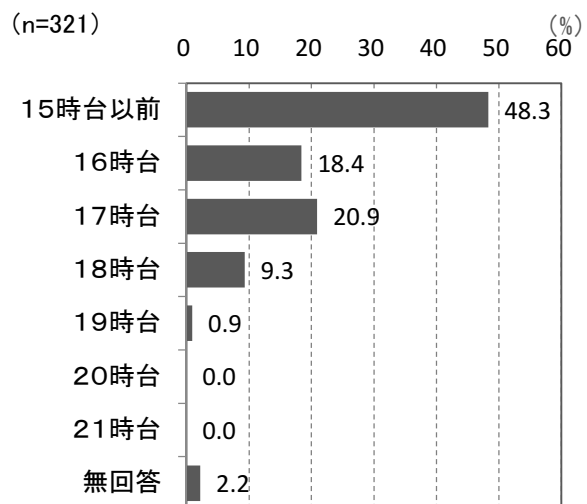


《長期休暇期間中の希望利用時間帯》

①希望利用開始時間



②希望利用終了時間



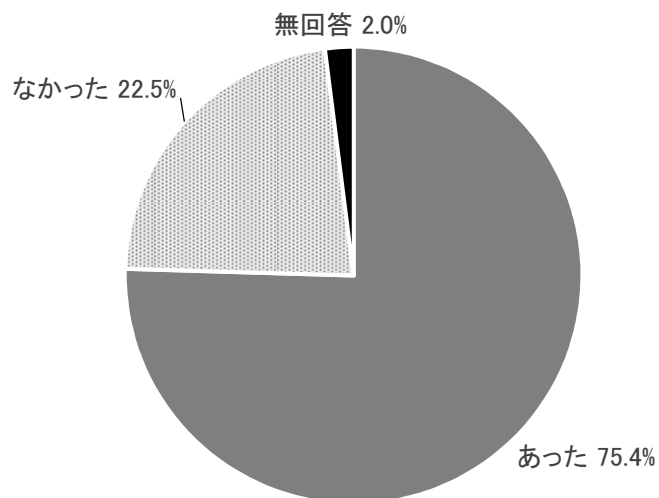
7 お子さんの病気の際の対応について

【平日の定期的な教育・保育事業を利用している方にうかがいます】

問 18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで事業を利用できなかったことはありますか。(単数回答)

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の実業が利用できなかったことがあったかについては、「あった」が75.4%、「なかった」が22.5%となっています。

(n=1,091)



【問 18 で「1. あった」に○を付けた方にうかがいます】

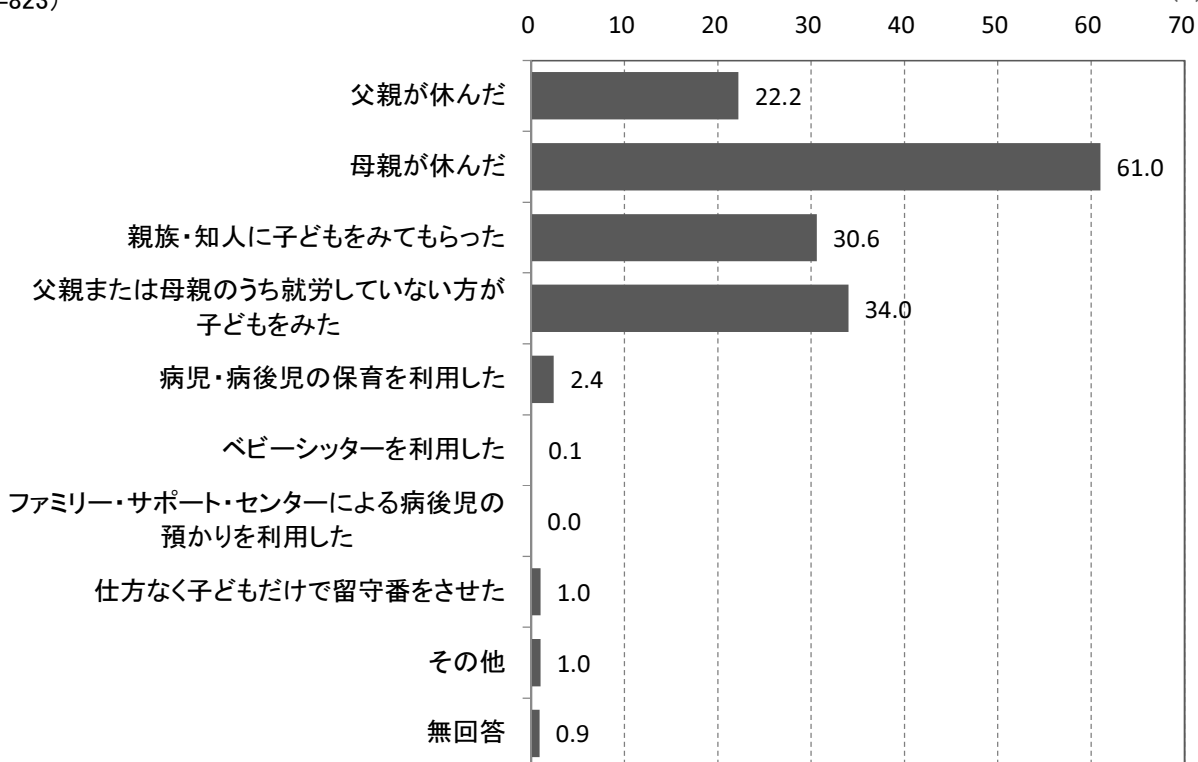
問 18-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数も口内にご記入ください。(複数回答・数量回答)

この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が61.0%で最も多く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が34.0%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が30.6%となっています。

また、父親が休んだ日数は、「5日未満」が62.8%、母親が休んだ日数は「5日未満」が29.7%、親族・知人にみてもらった日数は「5日未満」が46.8%、父親または母親で就労していない方が対応した日数は、「5日未満」が33.2%で、それぞれ最も多くなっています。

(n=823)

(%)



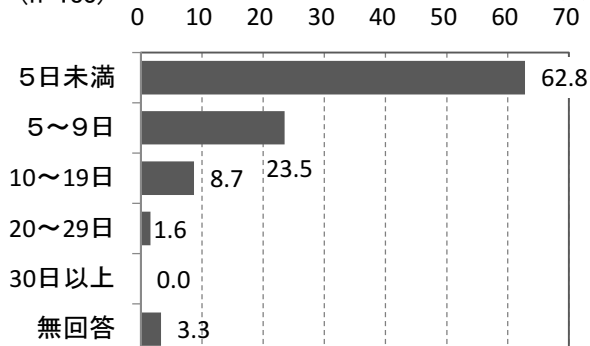
《対処に要した日数》

① 「父親が休んだ」

② 「母親が休んだ」

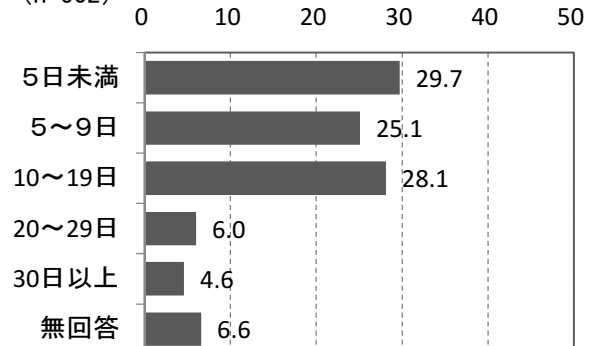
(n=183)

(%)



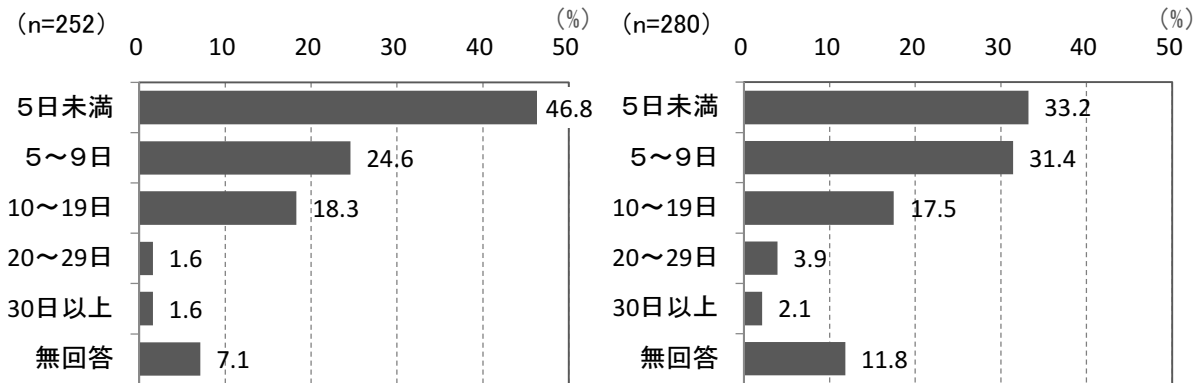
(n=502)

(%)



③ 「親族・知人」

④ 「父親または母親のうち就労していない方」



《そのほか（サンプル数が50未満）の対処に要した日数》

	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
	n=20	n=1	n=8	n=5
5日未満	75.0	100.0	87.5	20.0
5~9日	10.0	0.0	12.5	0.0
10~19日	10.0	0.0	0.0	20.0
20~29日	0.0	0.0	0.0	0.0
30日以上	0.0	0.0	0.0	20.0
無回答	5.0	0.0	0.0	40.0

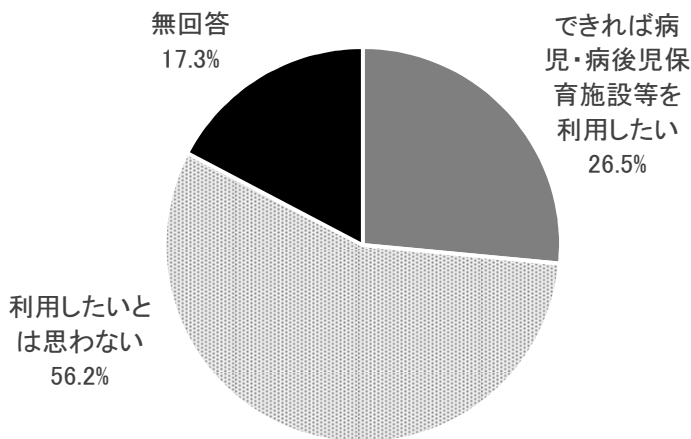
【問 18-1 で「5. 病児・病後児の保育を利用した」に○を付けた方以外の方にうかがいます】

問 18-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。 日数についても口内にご記入ください。(単数回答・数量回答)

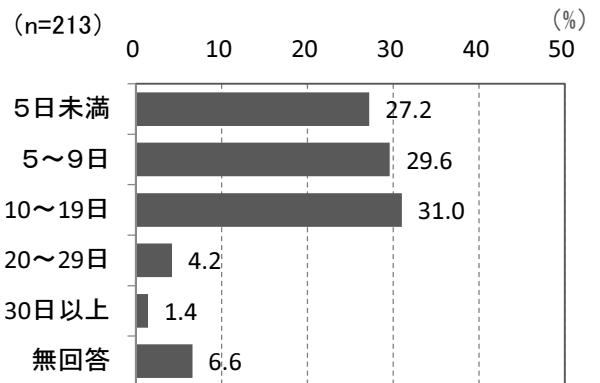
病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「利用したいとは思わない」が 56.2%で最も多く、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 26.5%となっています。

また、病児・病後児保育施設等を利用したい日数については「10～19日」が 31.0%で最も多く、次いで「5～9日」が 29.6%、「5日未満」が 27.2%となっています。

(n=803)



《利用したい日数》

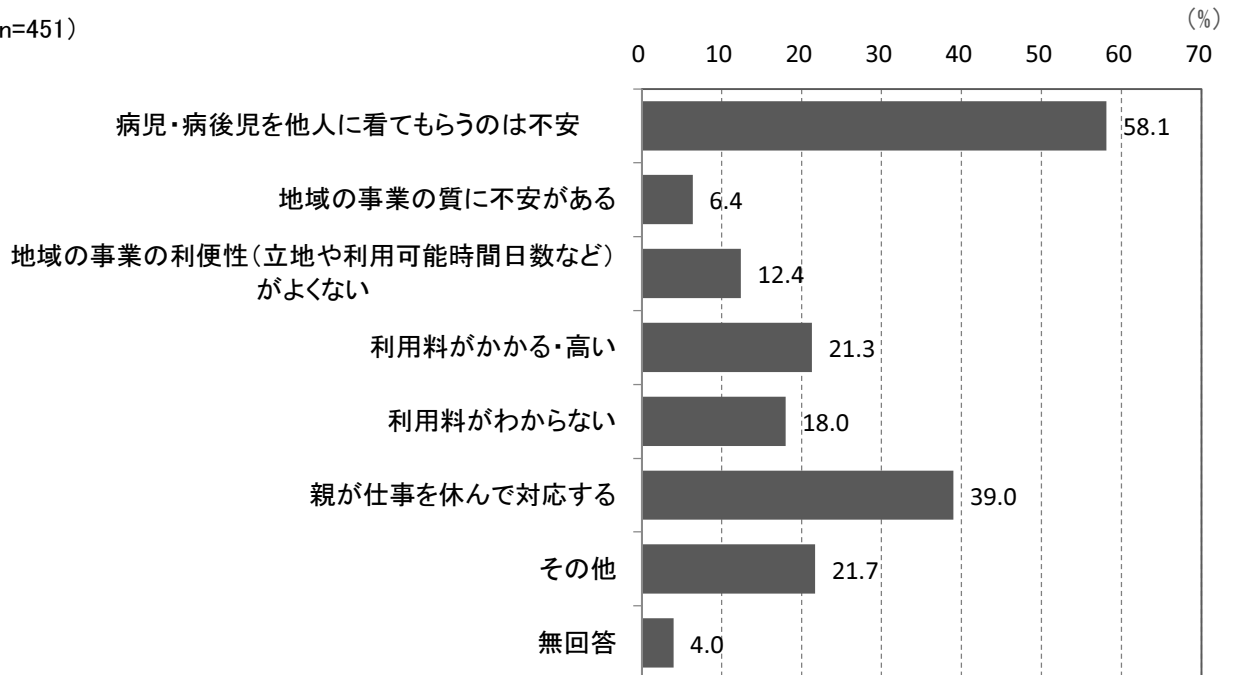


【問 18-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○を付けた方にうかがいます】

**問 18-3 病児・病後児のための保育施設を、利用したいとは思わない理由についてお答え
ください。(複数回答)**

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由については、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 58.1%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 39.0%、「利用料がかかる・高い」が 21.3%となっています。

(n=451)

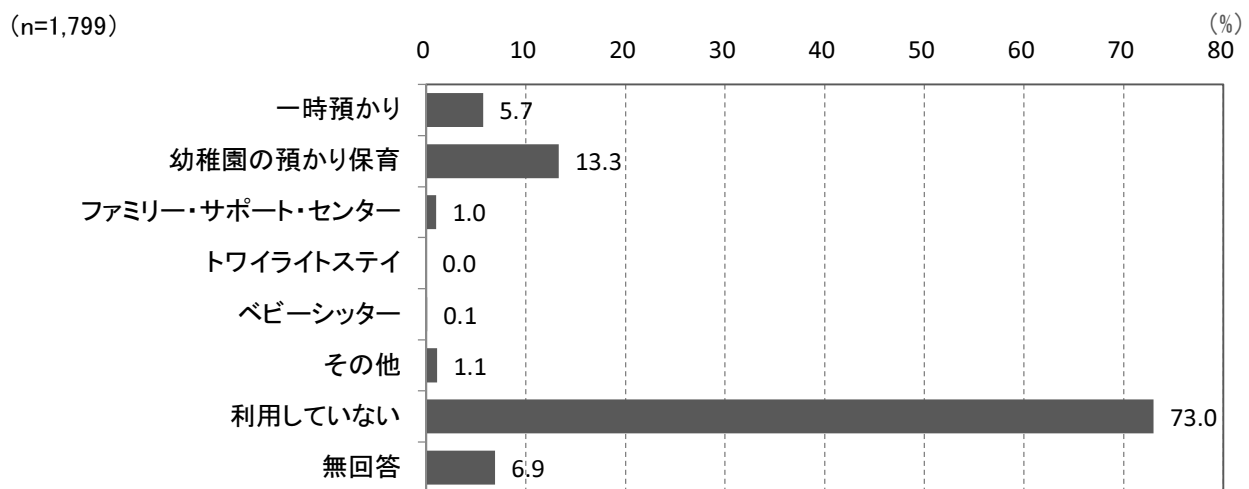


8 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）も口内にご記入ください。（複数回答・数量回答）

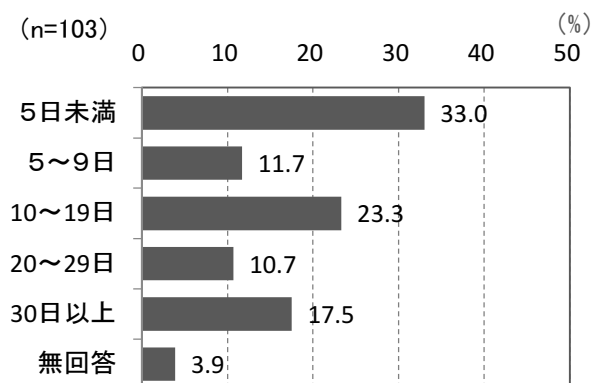
不定期に利用している事業があるかについては、「利用していない」が73.0%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が13.3%、「一時預かり」が5.7%となっています。

一時預かりを利用した日数については「5日未満」が33.0%、幼稚園の預かり保育は「5日未満」が41.7%と最も多くなっています。

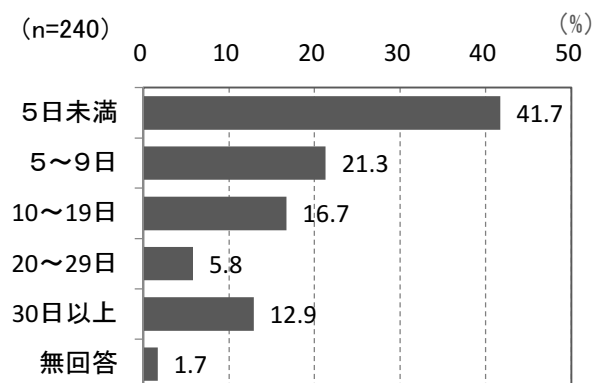


《利用日数》

① 「一時預かり」



② 「幼稚園の預かり保育」



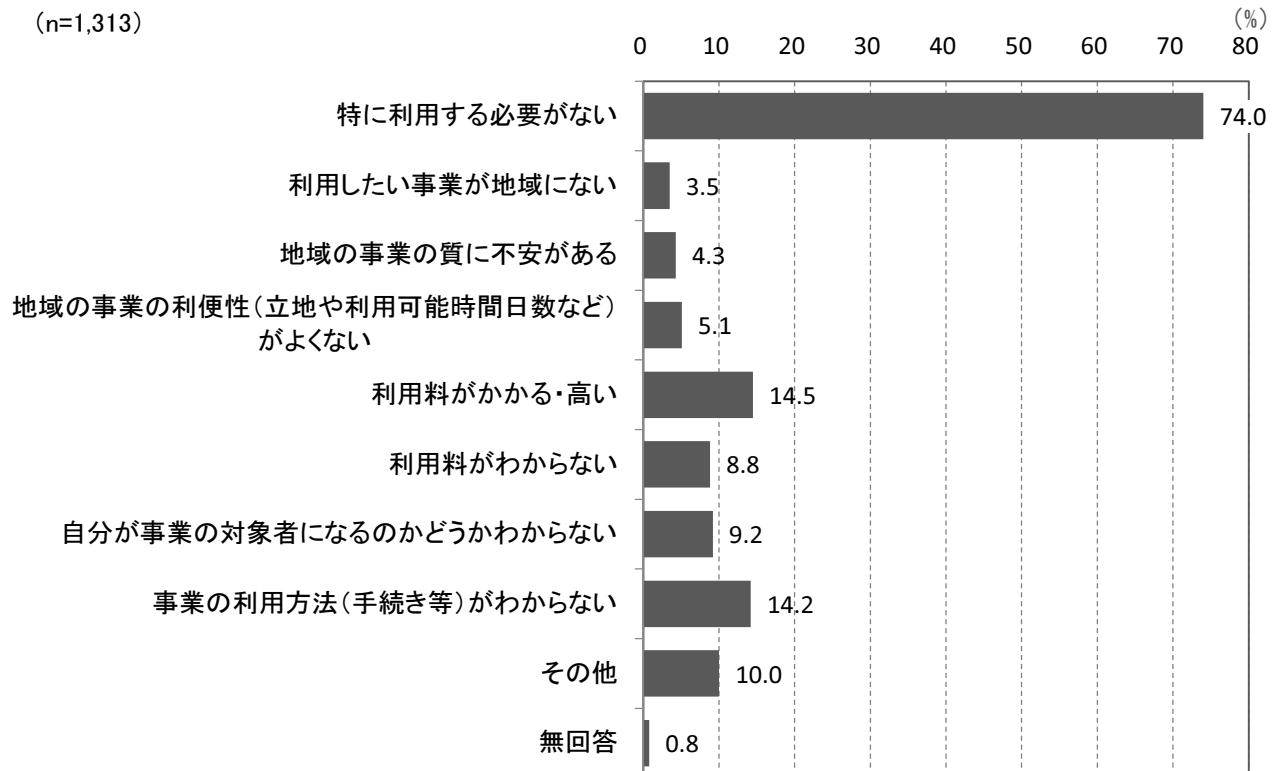
《そのほか（サンプル数が50未満）の利用日数》

	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	その他
	n=18	n=3	n=20
5日未満	22.2	0.0	25.0
5～9日	16.7	0.0	15.0
10～19日	33.3	0.0	25.0
20～29日	5.6	50.0	10.0
30日以上	16.7	0.0	20.0
無回答	5.6	50.0	5.0

【問 19 で「7. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます】

問 19-1 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

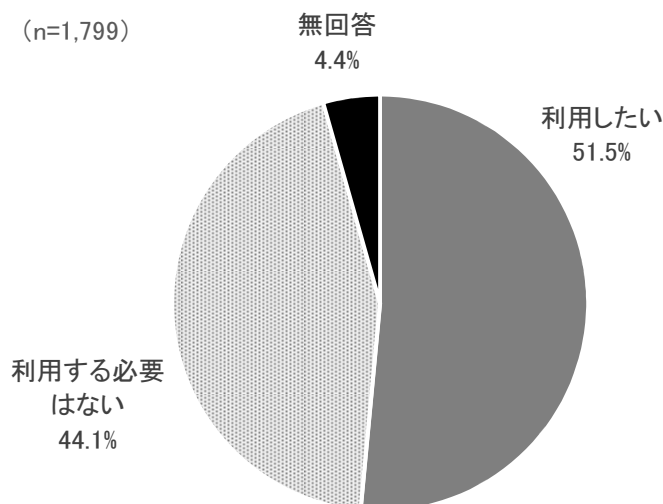
現在利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 74.0%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 14.5%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 14.2%となっています。



問 20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数を口内にご記入ください。（複数回答・数量回答）

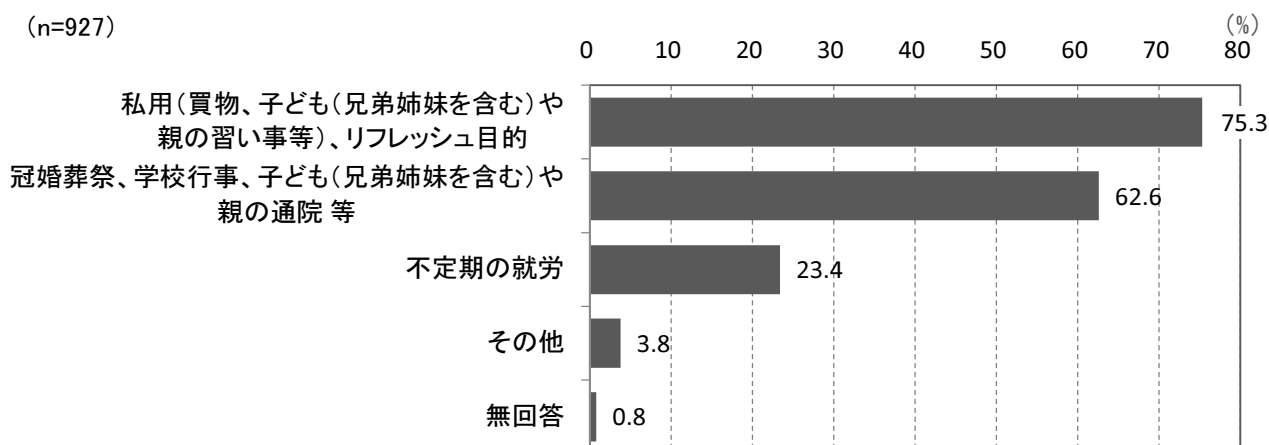
一時預かり等の事業利用希望の有無については、「利用したい」が 51.5%、「利用する必要はない」が 44.1%となっています。

また、利用を希望する目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 75.3%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 62.6%、「不定期の就労」が 23.4%となっています。



《利用の目的》

(n=927)

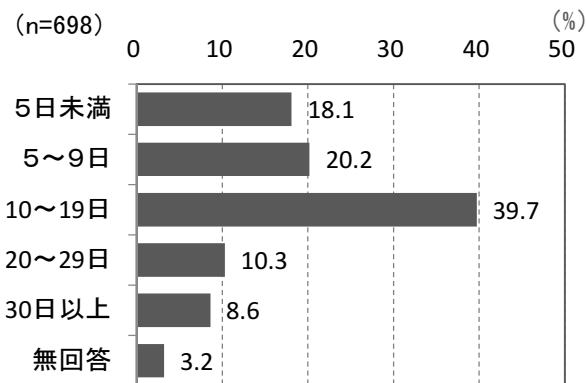


私用、リフレッシュ目的で利用したい希望日数は「10～19日」が39.7%で最も多く、次いで「5～9日」が20.2%、「5日未満」が18.1%となっています。

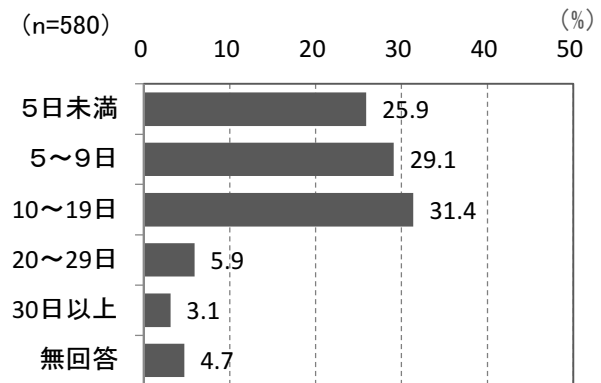
また、冠婚葬祭等では「10～19日」が31.4%で最も多く、次いで「5～9日」が29.1%、「5日未満」が25.9%となっています。

不定期の就労目的で利用したい希望日数は「30日以上」が38.2%で最も多く、次いで「10～19日」が28.6%、「5～9日」が11.5%となっています。

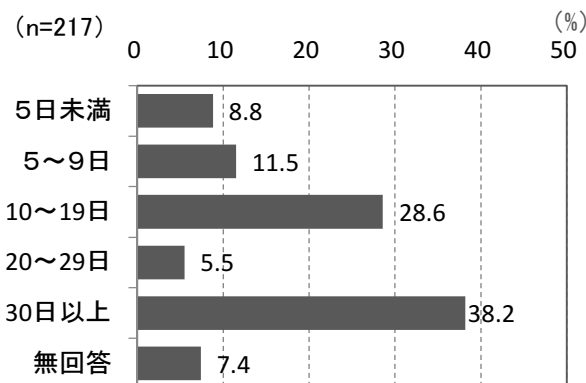
《私用、リフレッシュ目的》



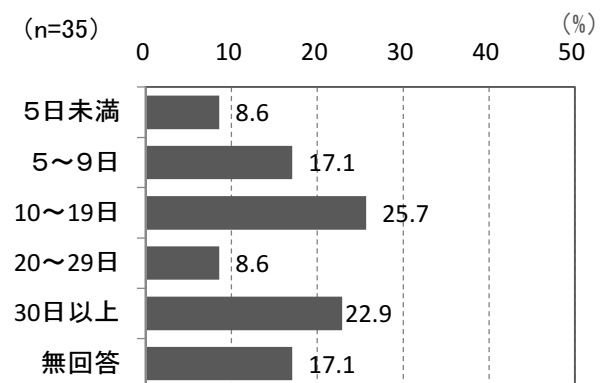
《冠婚葬祭等》



《不定期の就労》



《その他》

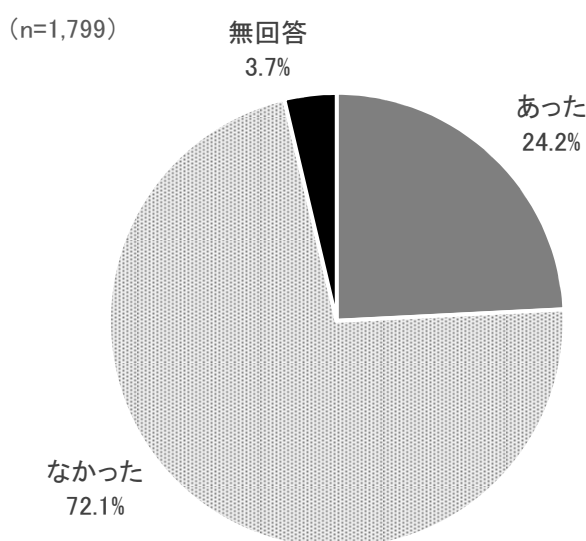


問 21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけまたは泊まり込みで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（複数回答・数量記入）

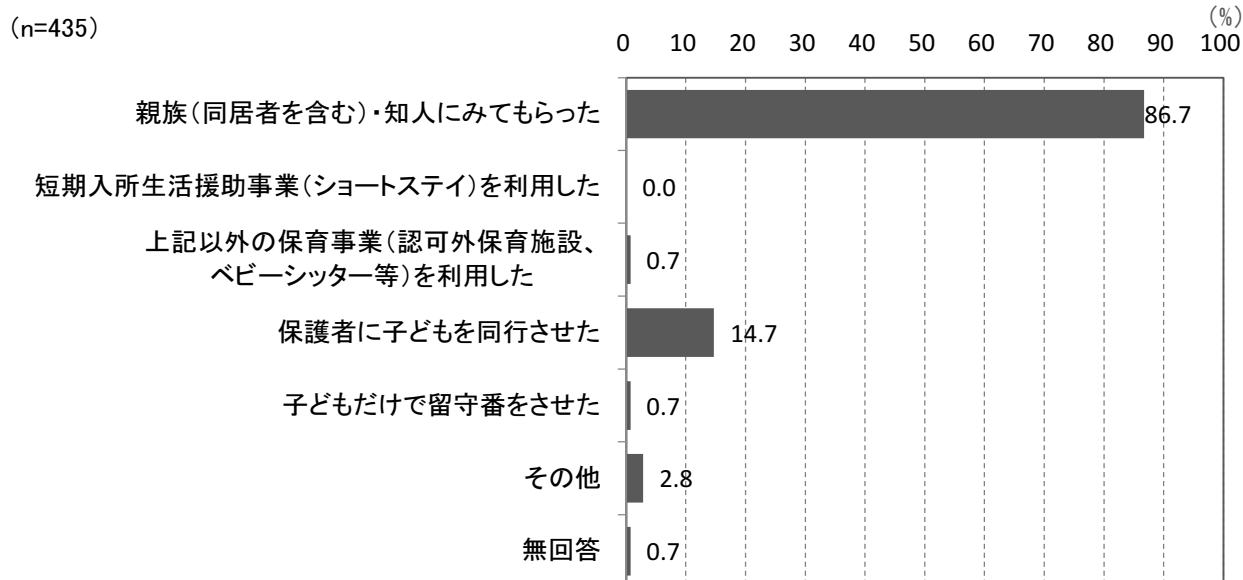
この1年間に、保護者の用事により宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについては、「なかった」が72.1%、「あった」は24.2%となっています。

また、その際の対処方法については、「親族（同居者を含む）・知人にみてもらった」が86.7%で最も多く、次いで「保護者に子どもを同行させた」が14.7%となっています。

親族・知人にみてもらった日数は「1～2泊」が42.4%で最も多く、次いで「3～5泊」が27.3%となっています。

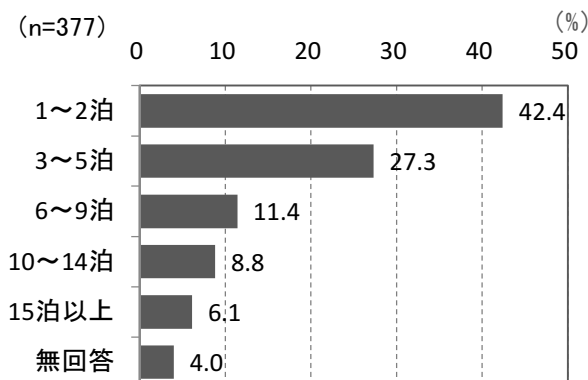


《対処方法》

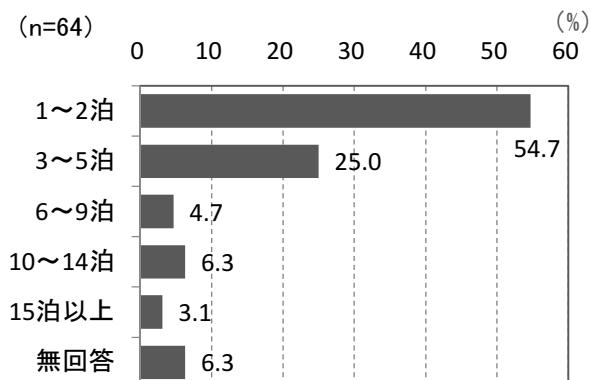


《対処に要した日数》

①「親族・知人にみてもらった」



②保護者に子どもを同行させた



《そのほか（サンプル数が50未満）の利用日数》

	短期入所以外の保 育事業を利用した	子どもだけで留守番 をさせた	その他
	n=3	n=3	n=12
1~2泊	66.7	33.3	25.0
3~5泊	33.3	0.0	25.0
6~9泊	0.0	0.0	0.0
10~14泊	0.0	0.0	0.0
15泊以上	0.0	33.3	8.3
無回答	0.0	33.3	41.7

9 お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

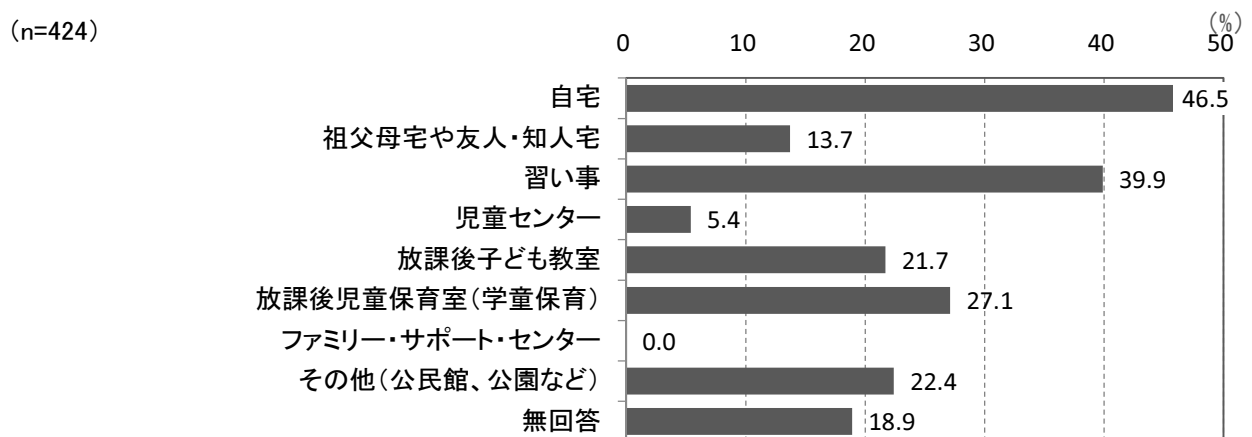
問 22 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童保育室」の場合には、利用を希望する時間も口内にご記入ください。（複数回答・数量回答）

小学校低学年の間は、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「自宅」が46.5%で最も多く、次いで「習い事」が39.9%、「放課後児童保育室（学童保育）」が27.1%となっています。

「自宅」で過ごさせたい日数は1週当たり「3日」および「5日」がともに24.4%で最も多く、次いで「2日」が21.8%となっています。

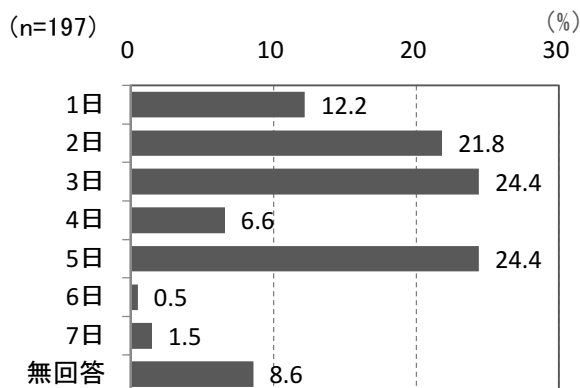
「習い事」では「2日」が47.3%で最も多く、次いで「1日」が36.7%、「3日」が11.8%となっています。

「放課後児童保育室（学童保育）」では「5日」が67.0%で最も多くなっています。また、希望終了時間は「18時台」が40.9%で最も多く、次いで「17時台」が34.8%となっています。

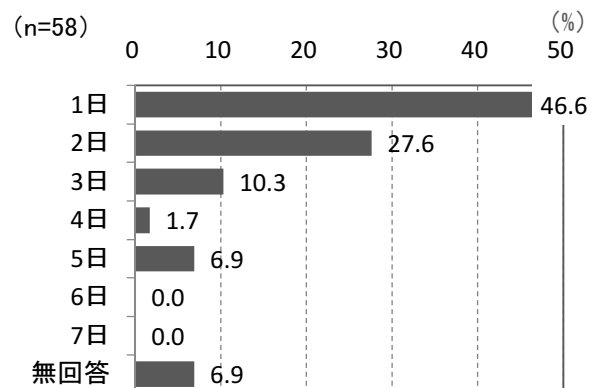


《希望する日数》

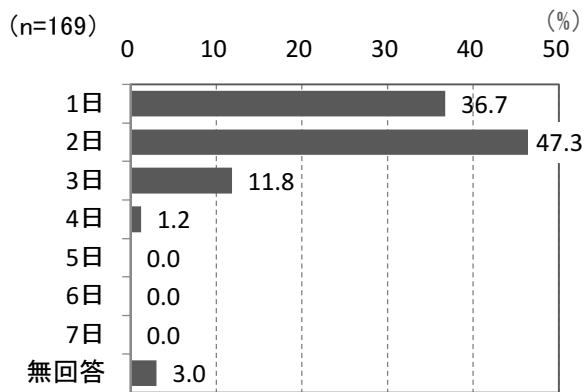
①自宅



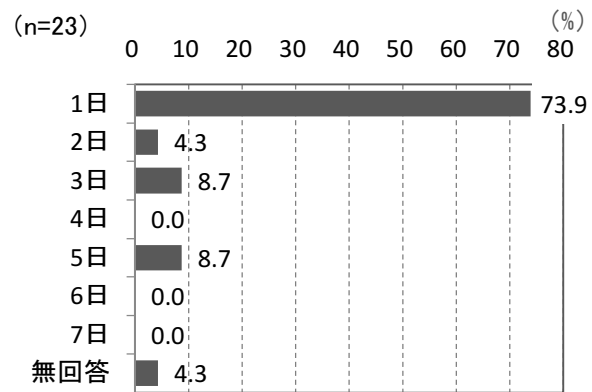
②祖父母宅や友人・知人宅



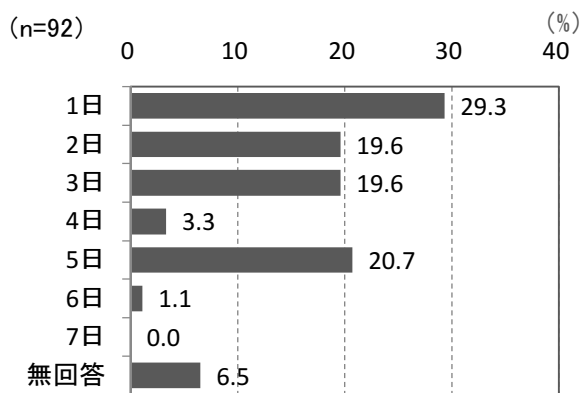
③習い事



④児童センター



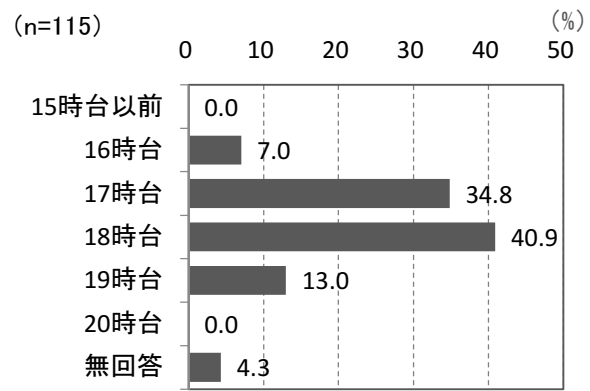
⑤放課後子ども教室



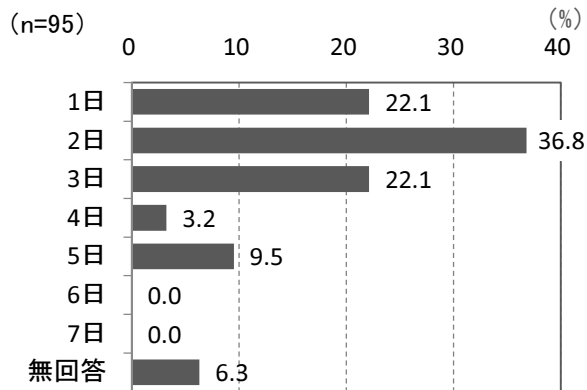
⑥放課後児童保育室〔学童保育〕



《放課後児童クラブ〔学童保育〕の希望終了時間》



⑧その他



問 23 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童保育室」の場合には、利用を希望する時間も口内にご記入ください。必ず、時間は24時間制（例：17時30分まで）でご記入ください。（複数回答・数量回答）

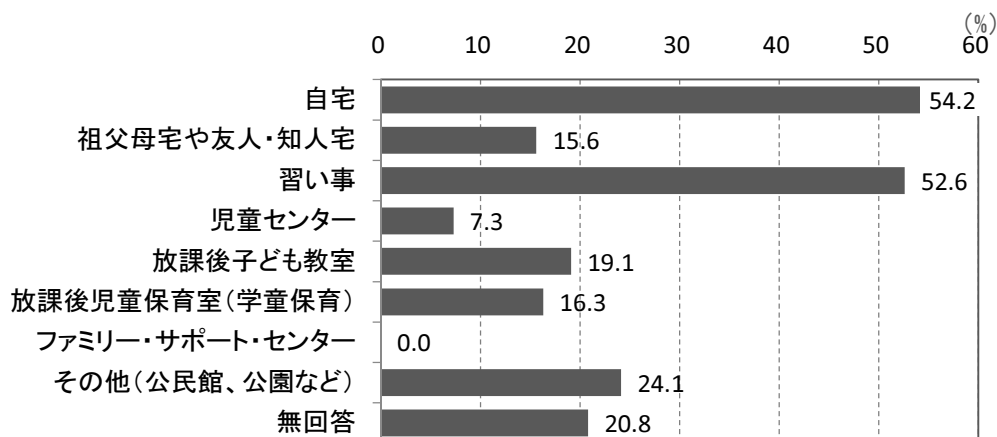
小学校高学年の間は、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「自宅」が54.2%で最も多く、次いで「習い事」が52.6%、「その他（公民館、公園など）」が24.1%となっています。

「自宅」で過ごさせたい日数は1週あたり「2日」が23.5%で最も多く、次いで「1日」が23.0%、「5日」が22.6%となっています。

「習い事」では「2日」が48.4%で最も多く、次いで「1日」および「3日」がともに22.0%となっています。

「その他（公民館、公園など）」では「2日」が26.5%で最も多く、次いで「3日」が25.5%、「1日」が24.5%となっています。

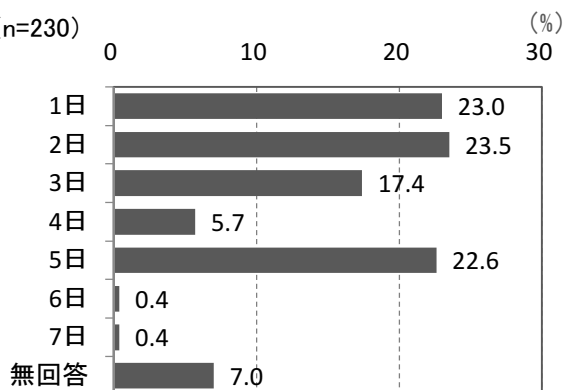
(n=424)



《希望する日数》

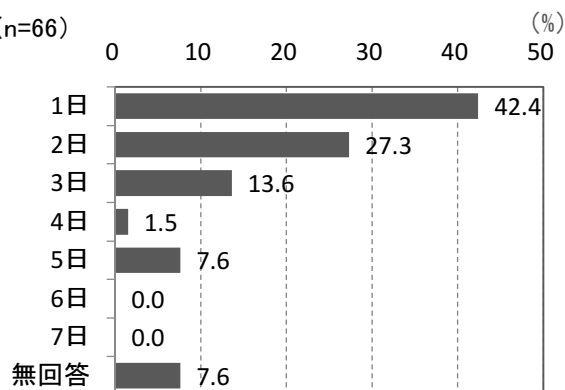
①自宅

(n=230)

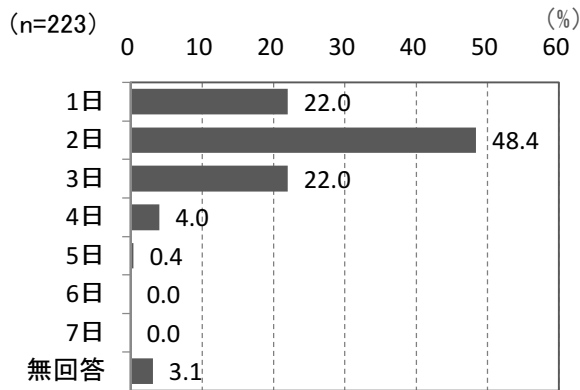


②祖父母宅や友人・知人宅

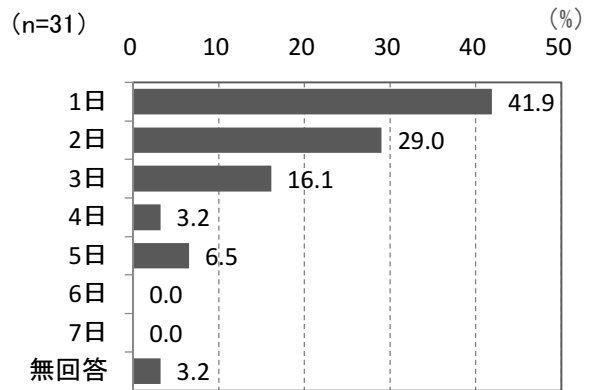
(n=66)



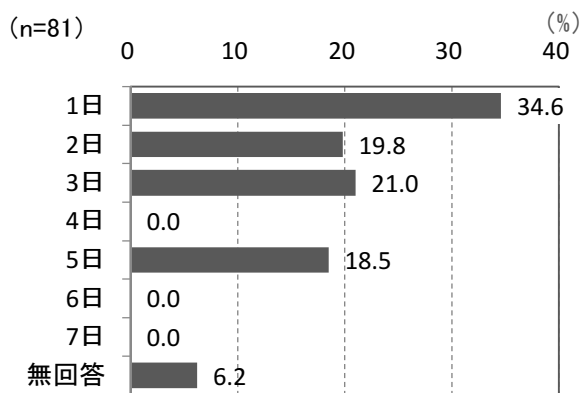
③習い事



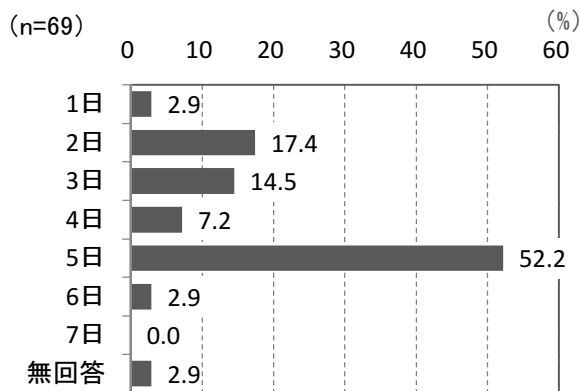
④児童センター



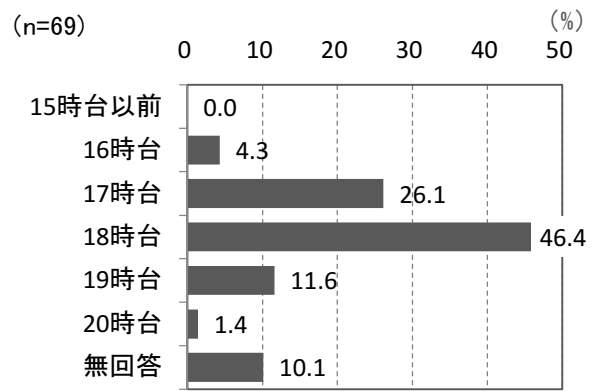
⑤放課後子ども教室



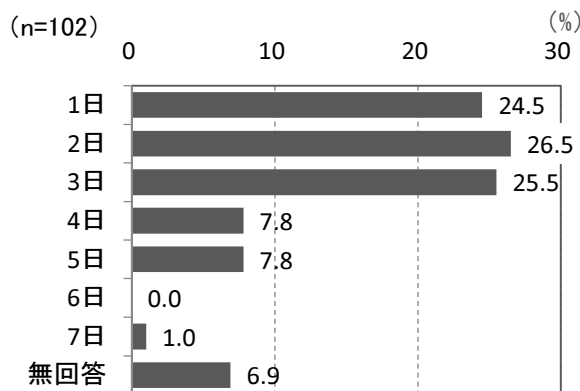
⑥放課後児童保育室



《放課後児童クラブ〔学童保育〕の希望終了時間》



⑦その他



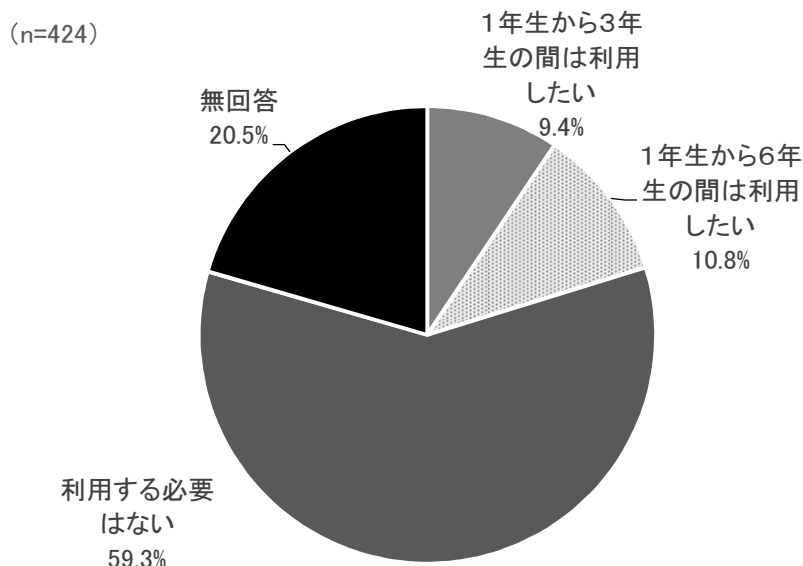
問 24 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童保育室の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用者負担があります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を24時間制(例：8時00分～18時00分)でご記入ください。(単数回答・数量回答)

土曜日の放課後児童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が59.3%で最も多く、「1年生から6年生の間は利用したい」が10.8%、「1年生から3年生の間は利用したい」が9.4%となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」が50.0%、「9時台」が30.2%、「7時台」が11.6%となっています。

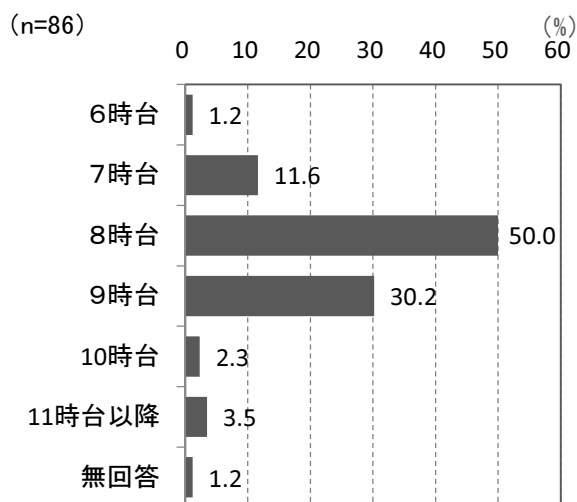
また、希望終了時間は、「18時台」が39.5%、「17時台」が24.4%、「15時以前」が18.6%となっています。

《土曜日》

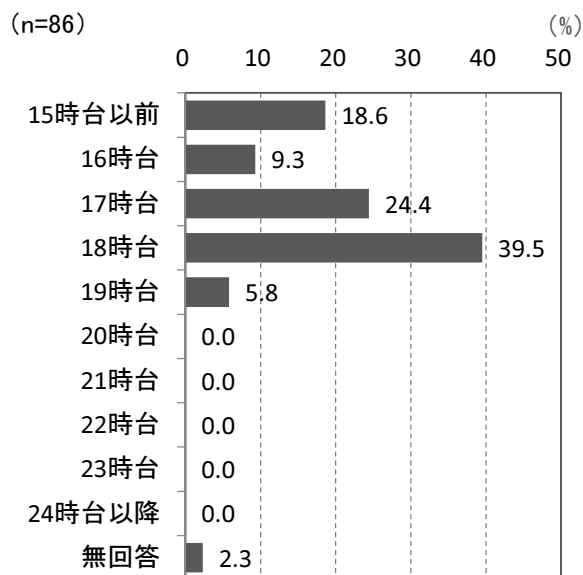


《土曜日の希望利用時間帯》

①希望利用開始時間



②希望利用終了時間

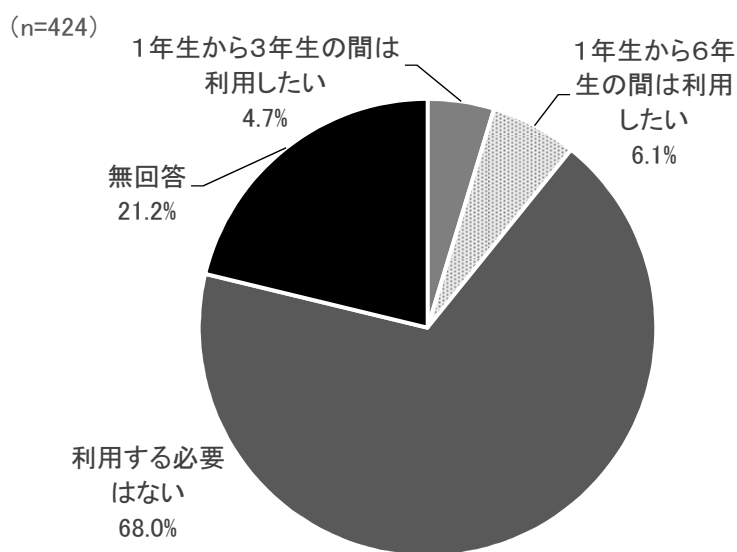


日曜日・祝日の放課後児童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が68.0%で最も多く、「1年生から6年生の間は利用したい」が6.1%、「1年生から3年生の間は利用したい」は4.7%となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」が45.7%、「9時台」が30.4%、「7時台」が15.2%となっています。

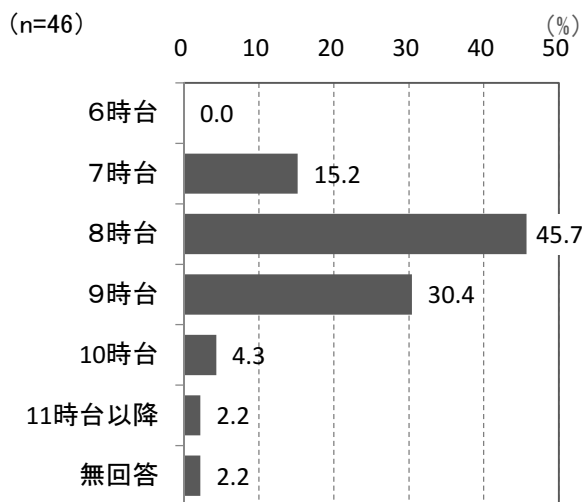
また、希望終了時間は、「18時台」が37.0%、「17時台」が30.4%となっています。

《日曜日・祝日》

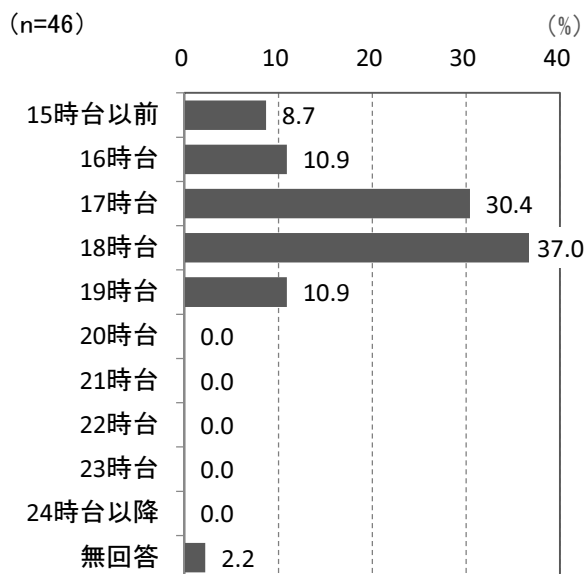


《日曜日・祝日の希望利用時間帯》

①希望利用開始時間



②希望利用終了時間

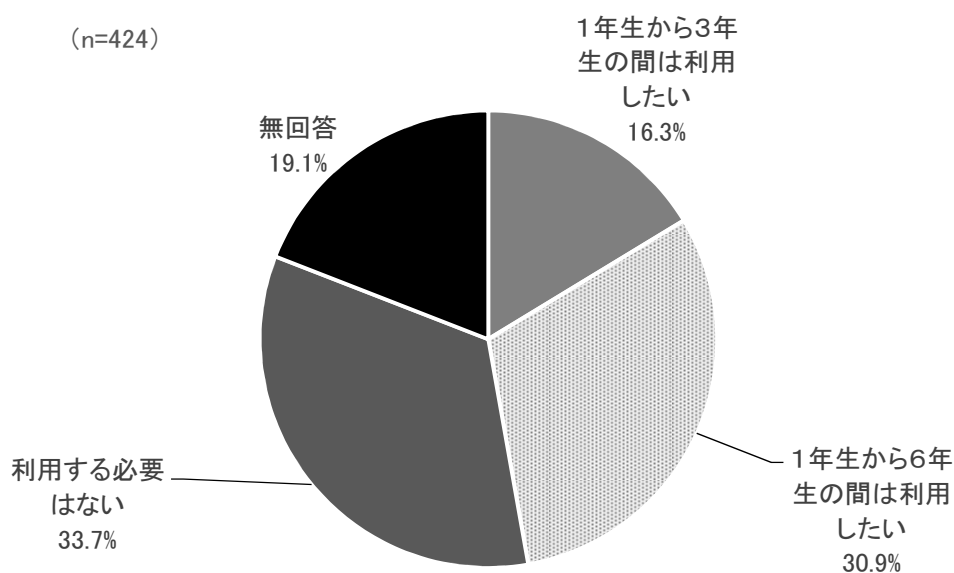


問 25 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み期間中の放課後児童保育室の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用者負担があります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を24時間制（例：8時00分～18時00分）でご記入ください。（単数回答・数量回答）

夏休み・冬休み期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が33.7%で最も多く、「1年生から6年生の間は利用したい」が30.9%、「1年生から3年生の間は利用したい」が16.3%となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」が55.0%で最も多く、次いで「9時台」が26.5%、「7時台」が11.5%となっています。

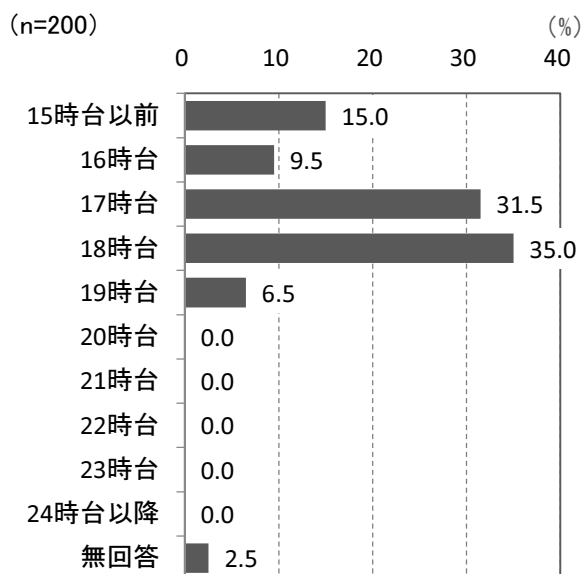
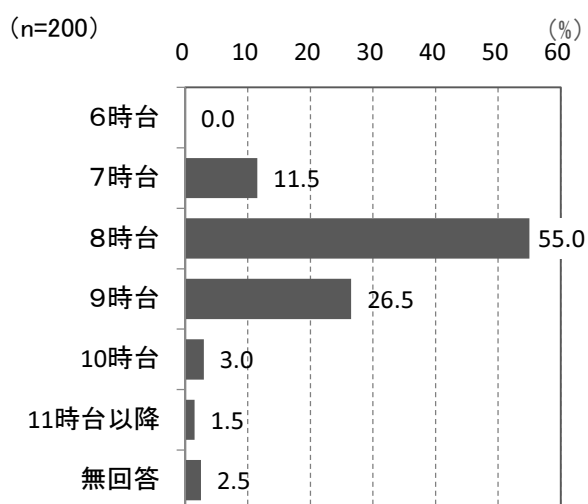
希望終了時間は、「18時台」が35.0%で最も多く、次いで「17時台」が31.5%、「15時以前」が15.0%となっています。



《希望利用時間帯》

①希望利用開始時間

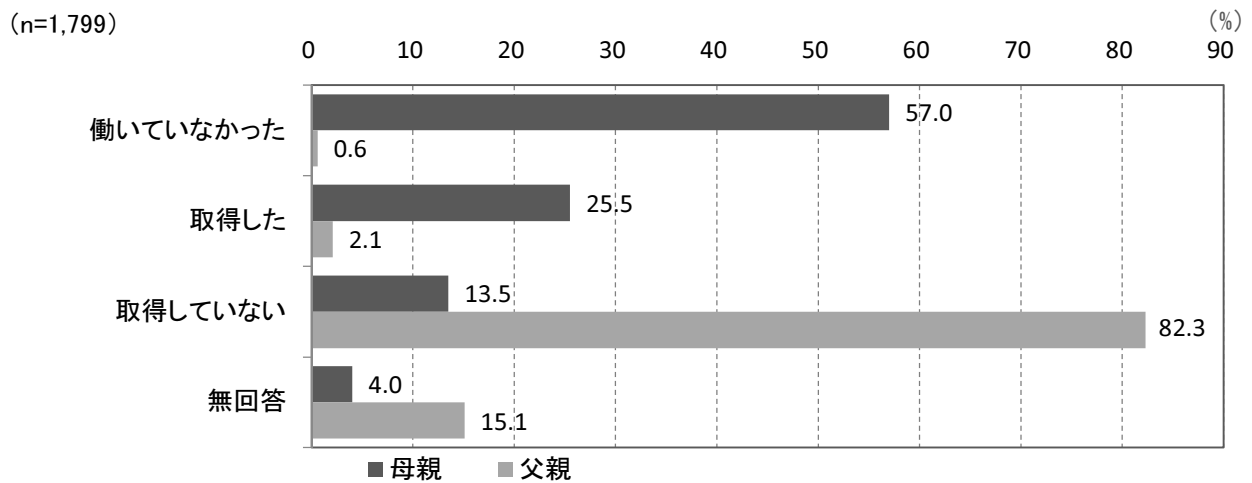
②希望利用終了時間



10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

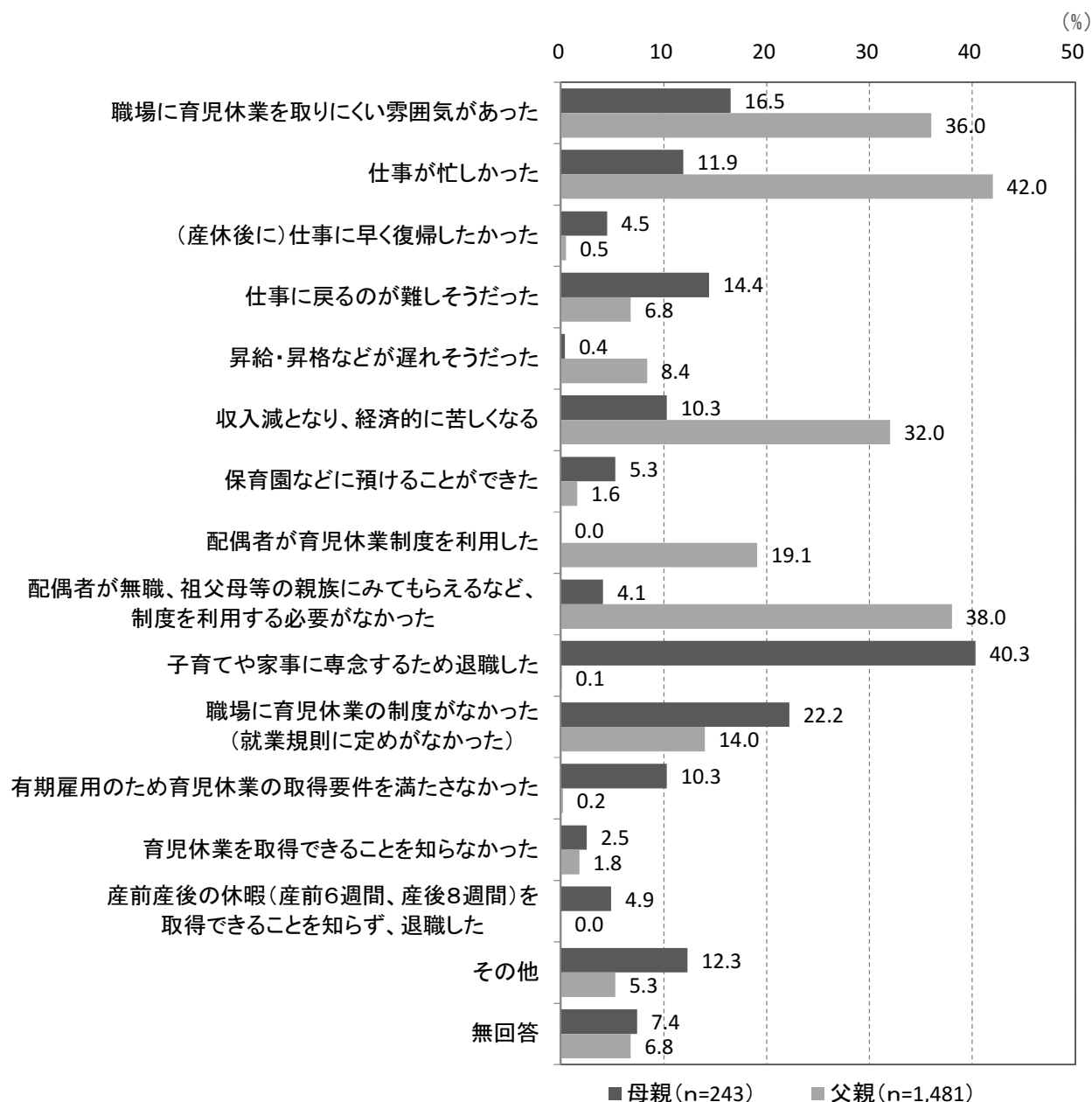
問 26 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(単数回答) また、取得していない方はその理由をご記入ください。(複数回答)

宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得したかについては、母親は「働いていなかった」が57.0%で最も多く、次いで「取得した」が25.5%、「取得していない」が13.5%となっています。また、父親は「取得していない」が82.3%で最も多く、「取得した」は2.1%となっています。



母親が育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が40.3%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が22.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が16.5%となっています。

父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が42.0%で最も多く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が38.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が36.0%となっています。

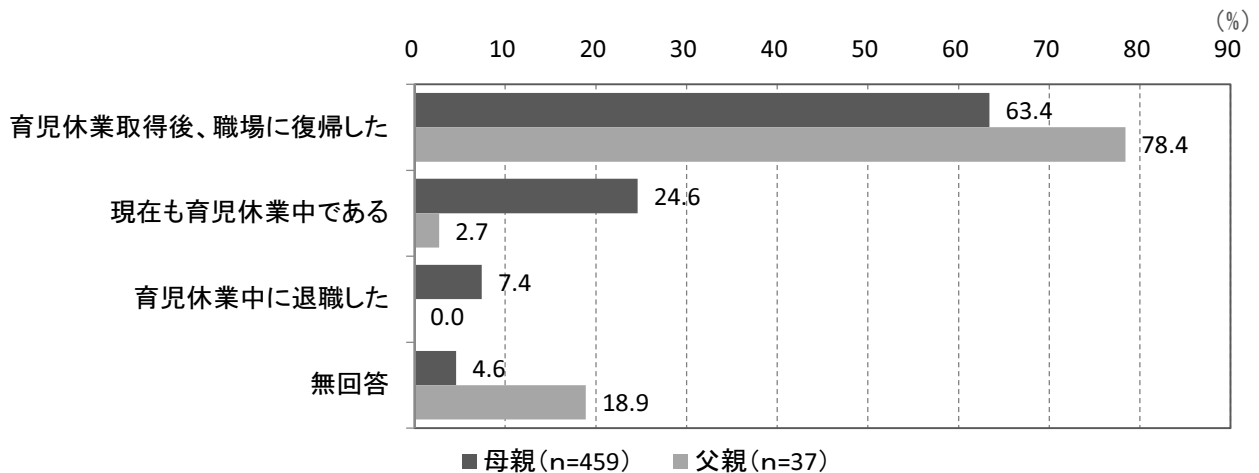


【問 26 の①母親または②父親欄で「2. 取得した」に○を付けた方にうかがいます】

問 26-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(単数回答)

育児休業取得後、職場に復帰したかについて、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 63.4%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 24.6%、「育児休業中に退職した」が 7.4%となっています。

また、父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 78.4%で最も多く、「現在も育児休業中である」が 2.7%となっています。

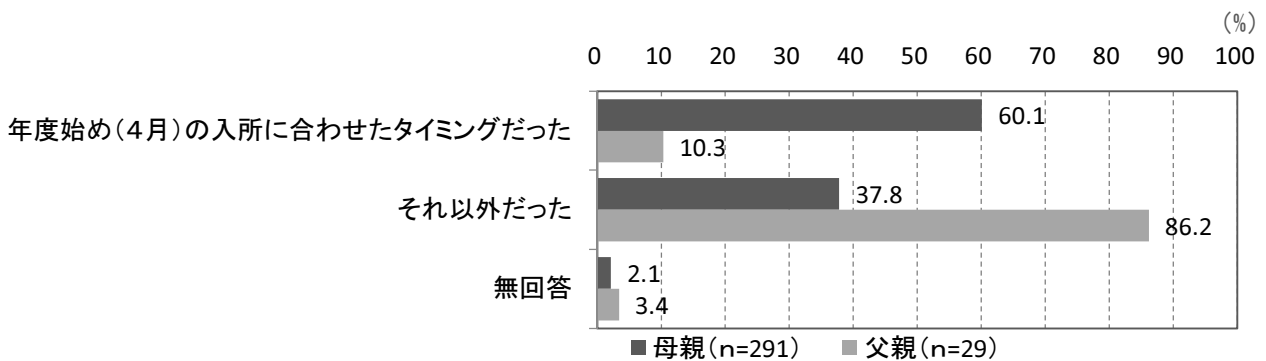


【問 26-1 で「1」(育児休業取得後、職場に復帰)に○を付けた方にうかがいます】

問 26-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初め(4月)の保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(単数回答)

育児休業から職場に復帰したのは、年度初め(4月)の保育園入園に合わせたタイミングだったかについて、母親は、「年度初め(4月)の入所に合わせたタイミングだった」が 60.1%、「それ以外だった」は 37.8%となっています。

また、父親は「それ以外だった」が 86.2%、「年度初め(4月)の入所に合わせたタイミングだった」が 10.3%となっています。



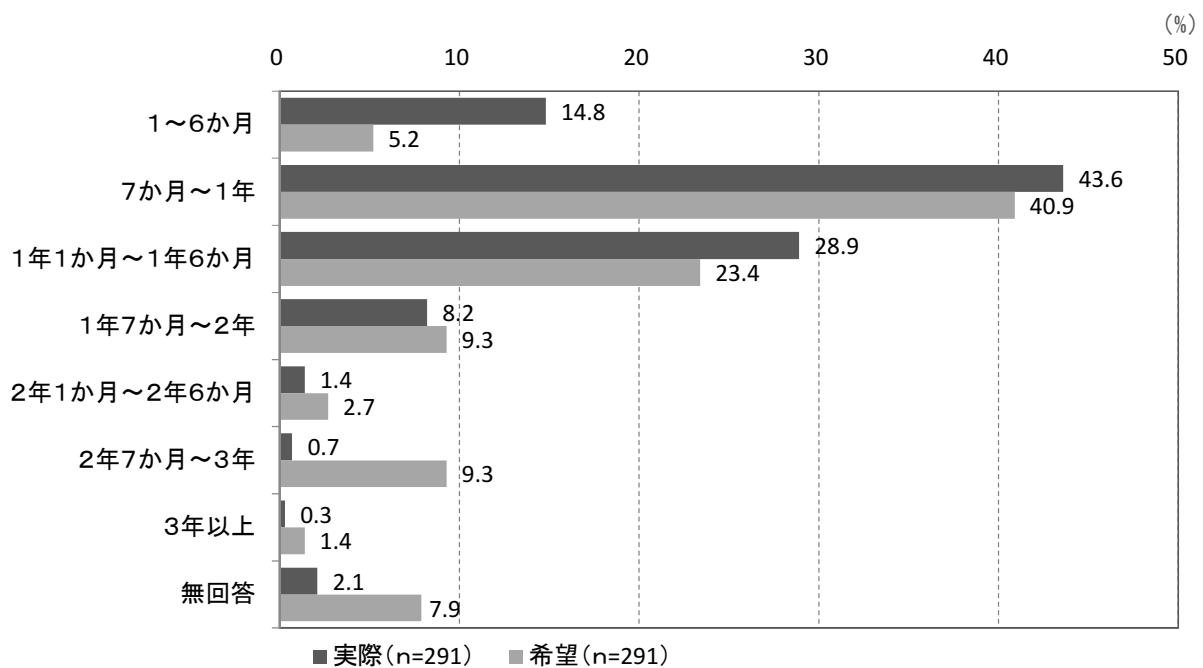
【問 26-1 で「1」(育児休業取得後、職場に復帰)に○を付けた方にうかがいます】

問 26-3 育児休業からの職場復帰は、宛名のお子さんが何歳何か月のときでしたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取得したかったですか。口内に数字でご記入ください。(数量回答)

母親の「実際」の職場復帰時期については、「7か月～1年」が43.6%で最も多く、次いで「1年1か月～1年6か月」が28.9%、「1～6か月」が14.8%となっています。

また、「希望」の職場復帰時期については、「7か月～1年」が40.9%で最も多く、次いで「1年1か月～1年6か月」が23.4%、「1年7か月～2年」および「2年7か月～3年」がともに9.3%となっています。

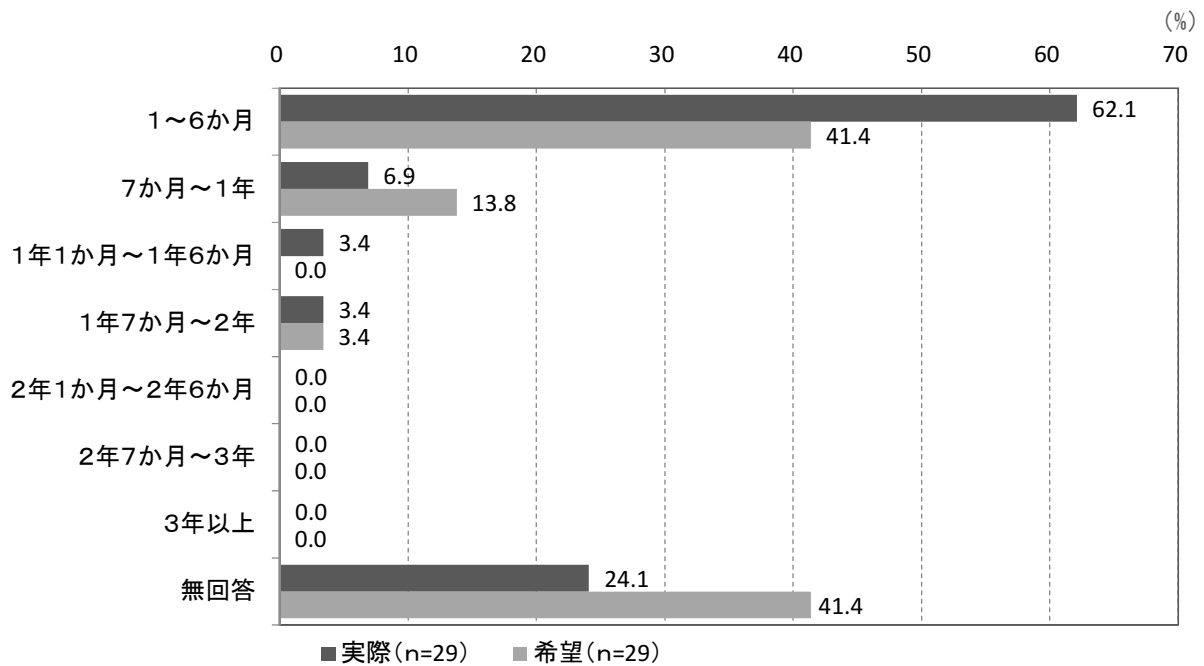
《母親》



父親の「実際」の職場復帰時期については、「1～6か月」が62.1%で最も多く、次いで「7か月～1年」が6.9%、「1年1か月～1年6か月」および「1年7か月～2年」がともに3.4%となっています。

また、「希望」の職場復帰時期については、「1～6か月」が41.4%で最も多く、次いで「7か月～1年」が13.8%、「1年7か月～2年」が3.4%となっています。

《父親》



【問 26-3 で実際の復帰と希望の時期が異なる方にうかがいます】

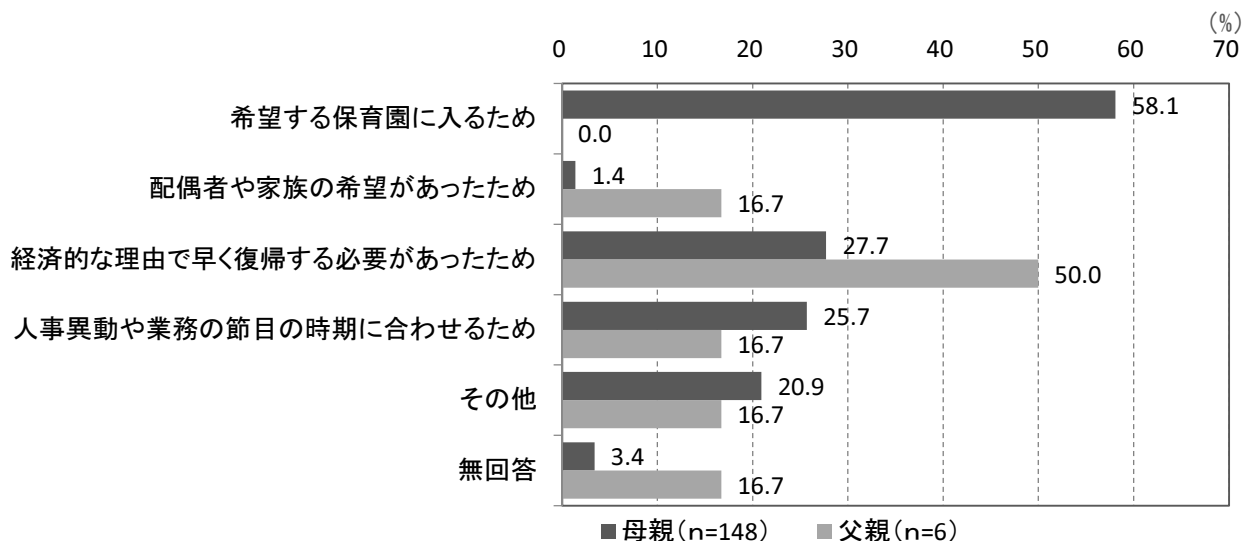
問 26-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(1)希望より「早く」復帰した、または(2)希望より「遅く」復帰したのどちらかあてあまるほうをお答えください。(複数回答)

希望より「早く」復帰した理由について、母親は、「希望する保育園に入るため」が 58.1%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 27.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 25.7%となっています。

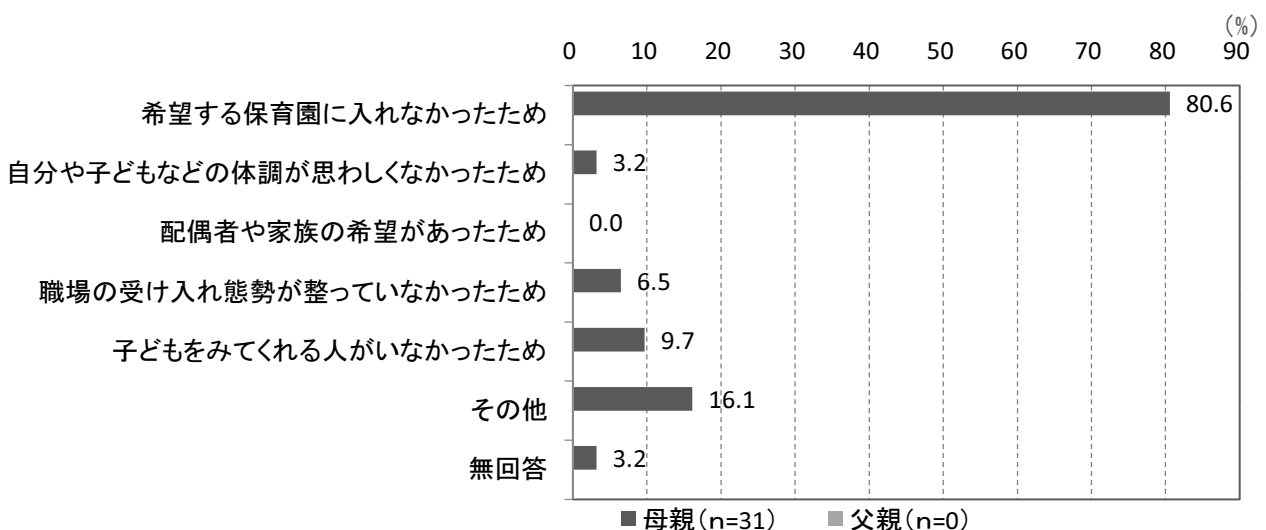
父親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 50.0%で最も多く、「配偶者や家族の希望があったため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がそれぞれ 16.7%となっています。

希望より「遅く」復帰した理由について、母親は、「希望する保育園に入れなかったため」が 80.6%で最も多くなっています。

《希望より「早く」復帰した理由》



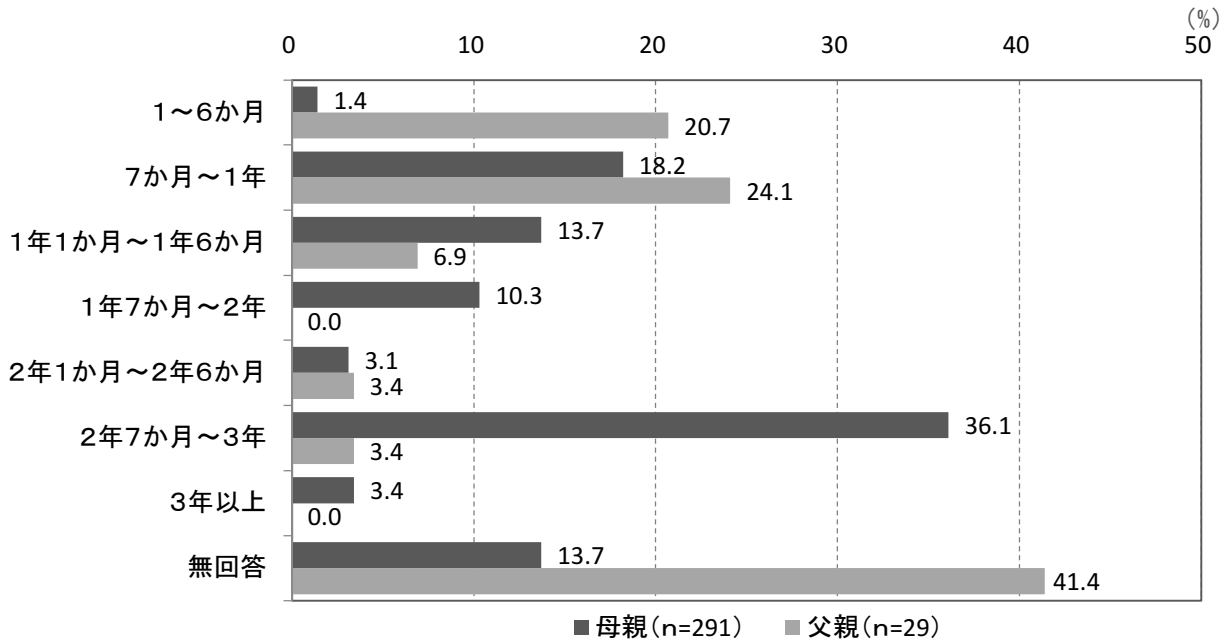
《希望より「遅く」復帰した理由》



問 26-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取得したかったですか。口内で数字でご記入ください。(数量回答)

勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてどのくらい取得したかったかについて、母親は「2年7か月～3年」が36.1%で最も多く、次いで「7か月～1年」が18.2%、「1年1か月～1年6か月」が13.7%となっています。

父親は、「7か月～1年」が24.1%で最も多く、次いで「1～6か月」が20.7%、「1年1か月～1年6か月」が6.9%となっています。

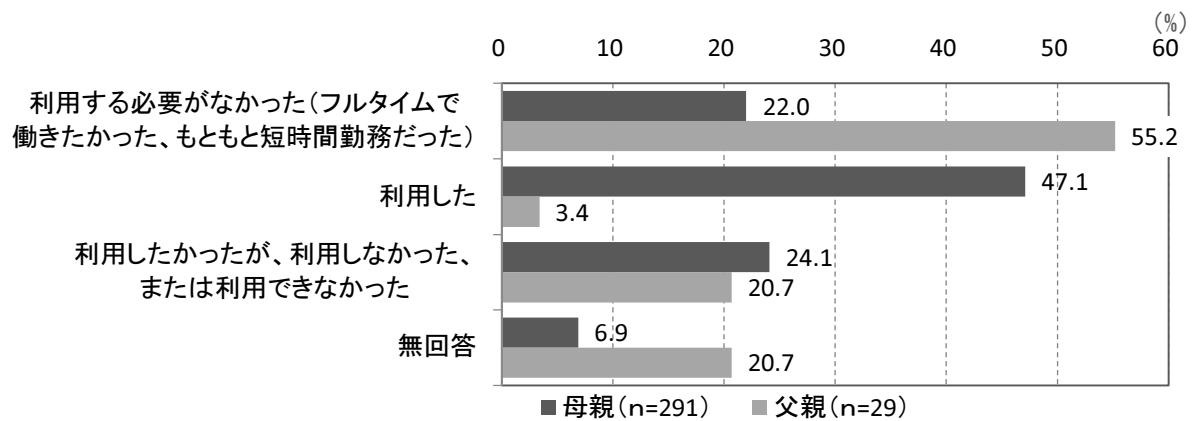


【問26-1で「1」(育児休業取得後、職場に復帰)に○を付けた方にうかがいます】

問 26-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(単数回答)

育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかについて、母親は、「利用した」が47.1%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった、または利用できなかった」が24.1%、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が22.0%となっています。

父親は、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が55.2%で最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった、または利用できなかった」が20.7%となっています。

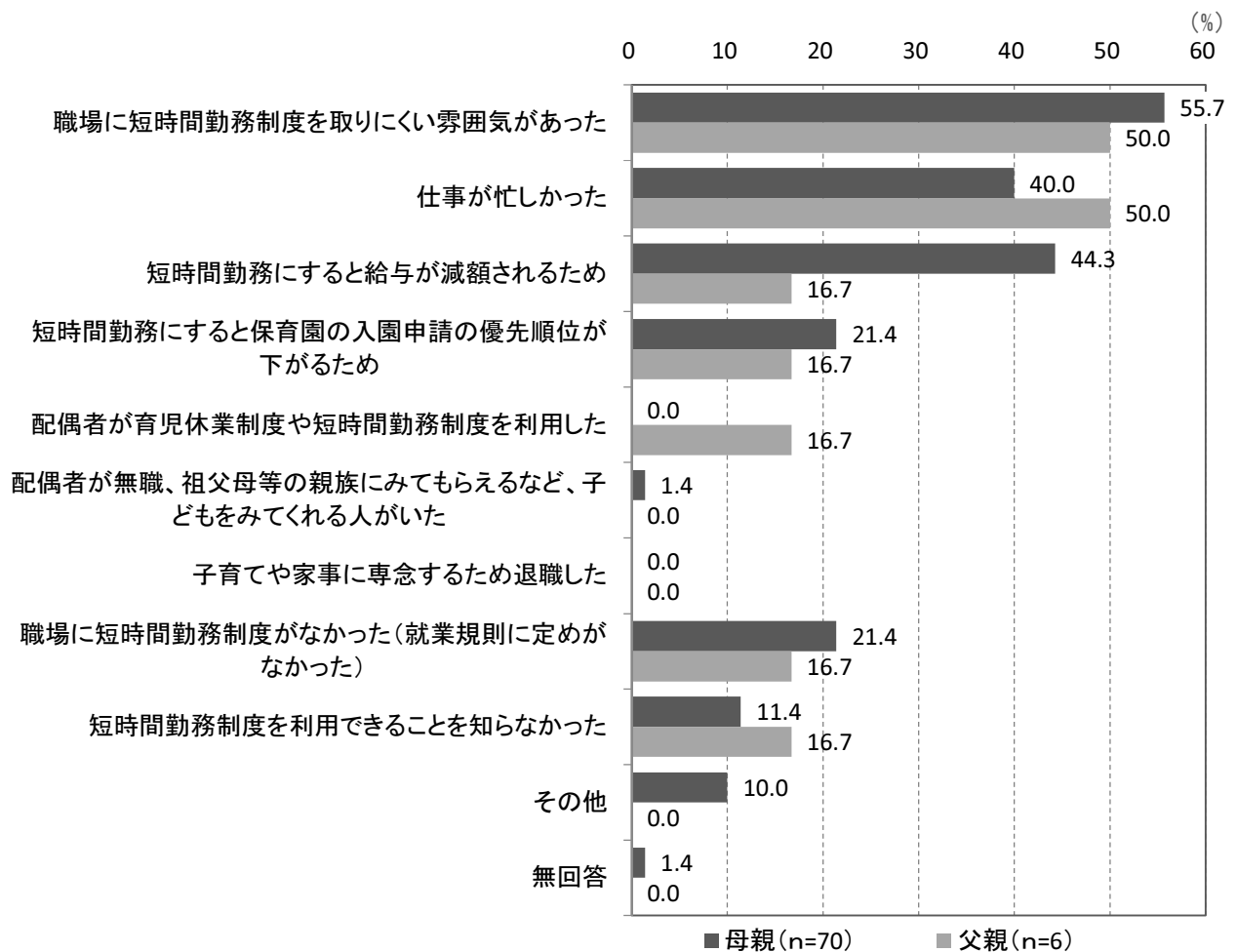


【問26-6で「3」(利用したかったが、利用しなかった、または利用できなかった)に○を付けた方にうかがいます】

問 26-7 短時間勤務制度を利用しなかった、または利用できなかった理由は何ですか。
(複数回答)

短時間勤務制度を利用しなかった、または利用できなかった理由については、母親は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が55.7%が最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額されるため」が44.3%、「仕事が忙しかった」が40.0%となっています。

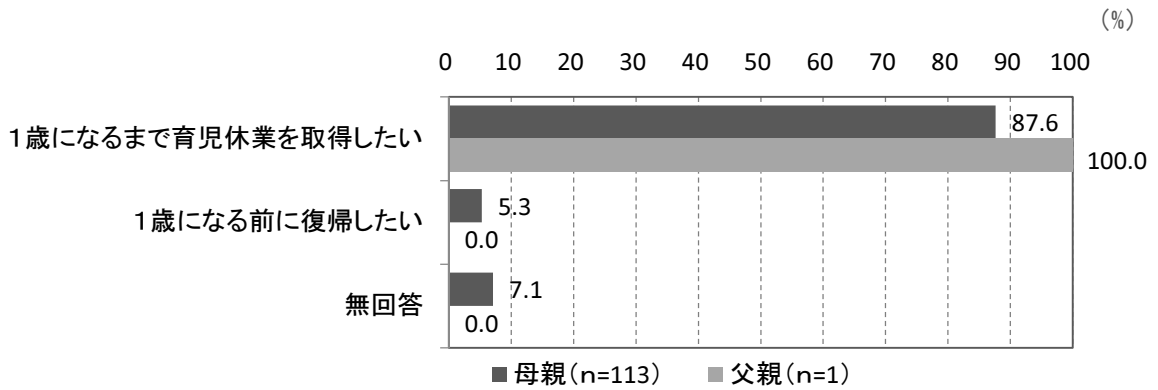
父親は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」および「仕事が忙しかった」がともに50.0%で最も多くなっています。



【問 26-1 で「2」(現在も育児休業中である)に○を付けた方にうかがいます】

問 26-8 宛名のお子さんが1歳になったときに、保育園などに必ず入園できるとすれば1歳になるまで育児休業を取得しますか。または保育園などに必ず入園できるとしても1歳になる前に復帰しますか。(単数回答)

お子さんが1歳になった時に、保育園などに必ず入園できるとすれば1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が母親で87.6%と最も多くなっています。

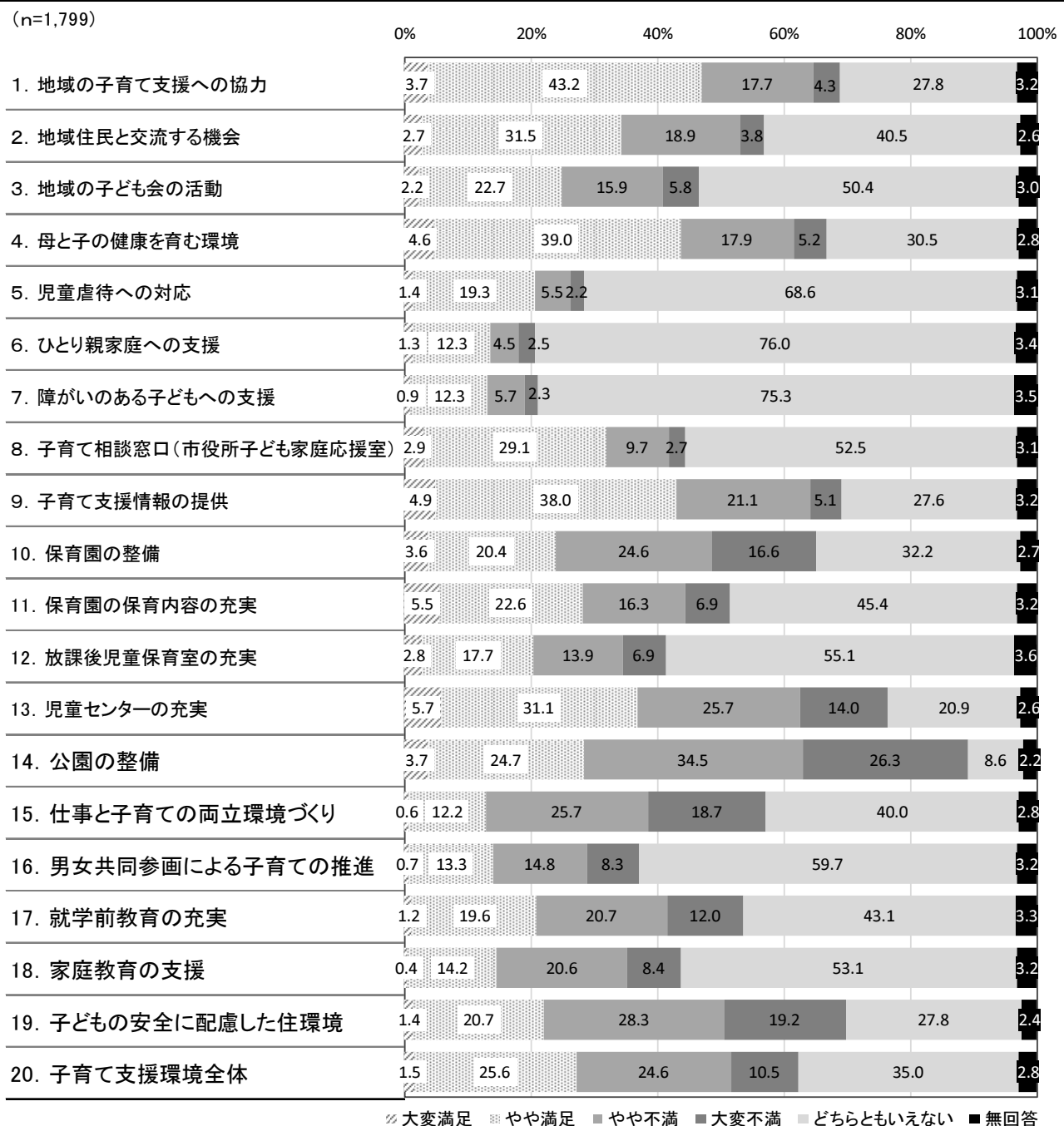


11 新座市の子育て支援について

問 27 新座市ではさまざまな子育て支援の取り組みをおこなっていますが、次にあげる取り組みについて、どのくらい満足されていますか。(単数回答)

「大変満足」と「満足」を合わせた『満足』の割合は、「1. 地域の子育て支援への協力」が 46.9%で最も多く、次いで「4. 母と子の健康を育む環境」が 43.6%、「9. 子育て支援情報の提供」が 42.9%となっています。

一方、「大変不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合は、「公園の整備」が 60.8%で最も多く、次いで「19. 子どもの安全に配慮した住環境」が 47.5%、「15. 仕事と子育ての両立環境づくり」が 44.4%となっています。

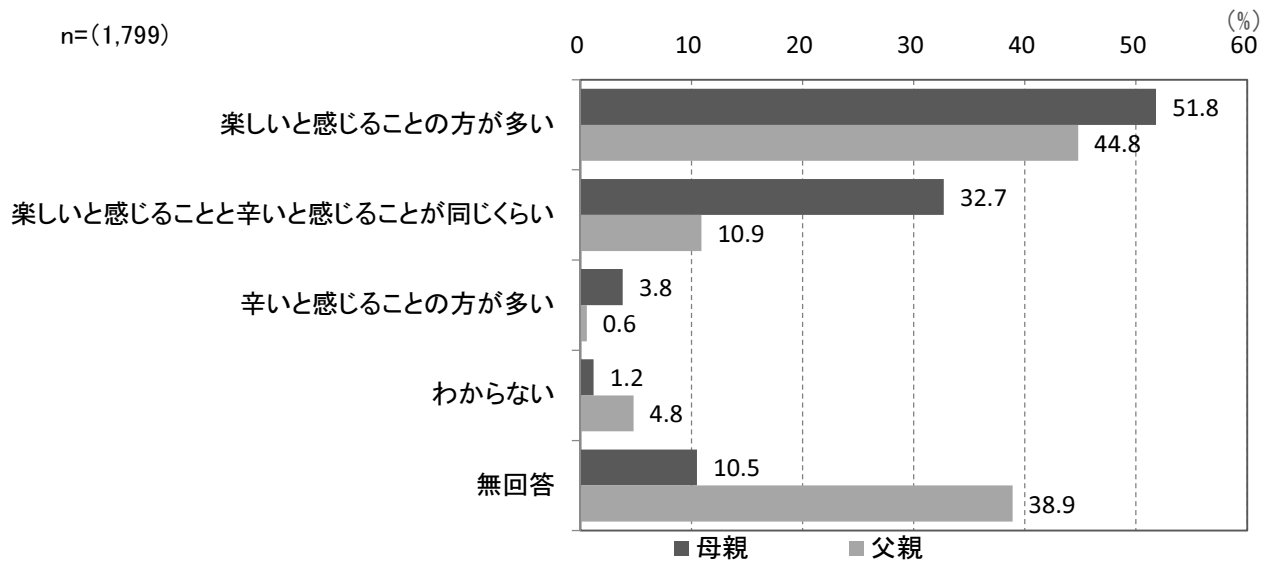


12 子育てで日頃感じていることについて

問 28 あなたは、子育てが楽しいと感じることが多いですか。(単数回答)

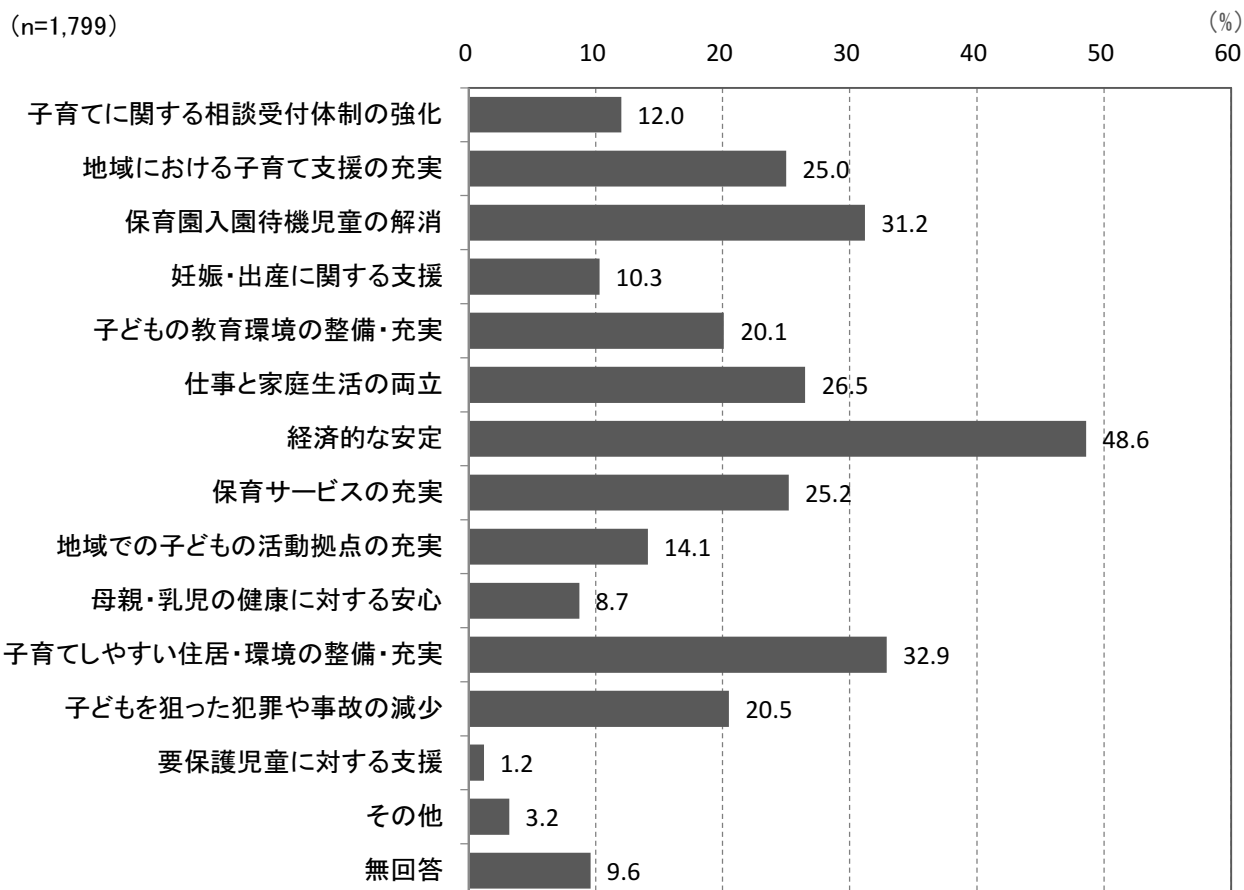
子育てが楽しいと感じることが多いかについて、母親は、「楽しいと感じることの方が多し」が 51.8%で最も多く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が 32.7%、「辛いと感じることの方が多し」が 3.8%となっています。

父親は、「楽しいと感じることの方が多し」が 44.8%で最も多く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が 10.9%、「わからない」が 4.8%となっています。



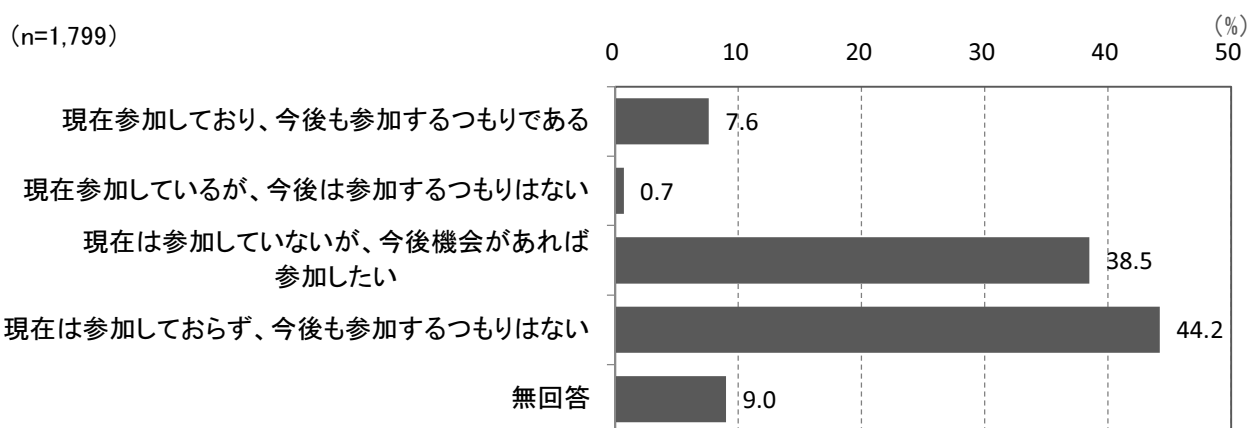
問 29 子育てをする中で、子育ての辛さを解消するためには、どのような支援・対策が有効だと思われますか。(複数回答)

子育ての辛さを解消するために有効だと思われる支援・対策については、「経済的な安定」が 48.6%で最も多く、次いで「子育てしやすい住居・環境の整備・充実」が 32.9%、「保育園入園待機児童の解消」が 31.2%となっています。



**問 30 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。
(単数回答)**

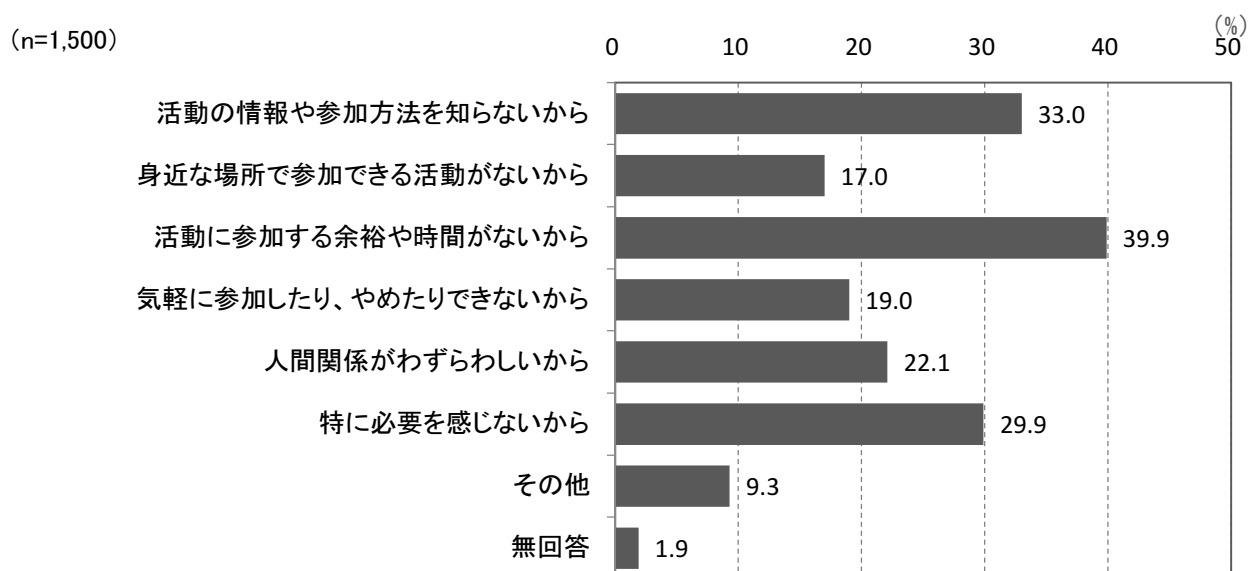
子育てサークルなどの自主的なグループ活動などへの参加については、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が44.2%で最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が38.5%、「現在参加しており、今後も参加するつもりである」が7.6%となっています。



【問 30 で「2～4」に○を付けた方にうかがいます】

問 30-1 参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。(複数回答)

活動に参加していない、または今後参加しない理由については、「活動に参加する余裕や時間がないから」が39.9%で最も多く、次いで「活動の情報や参加方法を知らないから」が33.0%、「特に必要を感じないから」が29.9%となっています。



自由回答

1. 自由回答の概要

今回のニーズ調査の中で、子育てに関して日頃感じていることや悩みごと、お子さんを育てている上で気をつけていること、新座市への要望事項等について、自由記述形式でご意見をいただきました。それらを項目ごとに分類すると以下のようになります。

分野	件数
回答数	925 人
1. 保育所	375 件
2. 遊び場	282 件
3. 幼稚園	191 件
4. 子ども医療費、小児科、小児健診	160 件
5. 児童センター	146 件
6. 小学校	103 件
7. 子育て支援センター	99 件
8. 一時預かり	98 件
9. 放課後児童保育室	83 件
10. 経済的支援、児童手当	58 件
11. ファミリー・サポート・センター	15 件
12. パパ・ママ・応援ショップ	4 件
13. その他	449 件
合計	2,063 件

2. 自由回答における意見一覧（抜粋）

1. 保育園（375件）

<ul style="list-style-type: none"> ・書類も毎年同じ内容を沢山記入して、手間もかかる。出したら出したで、言っていることが人によって違ったり、対応も納得できない。勤務時間だけで判断されるのも困る。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の延長時間を長くしてもらえると助かる。21時まで延長できると安心。
<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から保育制度が変わると聞いた。現在の状況よりも家庭において不平等が生じるのではないかと考える。新座市は他の市や都内に比べ、保育料が高いように感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に月一度リフレッシュ保育で預けているが、第二子妊娠中で、妊婦健診での通院もあり、月1回では足りない。月2～3回預けられると助かる。リフレッシュ保育の募集枠が少ないので、枠を増やせるような保育園への支援をしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育のサービスをお願いしたい。すこやか保育園に病後児保育があるが、病後である事と立地面で大変利用しにくい。医療施設と併設された病児保育室を創設してほしい。保育料が他市に比べ格別に高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の一時保育がリフレッシュ目的では受け入れてもらえなかった。病院と仕事の人が優先だと言われ利用できなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の充実を切望しています。保育園と幼稚園という目的の違いの差が大きい場所で成長していき小学校と一緒に勉強を始めるといふことに不安を覚えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育料が他自治体に比べ高すぎると思う。何のために働いているのかわからなくなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・法人保育園と公立保育園とでは差があるように思う。（お泊り保育等）各園に、看護師を最低一人は配置してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や学童の利用時間と通勤時間の隙間になる時間、安心しててもらえる人、場所があるともう少し働く時間を増やしたり安心して働くことができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の数を増やしてほしい。現在育休中で、復帰の時入園できるが不安です。希望する人が全員は入れる程度まで増やしてほしい。病児、病後児保育施設を保育園に限らず病院等にも設置して定員を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童解消。幼児教育の格差解消に向けて近隣市区と連携して認定保育所の拡充を行うことが求められているように思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関わる法案などは子育てをしてきた人や保育園、幼稚園などの現場の先生たちの意見をもっと重要視してほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園がないので、仕事の日程も決まらない。仕事がなければ保育園の利用が出来ない。悪循環。
<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童をなくし、親の就労に関係なく、1歳児から預かってもらえる施設を作れば、働きたいけど働けない人にとってはとても助かると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の一時保育を利用しているが、いつもいっぱい。家庭保育室の利用もなかなか空きがないと言われた。もっと保育園の数を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもの保育施設への受け入れを積極的に行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育室について、日曜日や夜20時～21時までの保育園を増やしてほしい。いろいろな勤務形態の方が利用できるようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育園に預けることが出来た。仕事が決まらなければ保育園に預けられない。仕事が決まっても預かってもらうところがないと大変だった。もう少し、急な対応ができる保育施設があると良い。認可保育園の一時保育も電話で断られる。リフレッシュで使える方がいるのに、働きたい人が利用できないのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・1歳児の保育園入園困難という状況から、仕事復帰を早め0歳で入園という話を聞く。1歳枠の増加と、求職中の入園希望者への対応方法検討を希望する。

2. 遊び場 (282 件)

<ul style="list-style-type: none"> ・公園も遊具が少なく、子どもの運動機能や基礎体力を身につけることが、市内の施設では十分に行えないような気がする。体づくりが大切な幼少期にもう少し充実を図ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・大きい公園を作ってほしい。車が多く安心して遊ばせるところがほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園などの整備。雑草が生え、誰も遊んでない公園もあった。早い段階できれいにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・片山小学校に通う兄がいる。学校からやや遠く、近くに公園もないので、放課後は家で遊ぶことが多い。親の許可があれば、放課後も学校に残り遊んでいても良ければいいと思う。校庭でたくさんの友人と遊んだり、図書室を利用したり、学校で勉強以外の時間もすごせたらもっと学校が楽しくなると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊び等ができる広い公園がない。児童館のような施設も少ないので、市内に充実させてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ボール遊びが出来るフェンス付きの公園、グラウンドをもっと増やしてほしい。野火止用水や、ジャブジャブ池は子どもの遊び場としてとても良かった。虫が取れる雑木林を残してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・畑中は子どもが遊べる場所がない。徒歩で行ける場所に公園でもあれば助かる。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園の砂場の衛生が悪い。管理をして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園は全体的に汚く遊具も少ない。午前中はゲートボールに占領され追い出されたこともありました。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊ぶ場所がなくなっている。家やマンション、アパートが建ち、小さな公園には「さわぐな」の貼り紙が張られている。子どもの息抜きの場がなくなってしまう。住んで5年以上になるが、住みづらさを感じる。市で土地を買い取って公園を作る事はできないのか。高齢化で年配の方に向けいろいろ対策を立てている話は聞くが、少子化で子どものためという話は聞かない。金銭面やサポート等も大事だが、1番大事なのは遊び場だと思う。現代っ子の体力低下は当然。補助金や医療費の給付等助かっている。福祉の里でもたまに遊んでいる。体育館を開放できないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・大きくてきれいで駐車場のある公園が欲しい。新座の公園は犬の糞やゴミが落ちていて汚い。とても子どもを遊ばせられない。
<ul style="list-style-type: none"> ・充実した公園が少なく遊具も撤去されるとそのまま。新しいものが設置されない。三軒屋公園には浮浪者がいたり、安心して子どもを遊ばせられない。ライオン公園に滑り台を戻してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・雑木林とせせらぎの街とうたっていながら、なぜ雑木林を消失させるのか。単なるうそつきか。落ち葉拾いやどんぐり拾い等したり、子どもを安心して歩かせられる場所を売るとは子ども達にとって憩いの場の環境を減らしていることだ。子どもの成長に大切な環境を減らしての子育て支援は無理だし無駄。
<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子でも安心して遊べる公園が少ない。じゃぶじゃぶ池の設置は大変良かった。今後は古い公園の整備もしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・第一新座幼稚園の近所に在住。近くに公園がなく、歩道が整備されていないので困っている。数年後という計画があると聞くが、本当か。早急に対応してほしい。西武台高校のサッカーグラウンド～トンネル下をくぐり、旧川越街道へ続くトンネル～旧道間が見通しが悪く危険。竹藪の伐採をする必要がある。旧道に出てからも駅までの歩道が狭く、子どもを連れての歩行が困難。この周辺地域の住環境整備に力をいれてほしい。

3. 幼稚園（191件）

<ul style="list-style-type: none"> ・復職したいと考えているが、2歳くらいから保育園に入れるには無理と言われる。保育園もいろいろな特色があるが選べない。幼稚園に入れる年齢まで我慢するしかない。
<ul style="list-style-type: none"> ・他市、区に比べ、幼稚園就業等の助成に不足を感じる。子どもの教育にもっと取り組むべきであり、治安の維持にも配慮すべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・長男は東久留米市の幼稚園に通園中。2歳の長女も4月よりプレ保育に通う予定。今後新座市の幼稚園しか通えなくなると大変困る。今後も自由に幼稚園を選べるよう、選択の幅が狭まらないような計画を。
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や児童センターなど東久留米の方が利用しやすいため、もっと情報を共有してほしい。保育園は補助金が多いが幼稚園は少なく感じる。小さいうちは働かず子供の成長をみたいのに、補助が少なく働かなくてはいけない環境になりつつあると思う。幼稚園に通っている側もきちんと見てほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・東久留米市の幼稚園へ通わせていて大変満足している。同じ園、同じような世帯収入でも補助に差がある。このような状況の中、支援制度が縦割りになり、新座市から市外への通園に対し補助がなくなるということは受けたい教育をうけることもままならない。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在幼稚園に通園しているが求職したくても幼稚園が14時まででどうしてよいかわからない。職が見つかっても延長預かりを利用し18時までの預かりで保育園には入れる保証もない状況。仕事で子どもを急に預けなければならない場合、全くとっていいほど、対応が出来ないと思う。もう少し保育関係の対応を充実させてほしい。母親がうかうか風邪もひいてられない。よろしくお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の補助をもう少し増やして欲しい。二人目、三人目の保育料を無料にするなど、経済的な負担を減らして欲しい。地域関係なく家から近い場所、通わせたい所に行けるようにして欲しい。県境に住んでいるため東久留米市や西東京市のほうが近い場合もあるため。
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の無償化が実現すると、子供がやりたいと言っている習い事などにチャレンジさせてあげることが出来るのでぜひ実現して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に入ると、保育園等の一時預かりが利用できないのが辛い。有料でも良いので土日祝日でも預かってくれる場所があると良い。通い慣れた場所でそのようなサービスがあると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童手当は、幼稚園入園時くらいからを手厚くして欲しい。現在の家族のニーズに幼稚園と保育園はあっているのか疑問に思う。こども園のような施設にしていけることが望ましいのではないかな。公立の幼稚園を作って欲しい。私立は保育料が高すぎる。
<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育に空きがないと急用で利用したい人が困るので保育園の数を増やしたり幼稚園にも預かってもらえるようなシステムを作って欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園ばかり優遇されているが幼稚園の方も考えて欲しい。幼稚園の補助金が少ないと感じる。公立の幼稚園が少ないのなら補助金の額を上げて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の補助金の増額（他市に比べ少なすぎる）
<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育も特定の幼稚園のみ助成がある。それにより入園希望者の偏りがみられる。公平に他の幼稚園でも長時間の預かりができるよう支援してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・全幼稚園に長期預かり保育があったり、ココフレンドのような放課後子ども教室を全校に普及させたり、学童保育条件を緩和していただくと、多くの子育て世代の主婦がパートタイムで働きやすくなると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・働いているお母さんたちが、得しているような気がする。保育園ばかりで幼稚園に通っている家庭には手厚い支援がない。

4. 子ども医療費、小児科、小児健診（160件）

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの入院費が高額なのに一度支払ってから後から戻ってくる制度だが、普段の通院と同じように無料で利用できるとうりありがたい。予防接種もすべて無料にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターが遠すぎる、不便すぎる。
<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育の設置をお願いします。仕事を何日間も連続で休むのは大変なので、病気の時に預かってもらえる場所をふやしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の無料、大変助かっている。今は専業主婦だが、いつかは働きに行くと思う。その中で心配なのは子どもが急に病気になった時や早退する時、そういう場合の事を考えると不安。対応してもらえる施設はあるのか。そういう情報はどこで調べればよいのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・補助金や医療費の給付等助かっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターも遠く、乳児検診の時にバスで行くのに大変だった。公民館等でも行ってけると負担が少なくて良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・発熱や病気で保育園に行けず仕事を休まなければならないので、病気でも預けられる保育園が増えるといいです
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児や病気など自分のペースでゆっくり育つ子どもたちが通う場所が少ない上に預けるには不安が有る。保育施設完備の企業をもっと新座市に増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・小児科が少ない。待ち時間を少なくするようにネット等で時間予約をできるこどもクリニックを増やしてほしい。子ども医療費が利用できる範囲を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターに児童センターやその他のサークルなどのパンフレットなど置いてあると嬉しい。保育園の開放日や行事なども。公園マップなどもあるといいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚科、耳鼻科、小児科の誘致をして欲しい。子供のインフルエンザの予防接種について補助をお願いします。高齢者にはあるのに子供にないのはなぜでしょう2回摂取が必要なため負担が大きいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・新座市は18歳までの医療費無償化がとても助かる。
<ul style="list-style-type: none"> ・小児科、きちんと看てもらえる病院が少ない。南部地域はないに等しい。市の境で病院が増えないのであれば、西東京市や東久留米市など、近隣の都でも医療費の扱いで診てほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども〇人以上の母親が病院への受診負担額が普通より安くしてもらえたらと思うと、病院へも行きやすくなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・任意の予防接種の補助金や子育てに対する手当金などの付与してほしい。

5. 児童センター（146件）

<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市は児童館が充実して素晴らしい。新座市もお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・支援センターは多くあり、良いと思う。児童館ももっとあると嬉しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターも遠く、支援センターは小学生はいけない。もう少し小学生の居場所作りをしてあげてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターに子ども用のトイレがない。小さいトイレを作ってほしい。児童館の数が少なすぎる。
<ul style="list-style-type: none"> ・近くに児童センターを増やしてほしい。保健センターに児童センターやその他のサークルなどのパンフレットなど置いてあると嬉しい。保育園の開放日や行事なども。公園マップなどもあるといいと思う。児童センターの遊び場を充実して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・公園での制限が多い（ボール禁止、花火禁止など）遊具も少なく、未就学児が遊ぶには危険なものもあります。児童センターがNPO法人に変わってから玩具が減ってしまった気がします。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童館はへんぴな所過ぎる。グラン・マのような独立した支援センターを増やしてほしい。土日も開放してほしい。

6. 小学校 (103 件)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年より小学生。幼稚園のように延長保育（一時預かり）ができるのか。毎日通う学童のほかに、一時預かり（放課後）保育ができるようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一番困っていることは子どもの預け先。池田小学校にもココフレンドを作してほしい。週2日1時間程度みてほしいが、学童に入れる条件は満たしておらず、7歳の子どもを1人で留守番させるのは不安。仕事を週2にしているのは子どもと関わる時間をもちたいから。ぜひ予算をつけてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校によって学力に差があると感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ フルタイムで働いているのに、小学校のPTAや保育園等の行事の半強制的に参加は困る。行事の参加運営は可能な限り、出来る方で行ってもらえると助かる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の生徒数に偏りがありすぎる。特に畑中、馬場地区には少なく子どもが多いため、少ない公園でたくさんの子が遊び危ない。子どもがのびのび遊べる場所が沢山あるといい。地域や地区によって人数のかたよりがなく、同じくらいの水準で教育してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ココフレンドがなぜ一部の小学校だけなのか知りたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新座駅周辺は子どもが増えているが、保育園や幼稚園、小学校など増えていない。増やしてほしい。入れるか不安。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新座の小中学校の教育レベルは低いとよく聞くが、学校の環境、先生方の待遇を良くし、これからの担う子ども達のため、お金を使ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の学区がおかしいと思うので、検討してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東久留米寄りなので、東久留米市の幼稚園を利用している。このまま利用できると良いです。ただ、小学校の学区だが近所の中の良い子と別になるのは不満。町内で学区を分けるような分け方をしないでほしい。

7. 子育て支援センター (99 件)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援センターがたくさんあり、どこも無料で自由に行けるので助かる。駐車場があると嬉しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援センターのイベントの予約が人気でなかなか取れない。もっとイベントの数を増やしてほしい。HPをもっとしっかり作ってもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の支援センターのスケジュールをHPに載せて欲しい。支援センターの地図がわかりにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援センターでは何も相談できる雰囲気ではない。もっと優しい目で子育てを日々頑張っている母親を助けようとしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援センター「いちご」はランチができず、11:30 までなので利用しにくい。西東京では飲食自由で夕方まで開放なので利用しやすかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援センターがとても充実している。それぞれの支援センターで特色があり、内容が充実していていい所だと実感している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援センターはたくさんあるが、土日やっていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生も遊べる支援センターがあったら良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援センターの利用時間をもう少し長くしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援センターは保育園併設のため、安全確保され良いと感じた。一方、保育園やスタッフ配置により、支援センターは二の次な対応になっていることが残念。

8. 一時預かり (98 件)

<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育できる保育園も増やしてほしい。リフレッシュでも週一回預かってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の延長保育などを充実させて職を探している人や病気の時などに誰でも子どもを預けやすくしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・産まれたばかりの子が入院し、上の子2人を保育園の一時保育を利用中。家の近くに一時保育をしている保育園がなく、認可外保育室を利用している。いつ退院できるかわからない。そういった理由の時は保育園が利用できたらいいのと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・認可外の保育園に預け認可保育園を待つことにしたが、料金が高すぎる。一時保育も保育園も仕事が決まっていなくて入れない、仕事を探す上でも保育園が決まっていない状態で採用はしてもらえない。矛盾している。
<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーがあることで、保育園の一時預かりも登録の段階で断られた。アレルギーに関する研修等を設ければより良い保育ができるのではないと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・急な用事では一時保育が利用できなかった。(一か月前に予約が必要とのこと)急に頼みたい時の保育環境ももっと充実させて欲しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に入ると、保育園等の一時預かりが利用できないのが辛い。有料でも良いので土日祝日も預かってくれる場所があると良い。通い慣れた場所でそのようなサービスがあると良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育等に関しても、各園に直接個人が問い合わせるのではなく、市で専門の窓口などを設けるなどもっと利用しやすくしてほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり出来る場所が少ない上、定員いっぱいだと断られることがある。新座市で利用できるサービスをもっと知る方法があると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・通院や体調不良のとき、一時保育を利用したいが、なかなか空きがなく預けることができない。一時保育できる人数を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・せめて一時預かりの幅を広げてほしい(人数、月齢)金額も安くしてほしい。小学生も学童一時預かりがあつてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュでの一時保育、もっと利用しやすくしてほしい。出産に際し、一時保育を利用。とても助かったが、父親が送迎できるよう延長保育も認めてほしかった。

9. 放課後児童保育室 (83 件)

<ul style="list-style-type: none"> ・来年より小学生。幼稚園のように延長保育(一時預かり)ができるのか。毎日通う学童のほかに、一時預かり(放課後)保育ができるようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学童の充実。入学するが、仕事をフルで続けられそうにない。家に帰ってくるのが19時厳守となっており、迎えに行ける時間が19時を過ぎてしまう日もあると思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学を機に就労したいと思っているので、下校後の子どもの預かり場所について情報が欲しい。また充実させてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学童での早朝預かり(保育園と同じように7時~)学童内はなぜシルバーさんの力を借りないのか。保育園から学童での生活が一変し、子ども達は戸惑うよう。保育園ではならし保育期間があるのに対し、小学1年生は制度としてないのは不思議。
<ul style="list-style-type: none"> ・ココフレンドがなぜ一部の小学校だけなのか知りたい。学童保育を利用できる枠を広げて欲しい。一時的な利用ができるようにして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に一時預かりをしてくれる所があると良い(学童や保育園)
<ul style="list-style-type: none"> ・全幼稚園に長期預かり保育があつたり、ココフレンドのような放課後子ども教室を全校に普及させたり、学童保育条件を緩和していただくと、多くの子育て世代の主婦がパートタイムで働きやすくなると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・家で仕事をしているため、学童保育の条件に合わず、利用できない。外で就労する形だけでなく、多様な働き方がある現在、それに対応するような制度の充実を早急をお願いしたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の延長時間を長くしてもらえると助かる。22時まで延長できると安心。学童も同じような時間まで延長できればよい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学童も利用しているが、学童での行事やイベントが多く、仕事をしているから預けているのに、苦勞が多い。

10. 経済的支援、児童手当（58件）

<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援の充実。共働きをしなくても、経済的にゆとりのある生活ができるよう。
<ul style="list-style-type: none"> ・沢山子どもを産んでほしいと願うなら、手当を増やしたり、幼稚園を市立にして各家庭の負担を減らしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・児童手当の所得制限をなくしてほしい。父親の所得で判断され、全て家計になるのではなく、経費が大半を占めているのに、高収入と判断されることに不満。保育園・幼稚園の補助費・学童保育料も同様に不満。
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化でたくさん子どもを産めという割には、保育園に入れない。優先にしてくれるわけでもなく、所得が少し多いというだけで、児童手当も少ない。子ども1人にいくらかかると思っているのだろう。子どもの多い家庭はもう少し優遇されてもいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行かせるのも給食費も厳しい。保育料もばかに出来ない。満足な生活をさせてあげられない。パートに出ても103万円なので、それ以上は無理だとわかり、辛い。せめて制限110万円までにしてほしい。心を本当に開ける人がいない。相談しても生活が安定するわけでもない。自分に厳しく負けない気持ちと強くなろうとするしかない。子ども手当がもっとあったらいい。前を向いて生きていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園しかなく費用が高い。補助があっても負担が大きいのので二人目を出産できるか不安になる。もっと補助を強化して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供一人あたりに対する経済的支援の充実をしてもらえれば出産したい人も増えると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援について、金銭面でももう少し補助が欲しい。産後の出産一時金の市からの援助や、三人目以降の出産、児童手当、幼稚園、保育園の補助があれば良いと思う。

11. ファミリー・サポート・センター（15件）

<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートの登録利用手続きだが、市役所のみではなく市内にいくつかの窓口を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・もう少しファミリーサポートを使いやすい金額にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ファミサポももっと簡単に手続きできるようにして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪い時ファミリーサポートに登録しようとしたが、料金が高額、また事前に打ち合わせ等しなければならず、面倒なこともあり登録しなかった。

12. パパ・ママ・応援ショップ（4件）

<ul style="list-style-type: none"> ・パパママ応援ショップも利用できるお店がもっと増えたらうれしい。ファミレス5%引きなども助かる。
<ul style="list-style-type: none"> ・パパ、ママ応援カードについて、仕事をしていると更新に行けないので、対象者に送付または保育園等で交付して欲しい。

13. その他 (449 件)

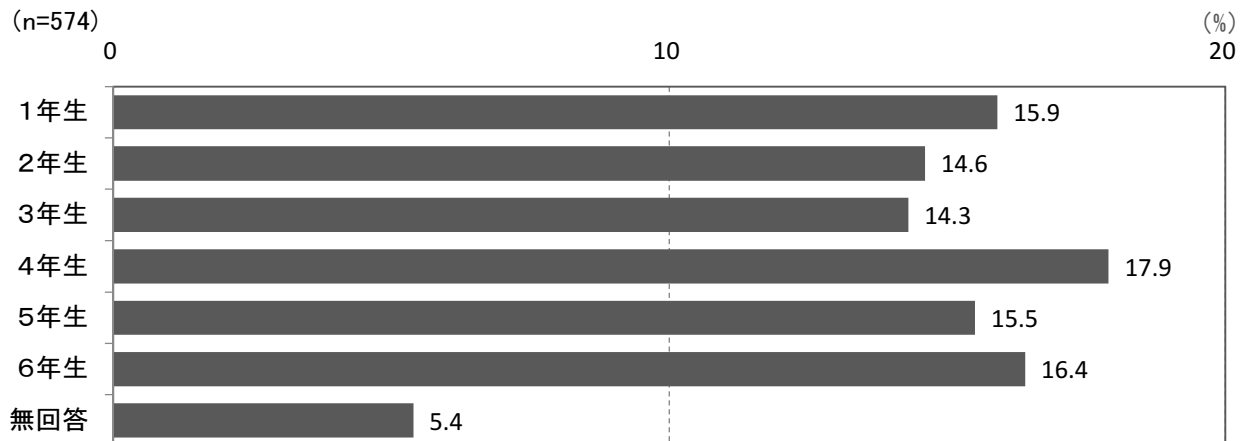
<p>・たくさんの子育て支援を行っているようだが、身近では支援はわからない。情報量が少なくわからない。もう少しいろいろな角度から発信してほしい。伝わっていないのがもったいない。</p>
<p>・道路の整備がされていない。子どもを乗せて自転車を走行するとタイヤをとられ怖いと思うところが多く見られる。早めの対応を願う。</p>
<p>・明るい街灯にしてほしい。犯罪が起きてもわかりにくい。学童の帰りを怖がっている。</p>
<p>・公園の整備、ベビーカーや自転車が安全に通れる道幅の確保に力を入れてほしい。</p>
<p>・月齢別、年齢別の子育てサークルを年間を通して行ってほしい。</p>
<p>・子育て支援に力を入れていると聞くが、その恩恵を受けたという実感がない。公民館などではお年寄りのサークルは充実しているが、子育て世代には決まりごとが多く、非常に閉鎖的で、対応も悪い。支援を受けやすいとは感じられない。</p>
<p>・インターネットの情報を充実させて欲しい。</p>
<p>・保育園や学童の利用時間と通勤時間の隙間になる時間、安心してみてもらえる人、場所があるともう少し働く時間を増やしたり安心して働くことができる。</p>
<p>・小学入学後に低学年の間は学童や預かり保育があれば是非利用したいのもっと利用法がわかりやすいものを提示して欲しい。利用できる施設案内や説明会等を手紙等で案内してもらえると行動に移せると思う。</p>
<p>・サークル活動などの情報もどこで得られるのか知りたい。</p>
<p>・マザーズハローワークなどの施設が新座にあればなおうれしい。</p>
<p>・子どもを放しがいのできるイベントや場所を多くしてほしい。自由に遊ばせられ、お昼を食べられ、バーベキューなどが借りられる施設が欲しい。親がちょっと目を離しても安心できるそんなゆとりがある場所があれば、親子ともゆったりとした気持ちを持てるのではないかな。</p>

第2章 就学児童保護者対象調査

1 お子さんご家族の状況について

問1 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(数量回答、生年月より学年に換算)

宛名のお子さんの学年は、「4年生」が17.9%で最も多くなっていますが、いずれの学年も1割台となっています。

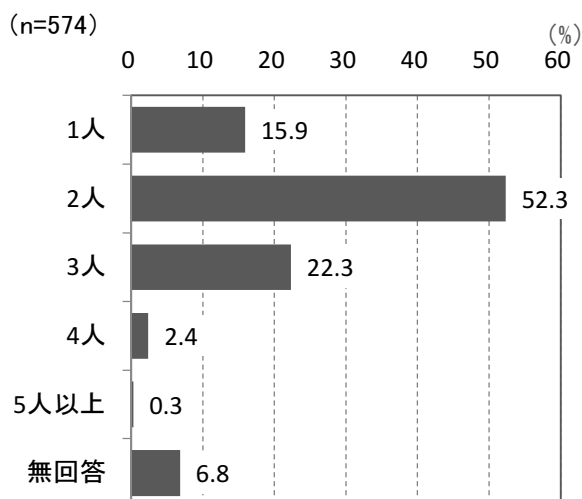


問2 宛名のお子さんのきょうだいは、何人いらっしゃいますか。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(数量回答)

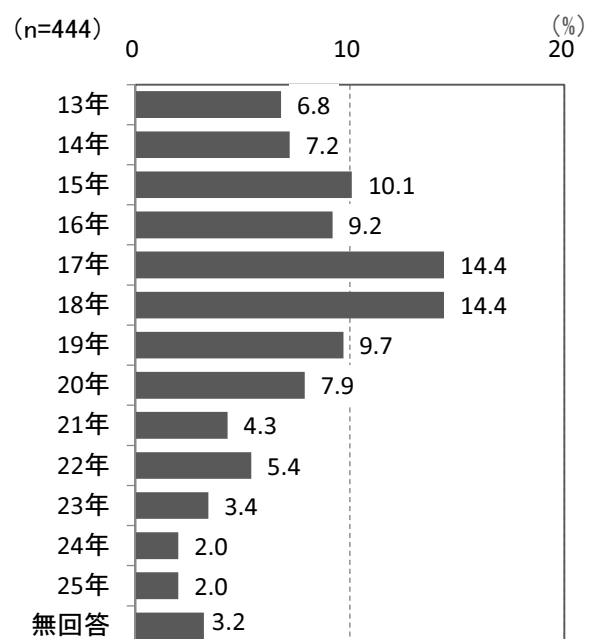
宛名のお子さんのきょうだいの人数は、「2人」が52.3%で最も多く、次いで「3人」が22.3%、「1人」が15.9%となっています。

また、きょうだいの末子の方の生年は「17年」および「18年」が14.4%で最も多く、次いで「15年」が10.1%となっています。

《きょうだいの人数》

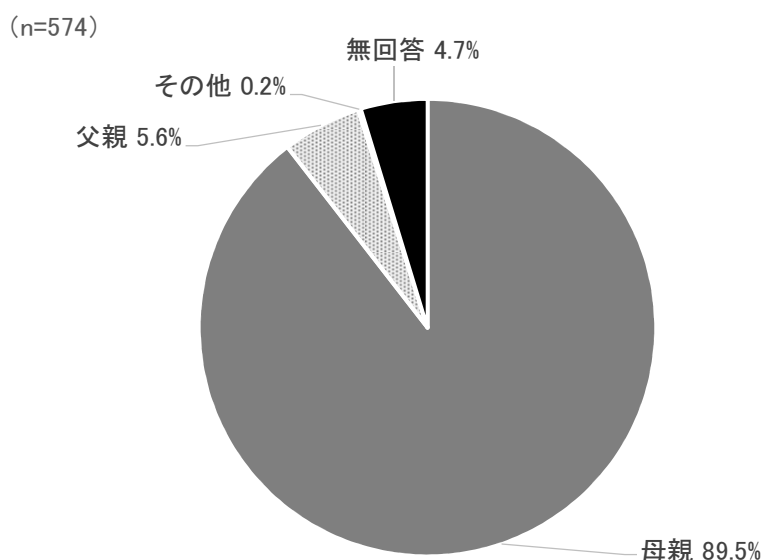


《末子の生年》



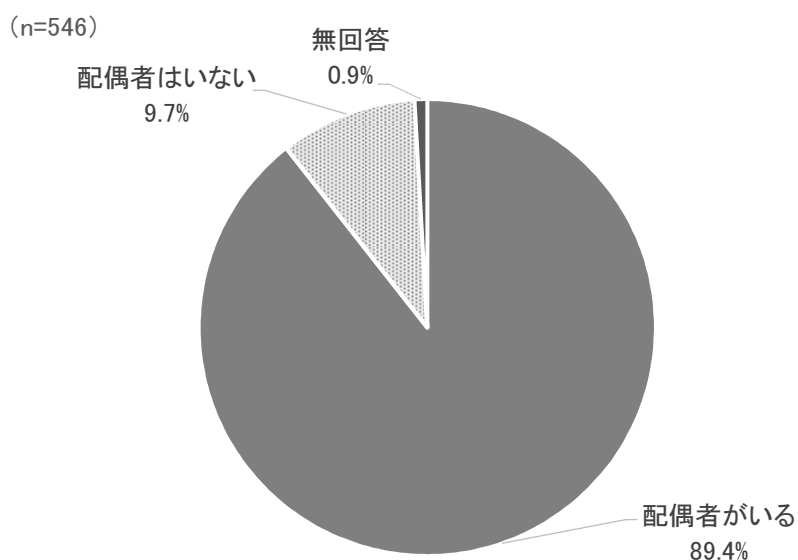
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(単数回答)

調査票の回答者は、「母親」が89.5%、次いで「父親」が5.6%となっています。



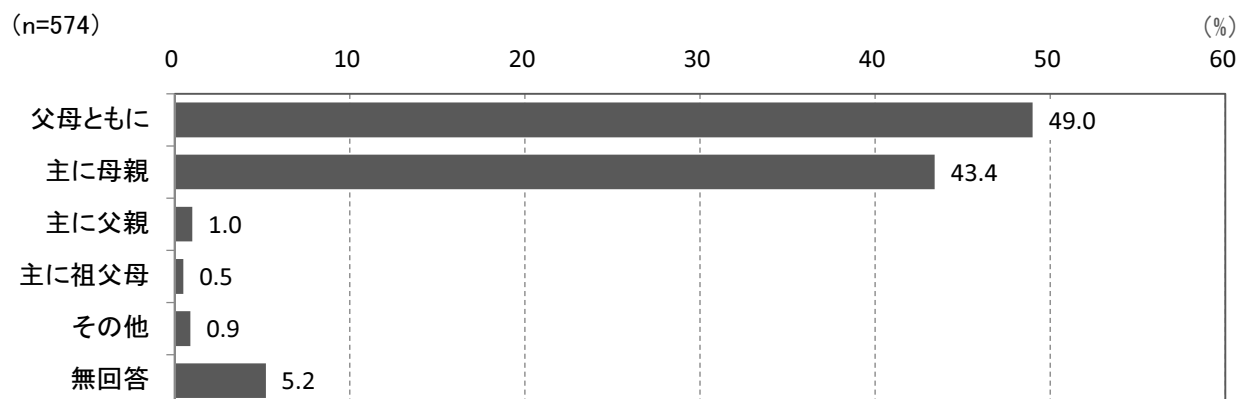
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶者関係についてお答えください。(単数回答)

回答者の配偶者関係は、「配偶者がいる」が89.4%で最も多く、次いで「配偶者がいない」が9.7%となっています。



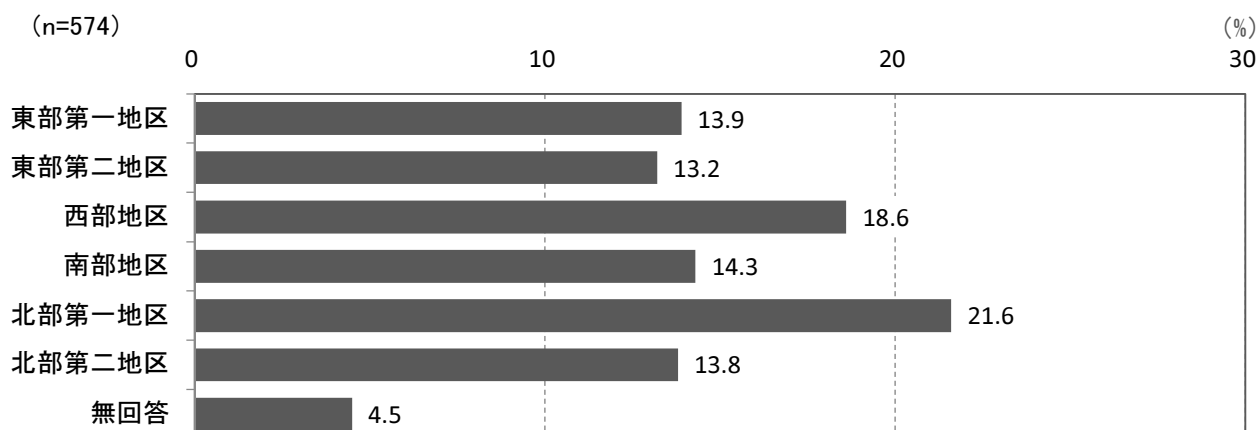
問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(単数回答)

宛名のお子さんの子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が49.0%で最も多く、次いで「主に母親」が43.4%となっています。



問6 お住まいの地区はどちらですか。(単数回答)

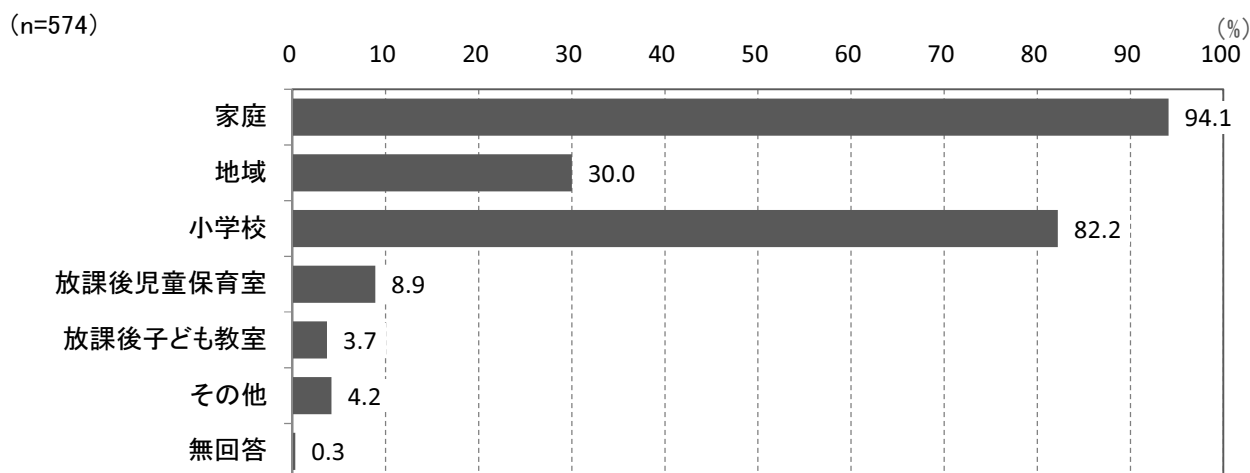
お住まいの地区は、「北部第一地区」が21.6%で最も多く、次いで「西部地区」が18.6%、「東部第一地区」が13.9%となっています。



2 お子さんの育ちをめぐる環境について

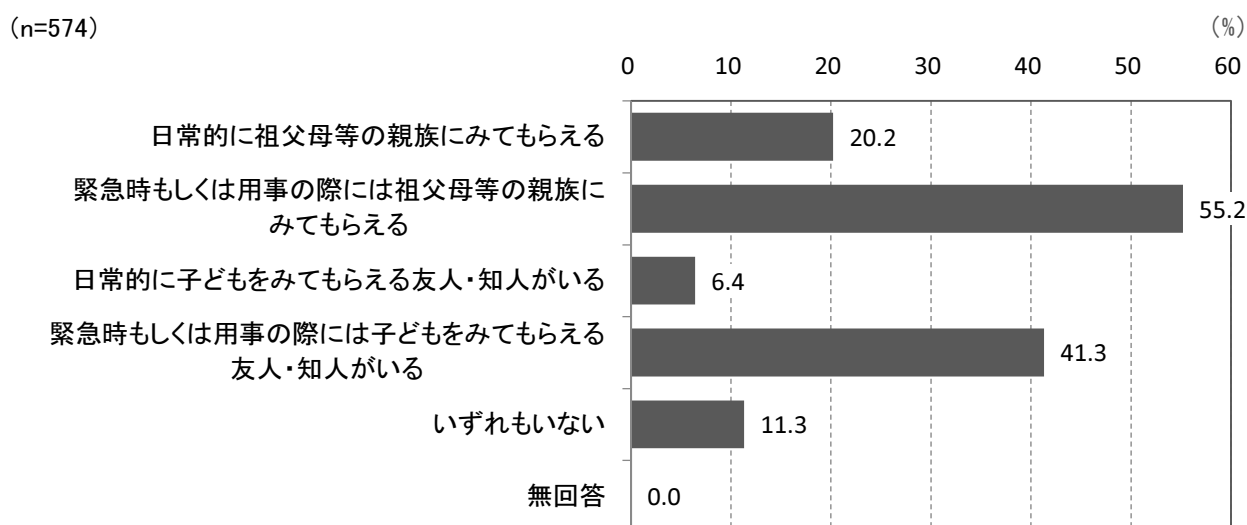
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境はなんだと思いますか。(複数回答)

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に最も影響すると思われる環境は「家庭」が94.1%で最も多く、次いで「小学校」が82.2%、「地域」が30.0%となっています。



問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

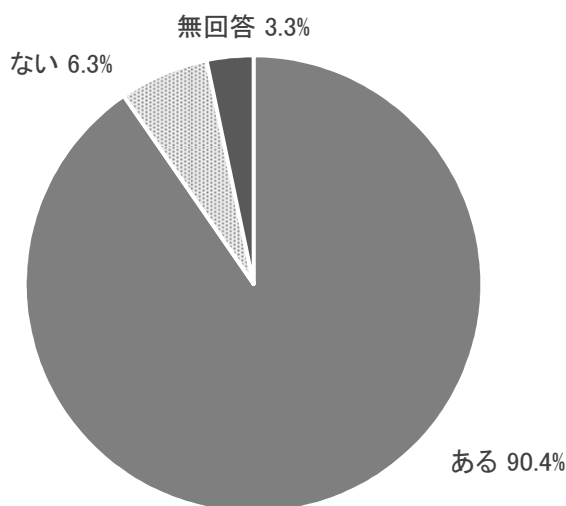
宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.2%で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が41.3%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が20.2%となっています。



問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、身近に相談できる先はありますか。(単数回答)

宛名のお子さんの子育てをする上で身近に相談できる先は、「ある」が90.4%で最も多く、「ない」が6.3%となっています。

(n=574)

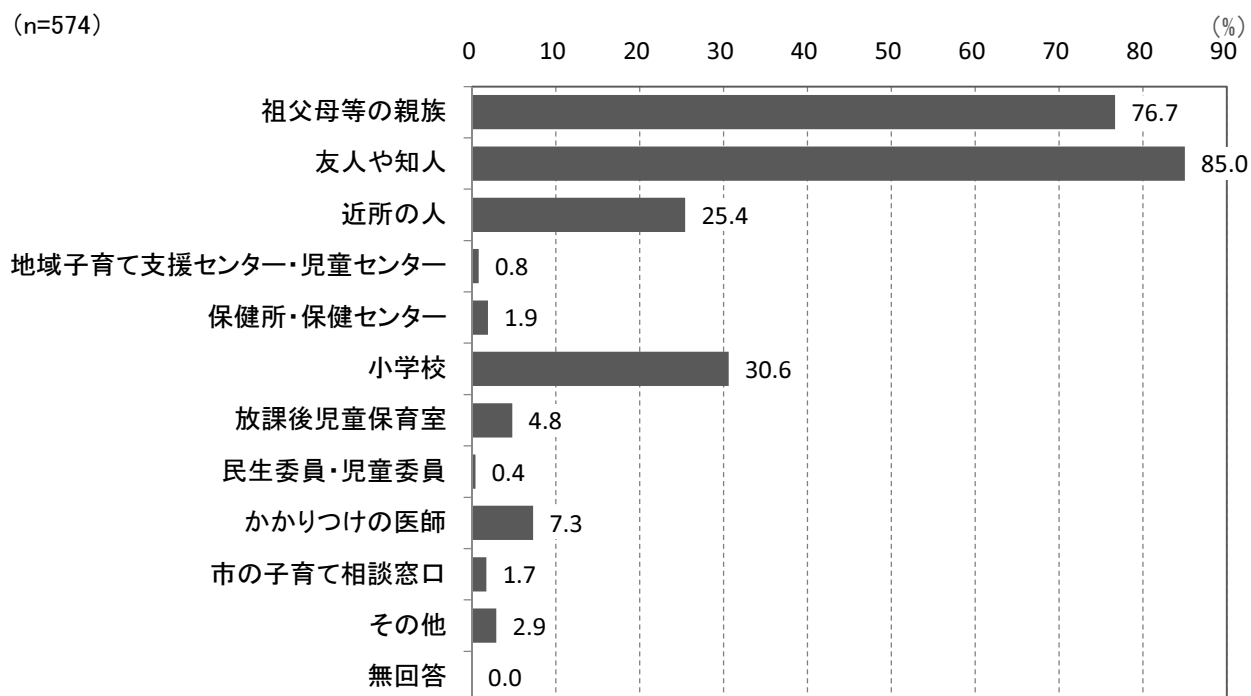


【問9で「1. ある」に○を付けた方にうかがいます】

問9-1 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、身近に相談できる先は、どなたですか。(複数回答)

子育てをする上で身近に相談できる先は、「友人や知人」が85.0%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が76.7%、「小学校」が30.6%となっています。

(n=574)



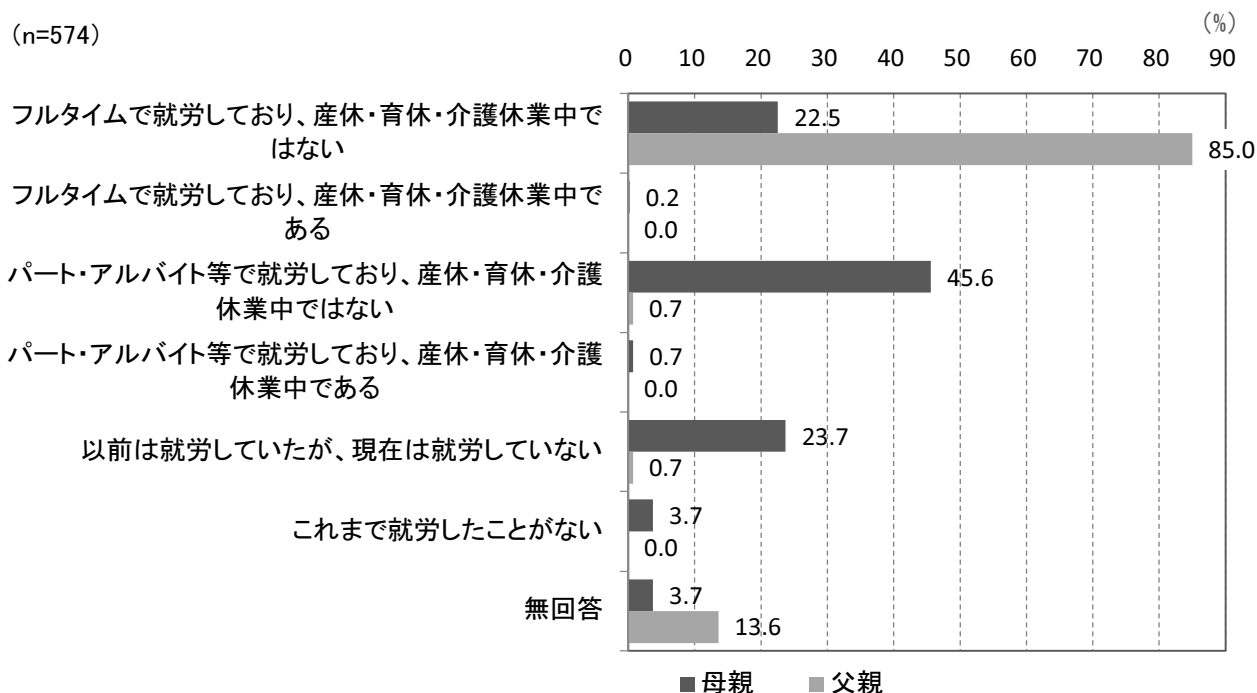
3 お子さんの母親・父親の就労状況について

問 10 宛名のお子さんの母親・父親の就労状況(自営業、自由業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 現在の就労状況は以下のどれにあたりますか。(単数回答)

母親の現在の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 45.6%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 23.7%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 22.5%となっています。

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない」が 85.0%で最も多くなっています。



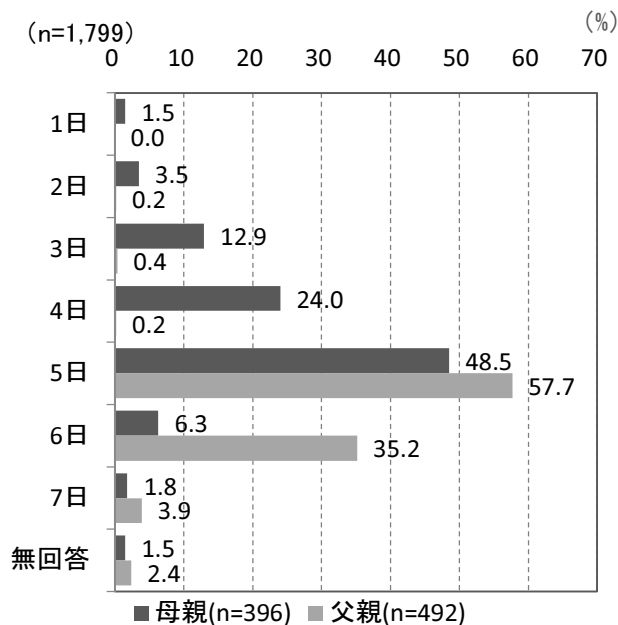
【問 10 の(1)で「1」～「4」(就労している)に○を付けた方にうかがいます】

(2) 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数量回答)

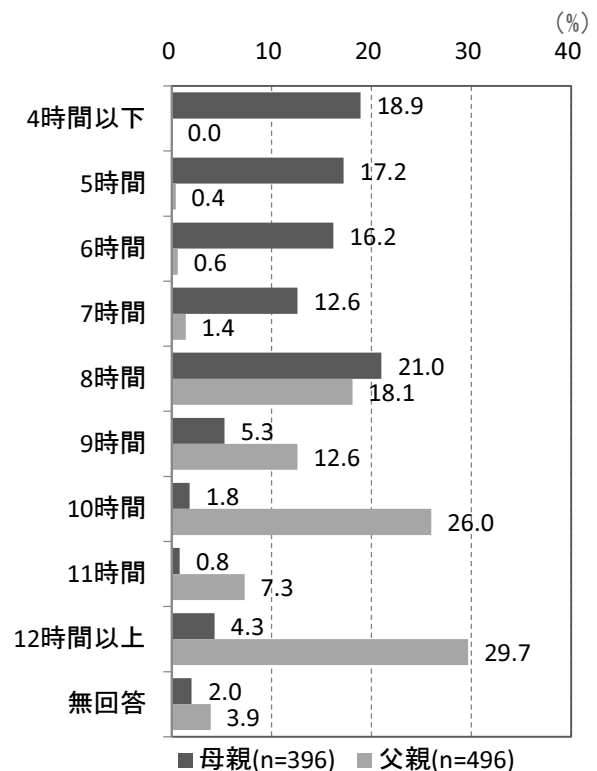
母親の週当たりの就労日数は、「5日」が48.5%で最も多く、次いで「4日」が24.0%、「3日」が12.9%となっています。また、就労時間は、「8時間」が21.0%で最も多く、次いで「4時間以下」が18.9%、「5時間」が17.2%となっています。

父親の週当たりの就労日数は、「5日」が57.7%で最も多く、次いで「6日」が35.2%となっています。また、就労時間は、「12時間以上」が29.7%で最も多く、次いで「10時間」が26.0%、「8時間」が18.1%となっています。

《週当たり就労日数》



《就労時間》

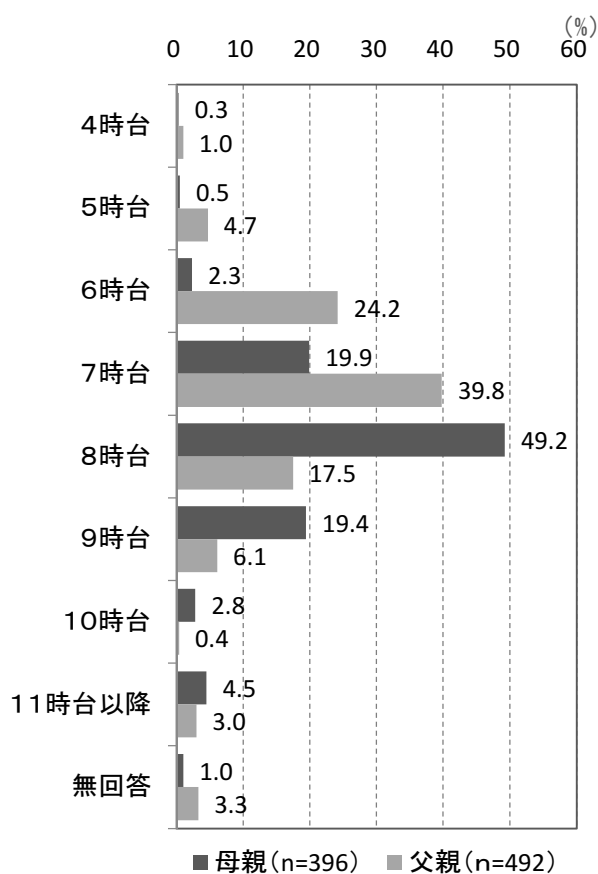


(3) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(通勤を要さない方は、始業・終業時刻をお答えください。)時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。必ず、時刻は24時間制(例：帰宅する時刻 19時30分)でご記入ください。(数量回答)

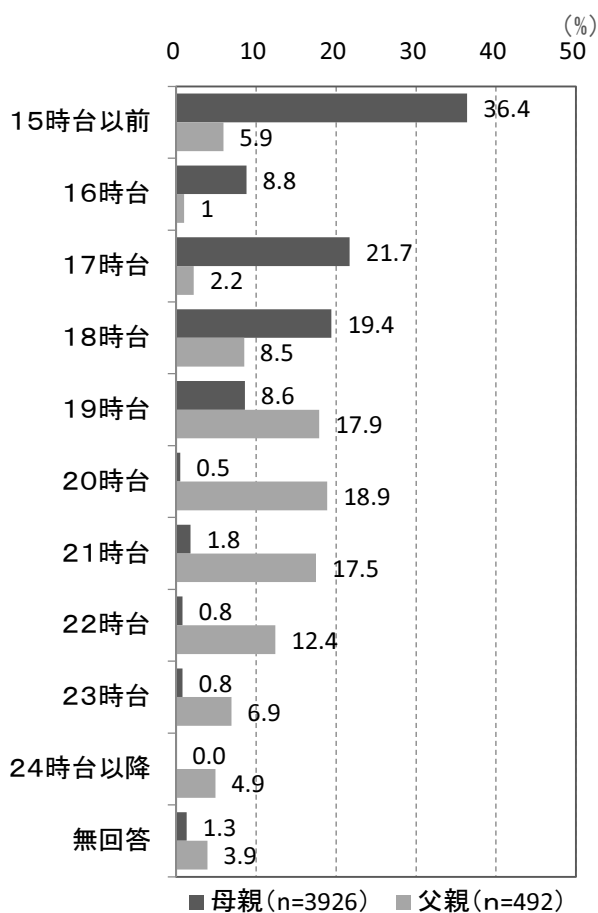
母親が家を出る時間は、「8時台」が49.2%で最も多く、次いで「7時台」が19.9%、「9時台」が19.4%となっています。また、帰宅する時間は、「15時台以前」が36.4%と最も多く、次いで「17時台」が21.7%、「18時台」が19.4%となっています。

父親が家を出る時間は、「7時台」が39.8%で最も多く、次いで「6時台」が24.2%、「8時台」が17.5%となっています。また、帰宅する時間は、「20時台」が18.9%、「19時台」が17.9%、「21時台」が17.5%となっています。

《家を出る時間》



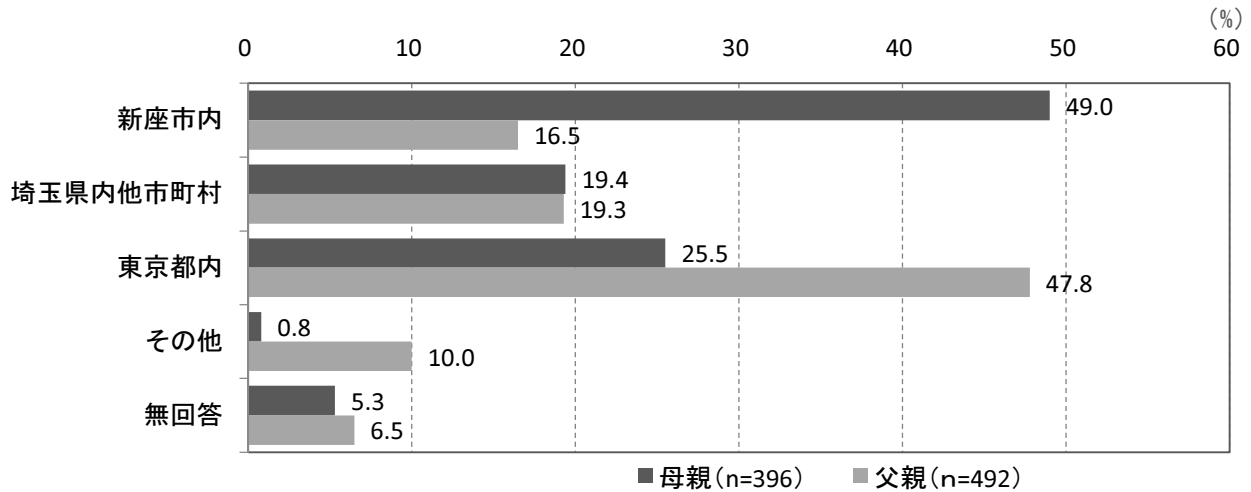
《帰宅する時間》



(4) 勤務先の所在地はどちらですか。新座市以外の方は、カッコ内に自治体名を記入してください。(単数回答)

母親の勤務先の所在地は、「新座市内」が 49.0%で最も多く、次いで「東京都内」が 25.5%、「埼玉県内他市町村」が 19.4%となっています。

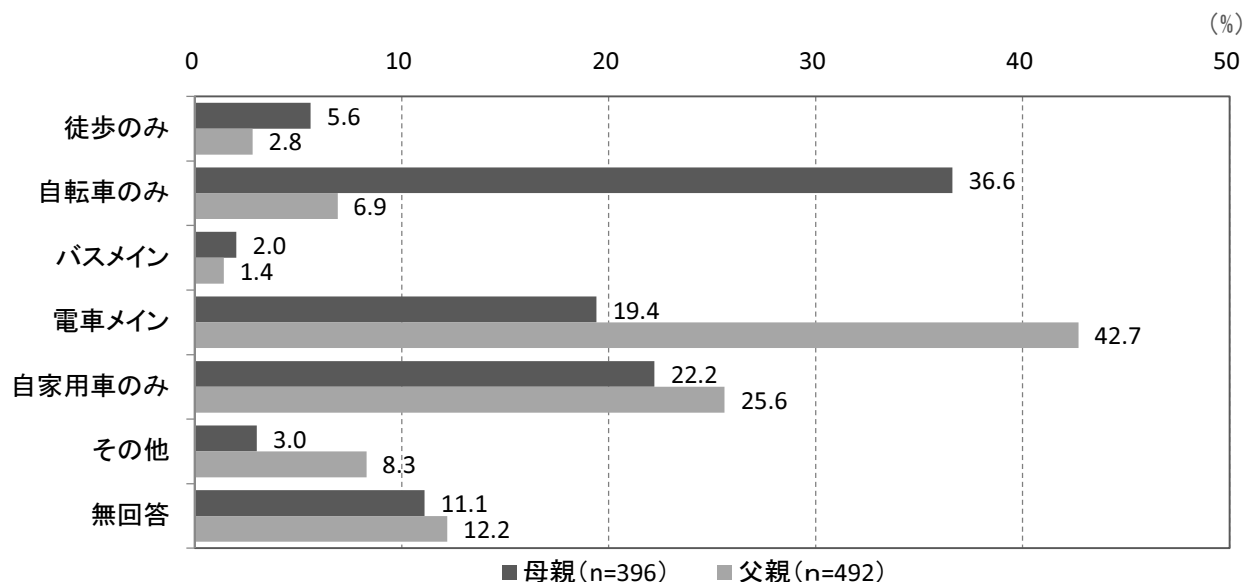
父親の勤務先の所在地は、「東京都内」が 47.8%で最も多く、次いで「埼玉県内他市町村」が 19.3%、「新座市内」が 16.5%となっています。



(5) 勤務先までの主な交通手段は何ですか。手段が1つの場合は枠に1つのみ、複数の場合は、その順番で枠に、それぞれの手段の番号をご記入ください。(複数回答)

母親の勤務先までの交通手段は、「自転車のみ」が 36.6%で最も多く、次いで「自家用車のみ」が 22.2%、「電車メイン」が 19.4%となっています。

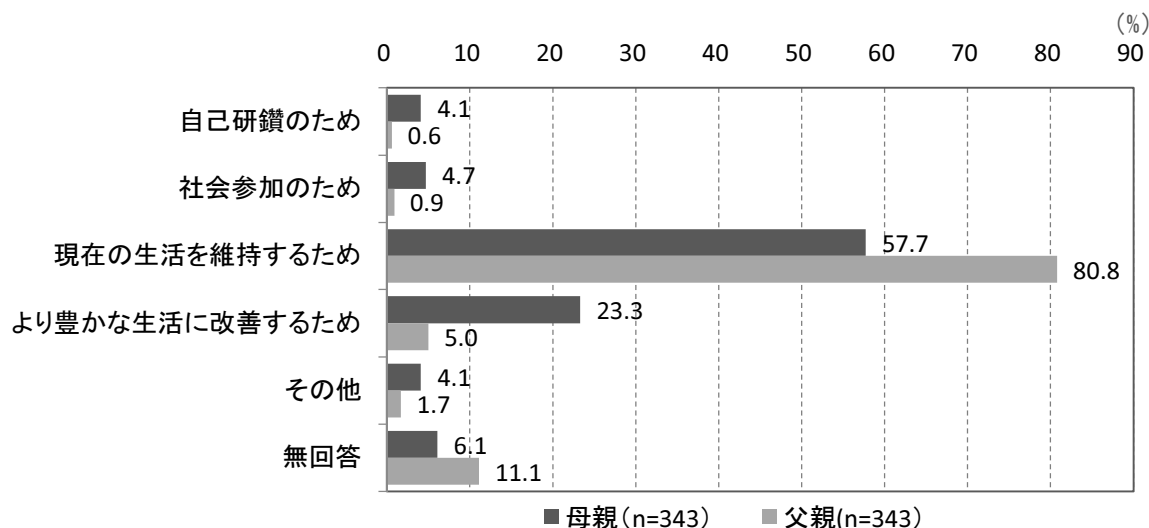
父親の勤務先までの交通手段は、「電車メイン」が 42.7%で最も多く、次いで「自家用車のみ」が 25.6%、「その他」が 8.3%となっています。



【問 10 の(1)で、母親・父親の両方が「1」~「4」(フルタイム、またはパート・アルバイト等で就労)のいずれかに○を付けた方にうかがいます】

(6) 両親が共に就労する目的として、最も近いものに○をしてください (○は1つ) (単数回答)

両親が共に就労する目的として最も近いものについては、「現在の生活を維持するため」が母親で 57.7%、父親で 80.8%と最も多く、次いで「より豊かな生活に改善するため」が母親で 23.3%、父親で 5.0%となっています。

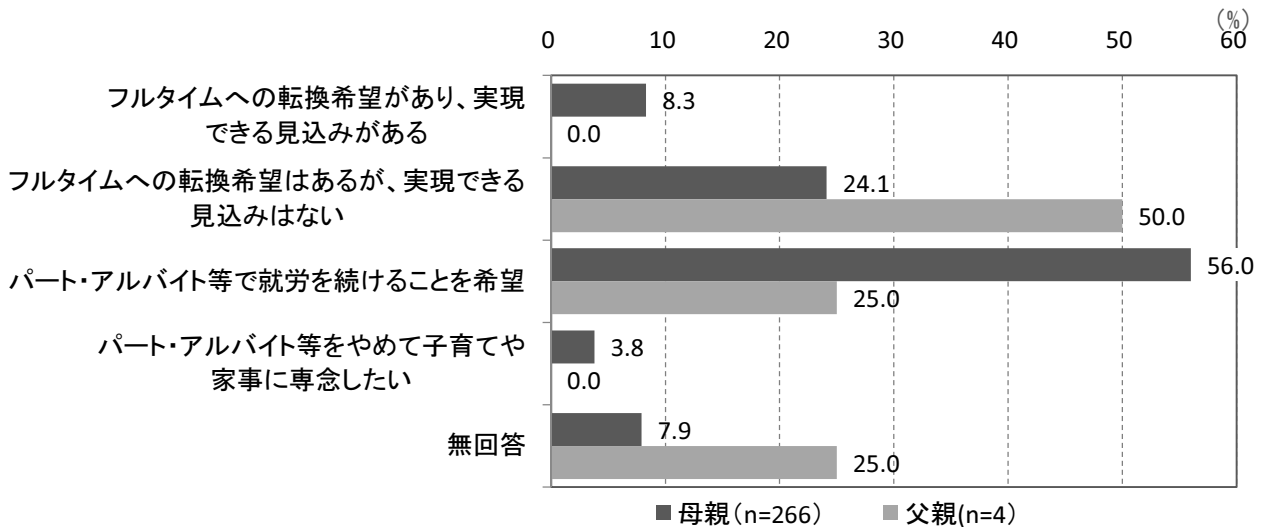


【問 10 の(1)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)に○を付けた方にうかがいます】

(7) フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」が 56.0%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 24.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.3%となっています。

父親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 50.0%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望」が 25.0%となっています。



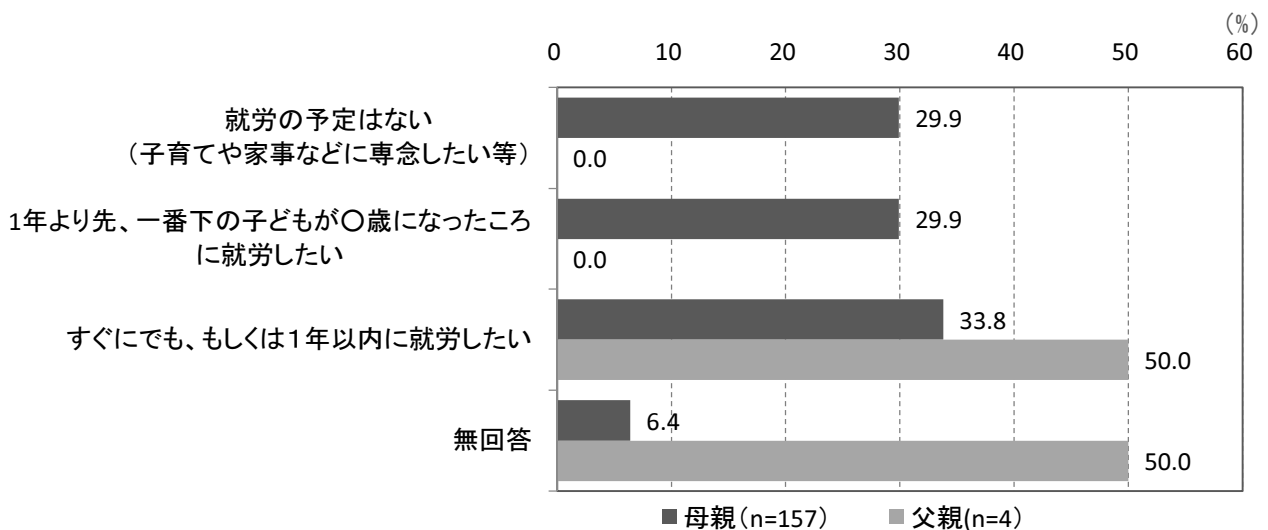
【問 10の(1)で「5」または「6」(就労していない)に○を付けた方にうかがいます】

(8) 就労したいという希望はありますか。(数値記入)

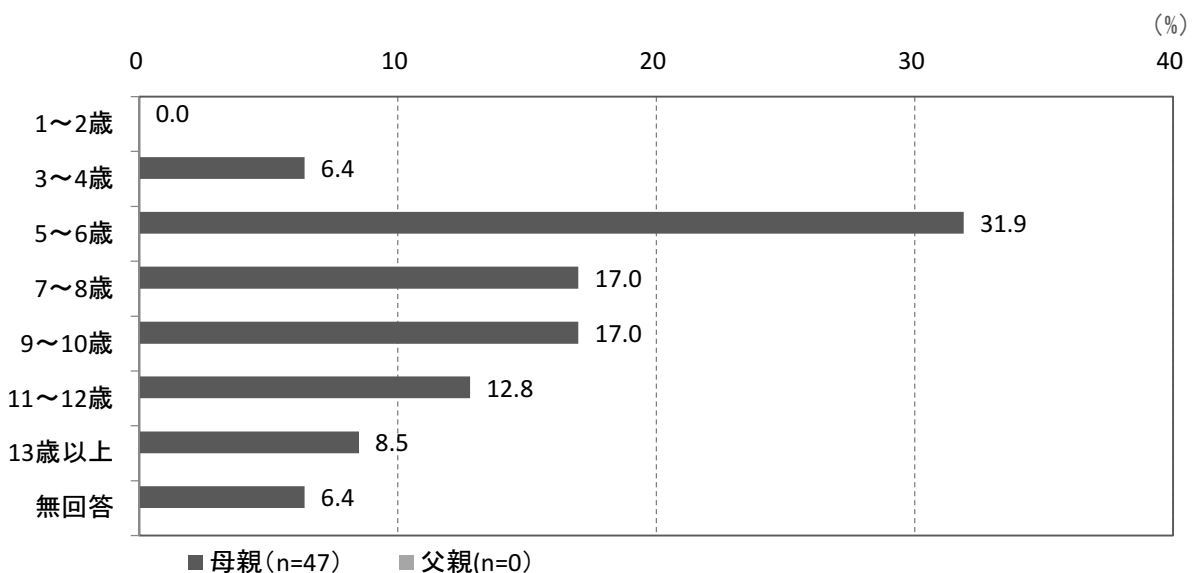
就労していない母親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が33.8%で最も多く、次いで「就労の予定はない」および「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」がともに29.9%となっています。

父親の希望の就労希望は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%となっています。

母親が、一番下の子どもが何歳になったころに就労したいかについては、「5～6歳」が31.9%で最も多く、次いで「7～8歳」および「9～10歳」が17.0%となっています。

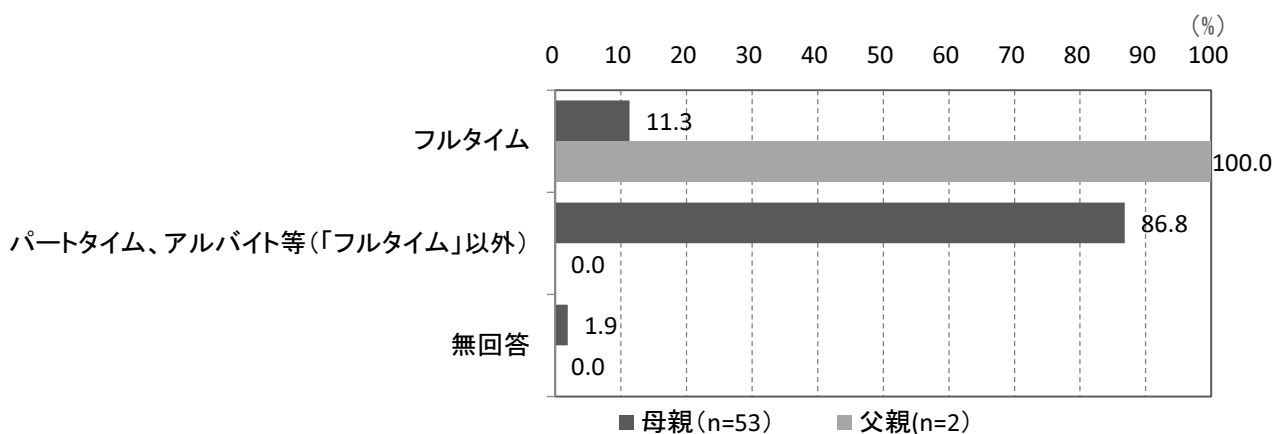


《一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか》



《希望する就労形態》

母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が86.8%、「フルタイム」が11.3%となっています。

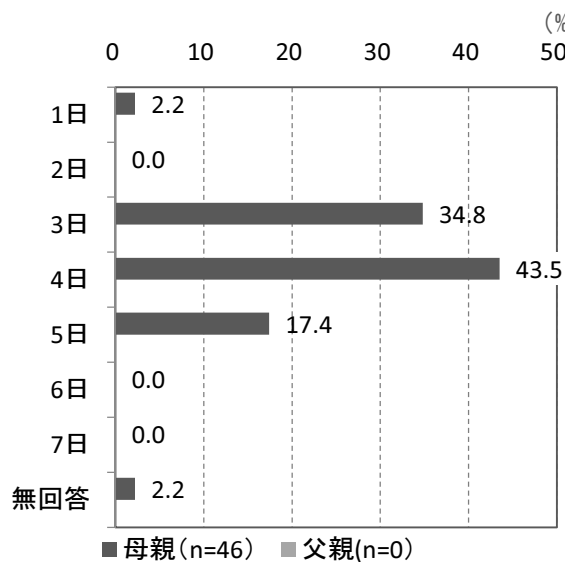


《希望する就労日数・時間》

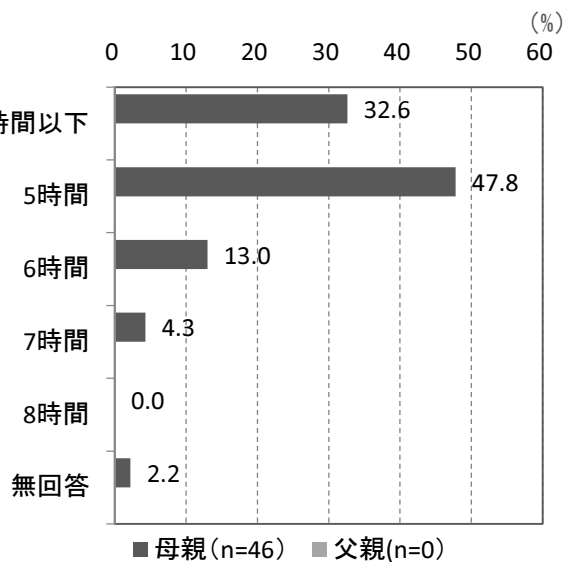
母親の希望する就労日数は、1週当たり「4日」が43.5%で最も多く、次いで「3日」が34.8%、「5日」が17.4%となっています。

また、母親の希望する就労時間は、1日当たり「5時間」が47.8%で最も多く、次いで「4時間以下」が32.6%、「6時間」が13.0%となっています。

《希望する就労日数》



《希望する就労時間》

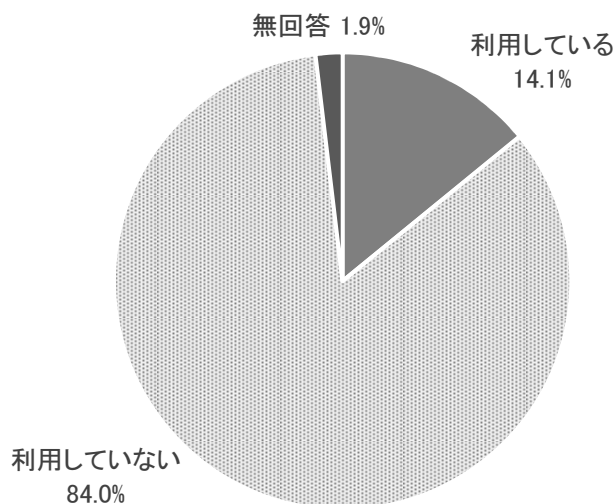


4 お子さんの放課後の過ごし方について

問 11 宛名のお子さんは、現在、放課後児童保育室を利用していますか。(単数回答)

放課後児童保育室の利用の有無については、「利用していない」が 84.0%、「利用している」が 14.1% となっています。

(n=574)



【問 11 で「1. 利用している」に○を付けた方にうかがいます】

問 11-1 宛名のお子さんについて、放課後児童保育室の利用日数はどれくらいですか。(数量回答・単数回答)

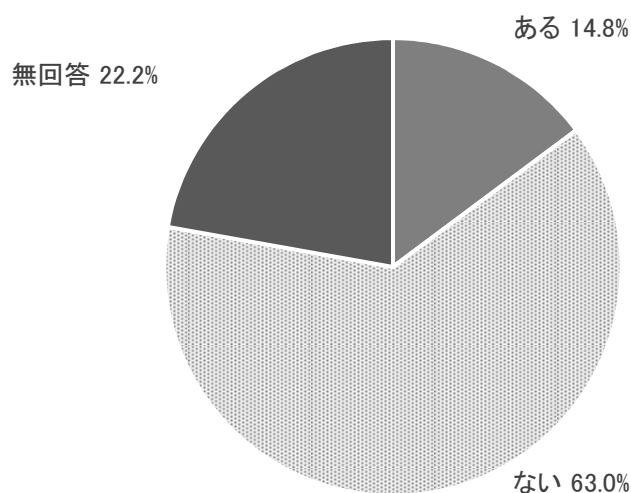
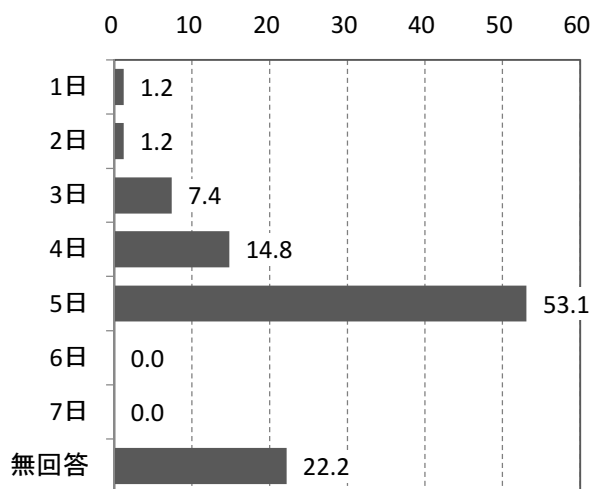
放課後児童保育室の利用日数については、「5日」が 53.1%で最も多く、次いで「4日」が 14.8%、「3日」が 7.4%となっています。

また、土曜日の利用の有無については、「ない」が 63.0%、「ある」が 14.8%となっています。

《土曜日の利用》

(n=81)

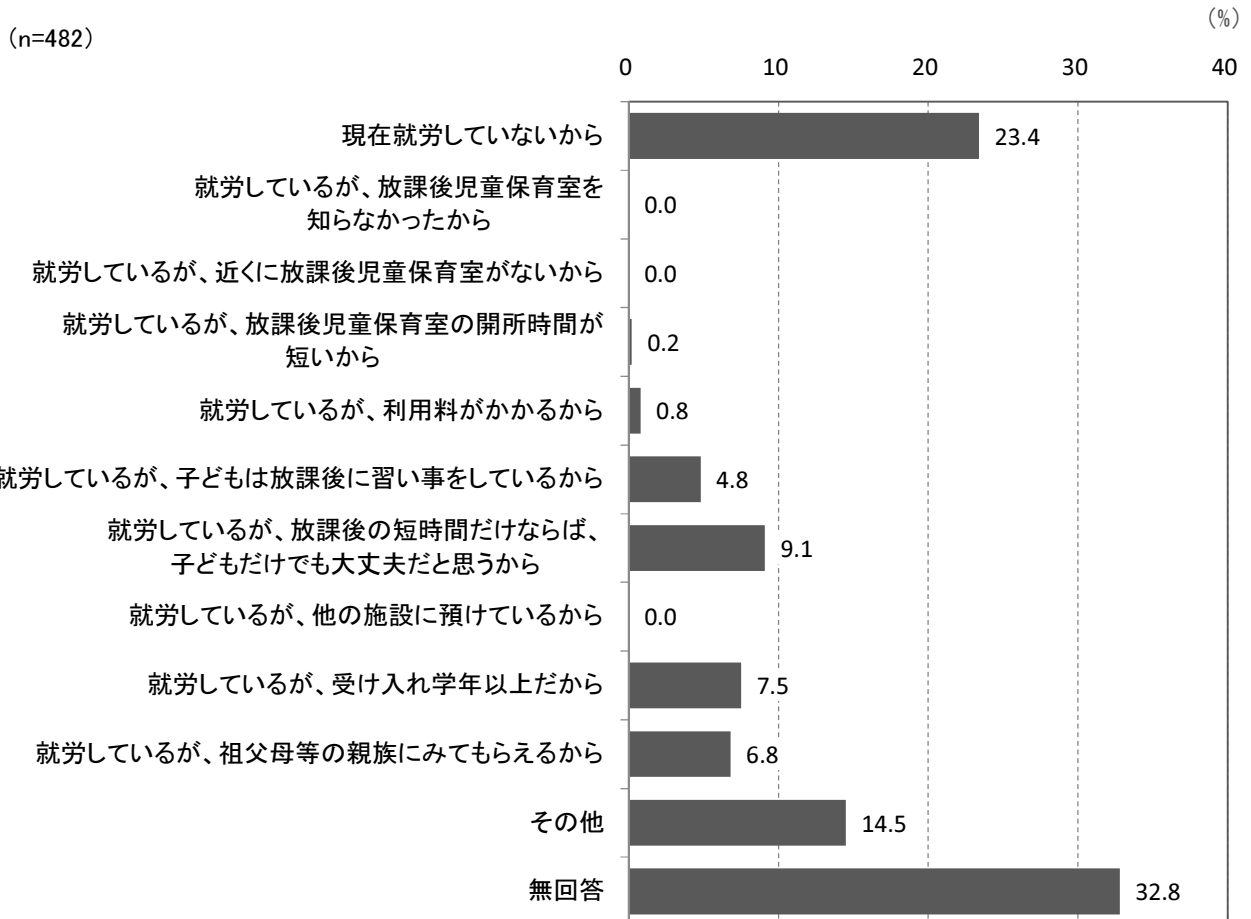
(%) (n=81)



【問 11 で「2. 利用していない」に○を付けた方にうかがいます】

問 11-2 放課後児童保育室を利用していない主な理由は何ですか。(単数回答)

放課後児童保育室を利用していない理由については、「現在就労していないから」が 23.4%で最も多く、次いで「その他」が 14.5%、「就労しているが、放課後の短時間だけならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 9.1%となっています。



【宛名のお子さんが小学校1～3年生の方にうかがいます。】

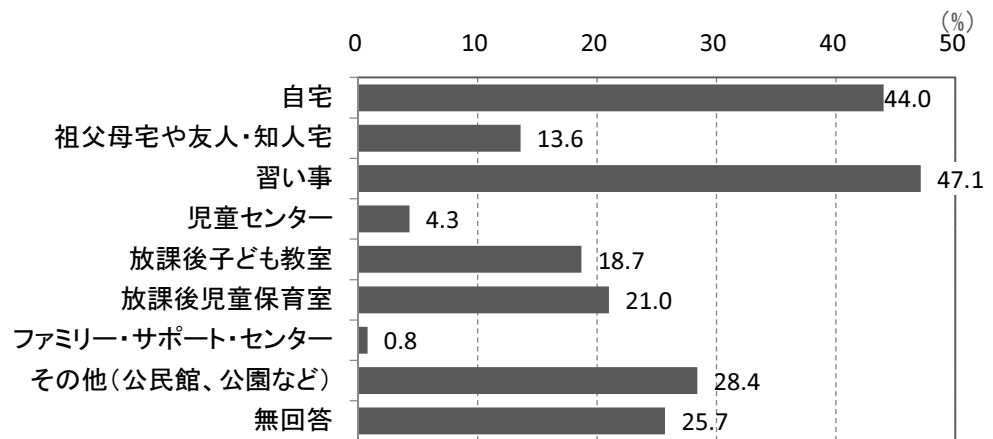
問 12 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童保育室」の場合には、利用を希望する時間も口内にご記入ください。必ず、時間は24時間制（例：17時30分まで）でご記入ください。（複数回答・数量回答）

小学校低学年の間は、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「習い事」が47.1%で最も多く、次いで「自宅」が44.0%、「その他（公民館、公園など）」が28.4%となっています。

「習い事」で過ごさせたい日数は「2日」が39.7%で最も多く、次いで「1日」が34.7%、「3日」が23.1%となっています。

「自宅」は1週当たり「2日」が29.2%で最も多く、次いで「3日」が20.4%、「1日」が18.6%となっています。

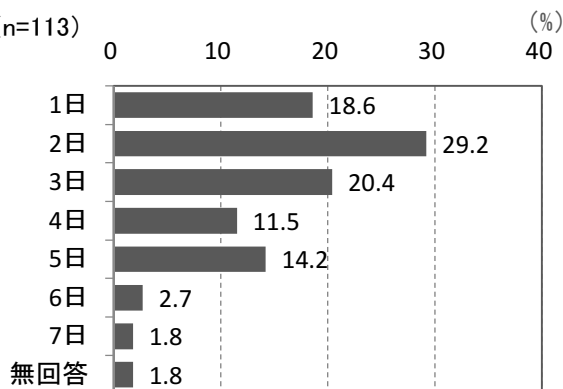
(n=257)



《希望する日数》

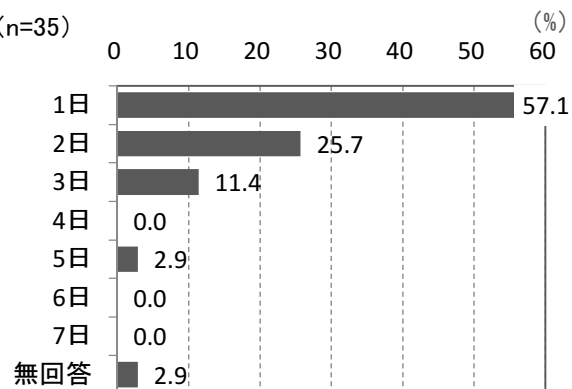
①自宅

(n=113)

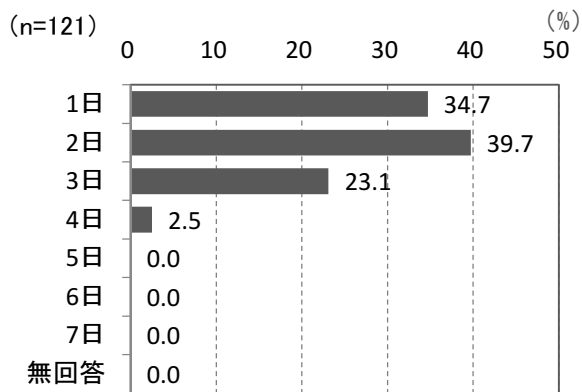


②祖父母宅や友人・知人宅

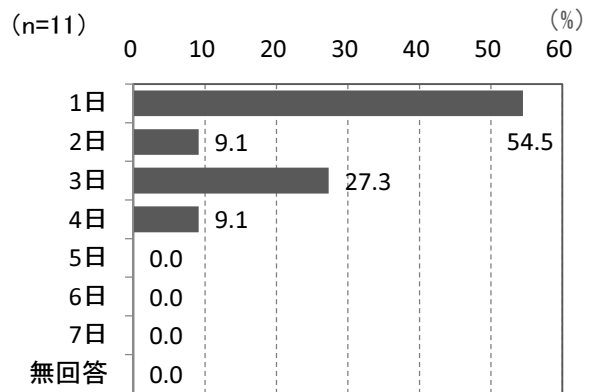
(n=35)



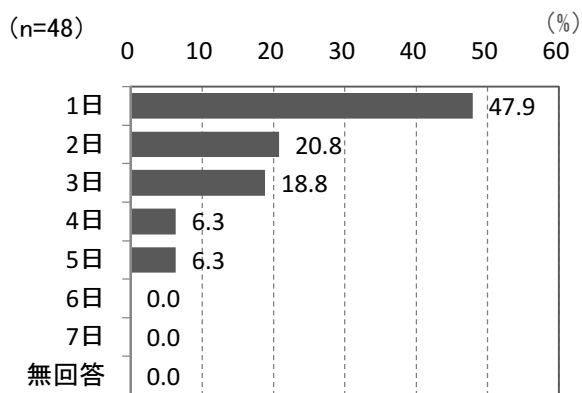
③習い事



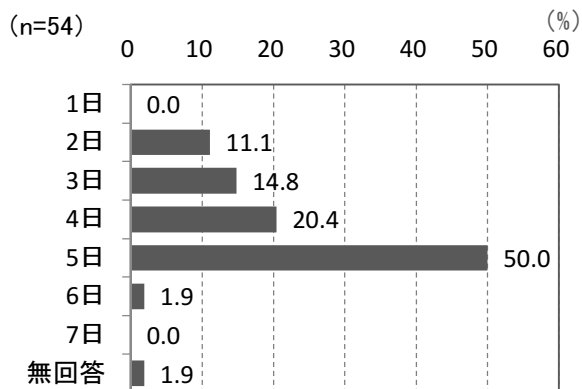
④児童センター



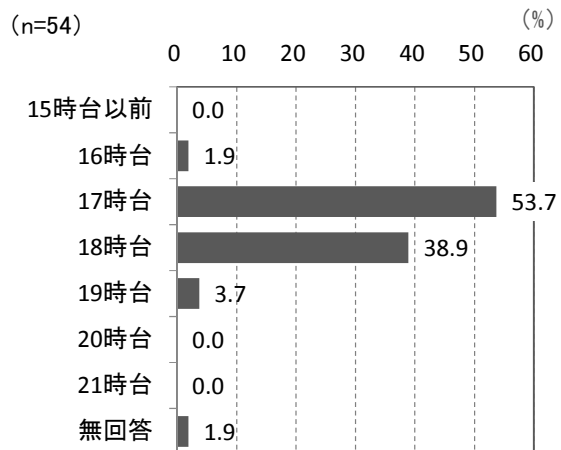
⑤放課後子ども教室



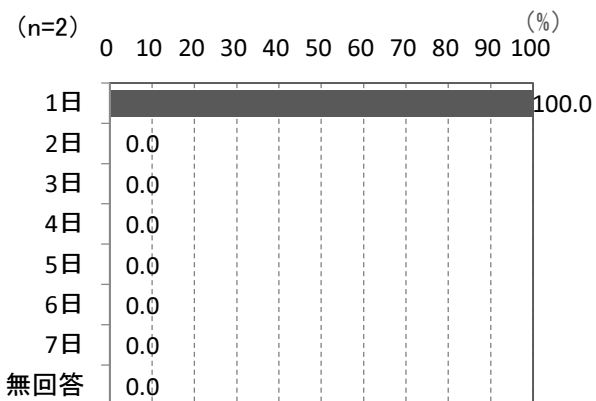
⑥放課後児童保育室



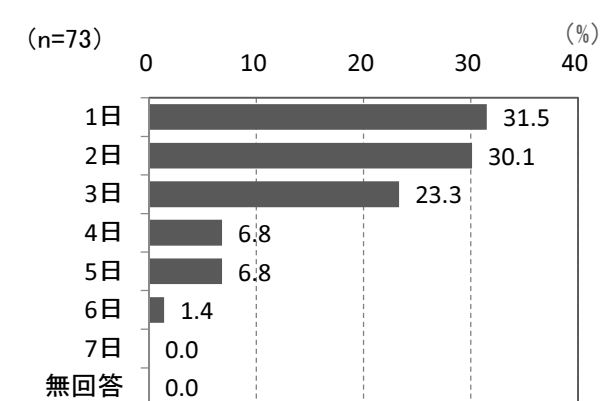
《放課後児童クラブ〔学童保育〕の希望終了時間》



⑦ファミリー・サポート・センター



⑧その他



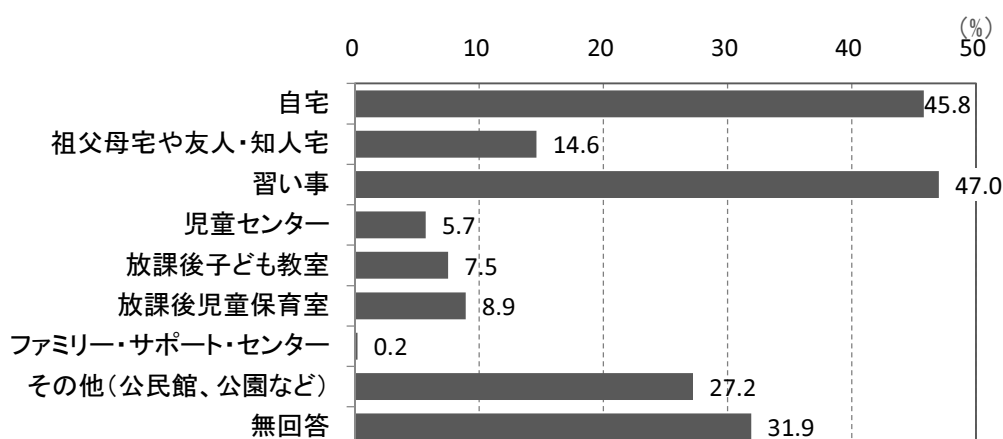
問 13 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童保育室」の場合には、利用を希望する時間も口内にご記入ください。必ず、時間は24時間制（例：17時30分まで）でご記入ください。（数量回答）

小学校高学年の間、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「習い事」が47.0%で最も多く、次いで「自宅」が45.8%、「その他（公民館、公園など）」が27.2%となっています。

「習い事」で過ごさせたい日数は「2日」が43.7%で最も多く、次いで「1日」が24.8%、「3日」が21.1%となっています。

「自宅」は1週あたり「2日」が30.0%で最も多く、次いで「1日」が20.5%、「3日」が19.4%となっています。

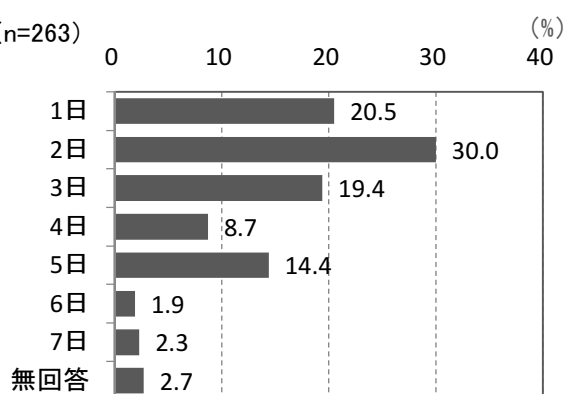
(n=574)



《希望する日数》

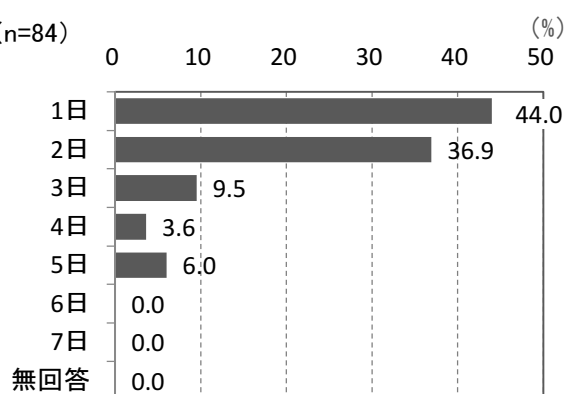
①自宅

(n=263)

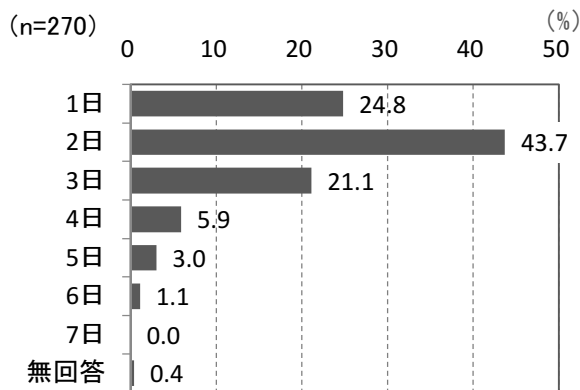


②祖父母宅や友人・知人宅

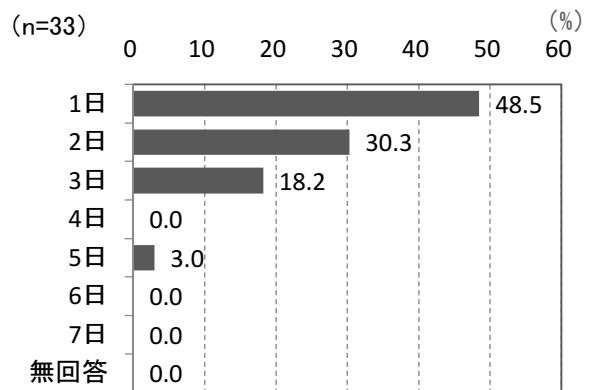
(n=84)



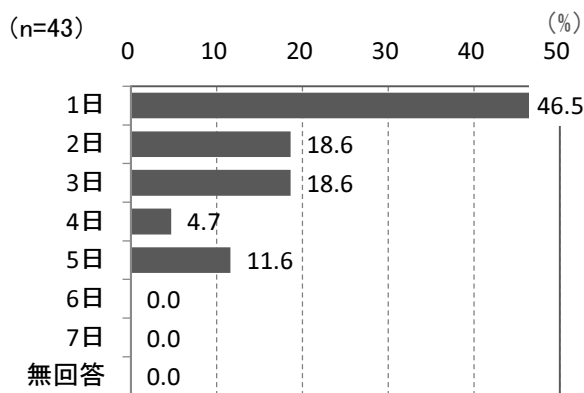
③習い事



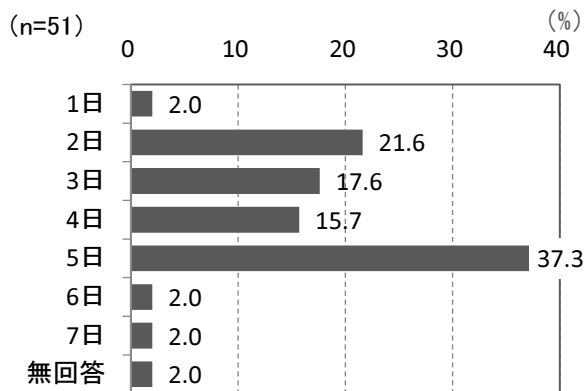
④児童センター



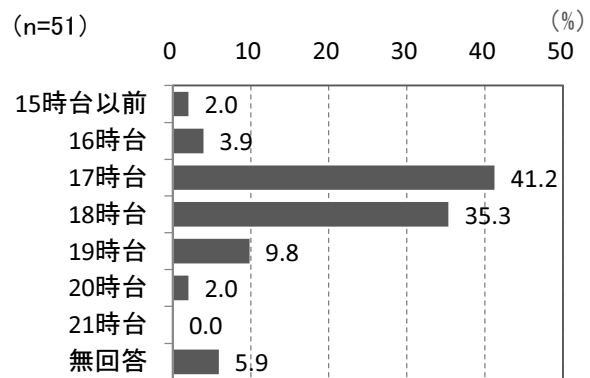
⑤放課後子ども教室



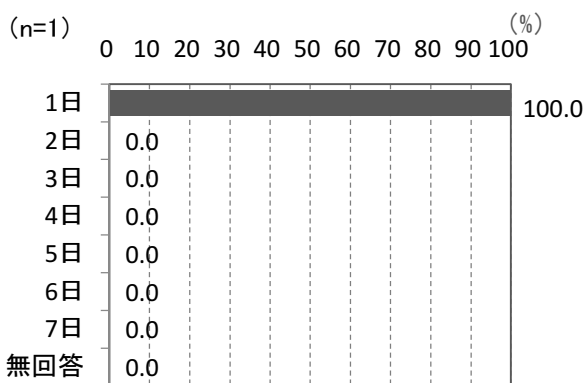
⑥放課後児童保育室



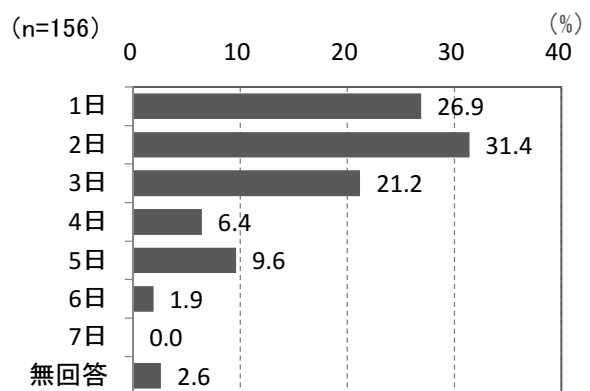
《放課後児童クラブ〔学童保育〕の希望終了時間》



⑦ファミリー・サポート・センター



⑧その他



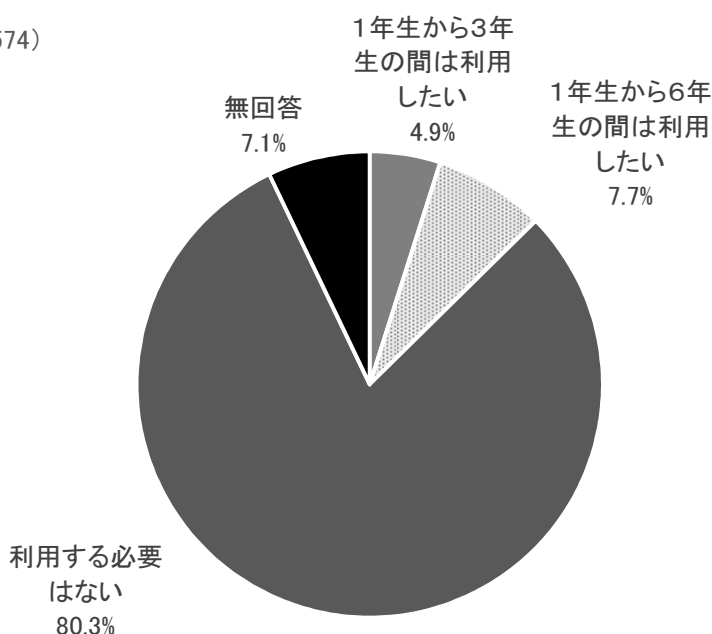
問 14 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童保育室の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用者負担があります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を24時間制(例:8時00分~18時00分)でご記入ください。(単数回答・数量回答)

土曜日の放課後児童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が80.3%で最も多く、次いで「1年生から6年生の間は利用したい」が7.7%、「1年生から3年生の間は利用したい」が4.9%となっています。

希望利用開始時間は「8時台」が59.7%で最も多く、次いで「9時台」が23.6%となっています。また、希望終了時間については、「18時台」が31.9%で最も多く、次いで「17時台」が27.8%となっています。

《土曜日の利用意向》

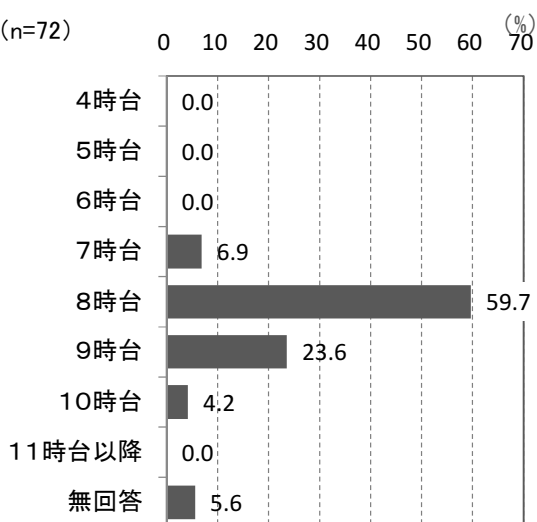
(n=574)



《土曜日の希望利用時間帯》

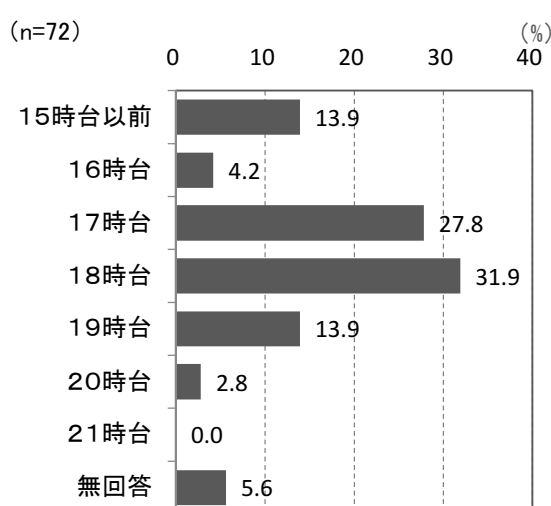
① 希望利用開始時間

(n=72)



② 希望利用終了時間

(n=72)

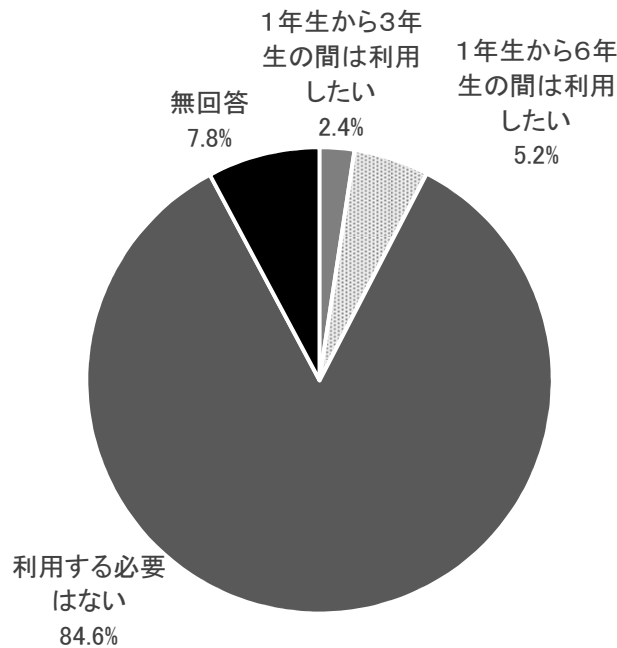


日曜日・祝日の放課後児童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が 84.6%で最も多く、次いで「1年生から6年生の間は利用したい」が5.2%となっています。

希望利用開始時間は「8時台」が63.6%で最も多く、次いで「9時台」が22.7%となっています。また、希望終了時間については、「18時台」が34.1%で最も多く、次いで「17時台」が31.8%となっています。

《日曜・祝日の利用意向》

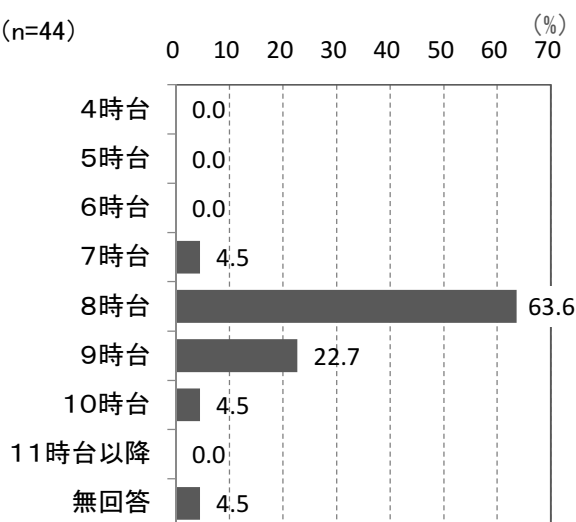
(n=574)



《日曜・祝日の希望利用時間帯》

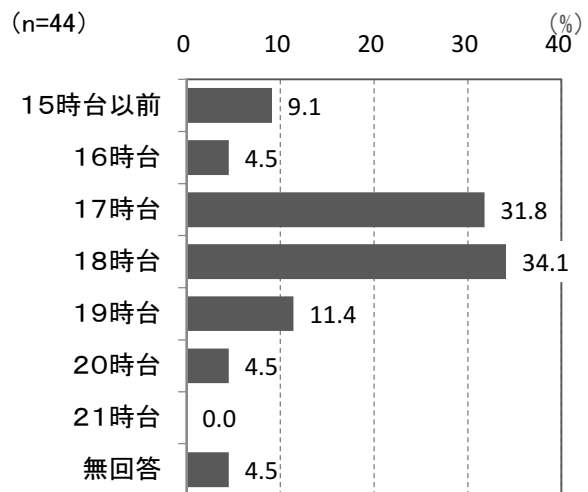
② 希望利用開始時間

(n=44)



② 希望利用終了時間

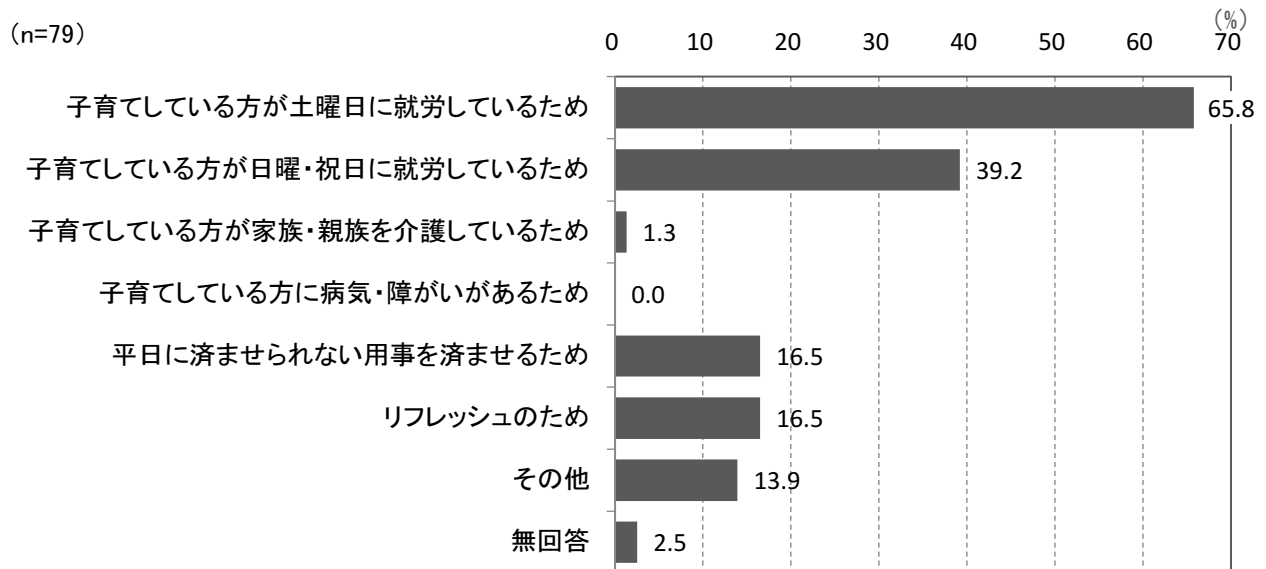
(n=44)



【問 14 で「1」または「2」(利用したい)に○を付けた方にうかがいます】

問 14-1 土曜、日曜・祝日に放課後児童保育室を利用したい理由は何ですか。(複数回答)

土曜、日曜・祝日に放課後児童保育室を利用したい理由については、「子育てしている方が土曜日に就労しているため」が 65.8%で最も多く、次いで、「子育てしている方が日曜・祝日に就労しているため」が 39.2%となっています。



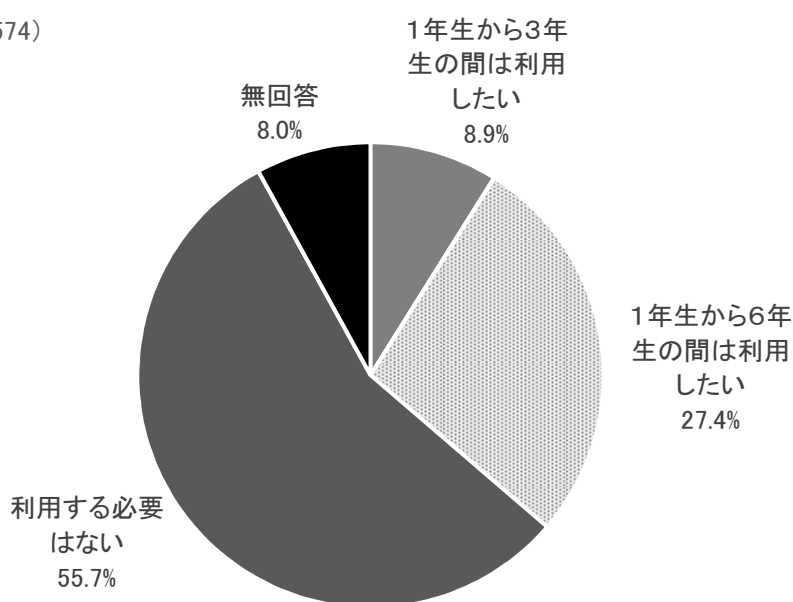
問 15 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み期間中の放課後児童保育室の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を24時間制(例:8時00分~18時00分)でご記入ください。(単数回答・数量回答)

夏休み・冬休み期間中の放課後児童保育室の利用希望については、「利用する必要はない」が55.7%で最も多く、次いで「1年生から6年生の間は利用したい」が27.4%、「1年生から3年生の間は利用したい」が8.9%となっています。

希望利用開始時間は「8時台」が67.3%で最も多く、次いで「9時台」が24.0%となっています。また、希望終了時間については、「18時台」が36.5%で最も多く、次いで「17時台」が34.1%となっています。

《夏休み・冬休みの利用意向》

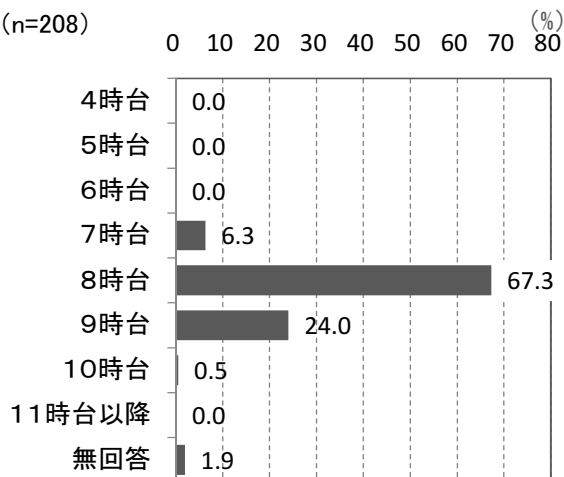
(n=574)



《夏休み・冬休みの希望利用時間帯》

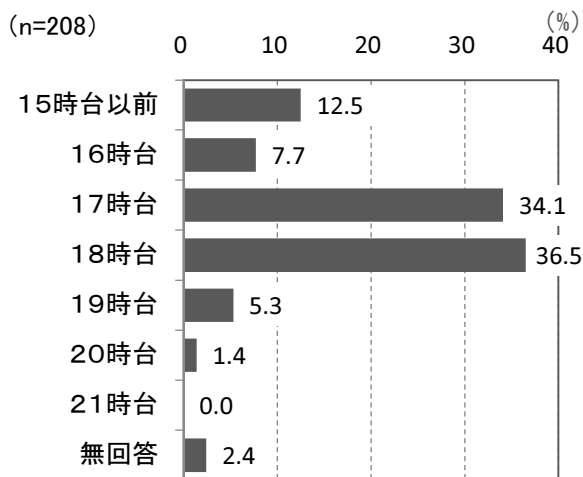
①希望利用開始時間

(n=208)



②希望利用終了時間

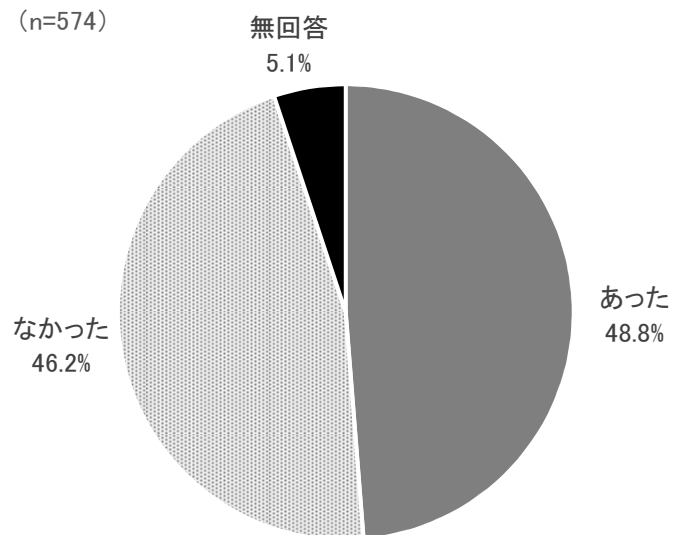
(n=208)



5 お子さんの病気の際の対応について

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童保育室を利用できなかったことはありますか。(単数回答)

お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童保育室を利用できなかったことがあるかについては、「あった」が48.8%で、「なかった」が46.2%となっています。

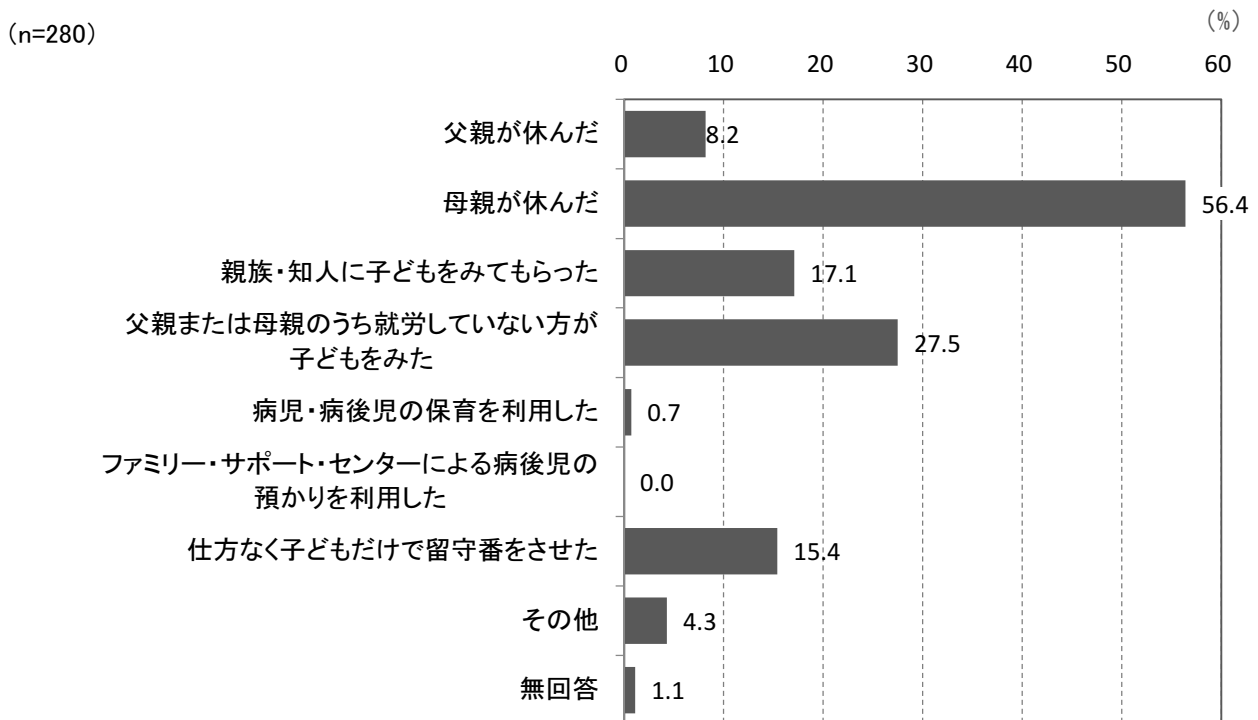


【問 16 で「1. あった」に○を付けた方にうかがいます】

問 16-1 宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童保育室を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数も口内にご記入ください。(複数回答・数量回答)

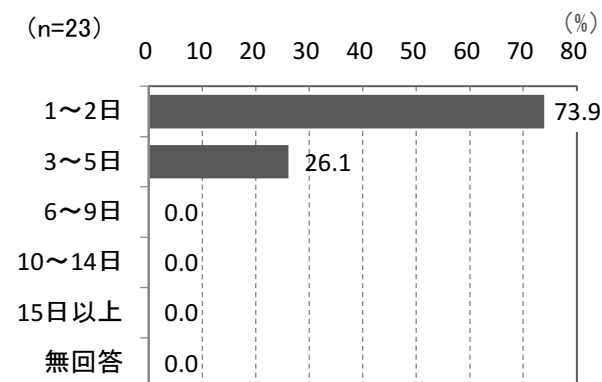
この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が56.4%で最も多く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が27.5%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が17.1%となっています。

また、父親が休んだ日数は、「1～2日」が73.9%、母親が休んだ日数は「1～2日」が41.8%、父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数は、「3～5日」が35.1%で、それぞれ最も多くなっています。

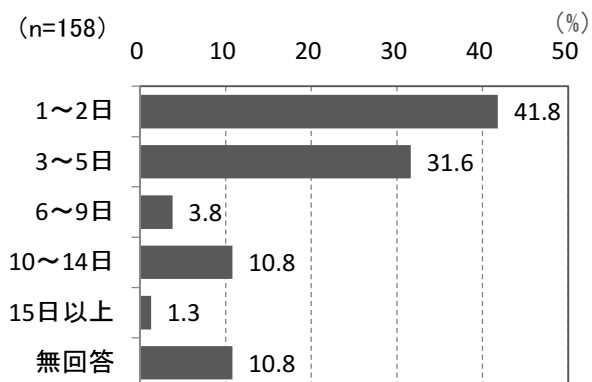


《対処に要した日数》

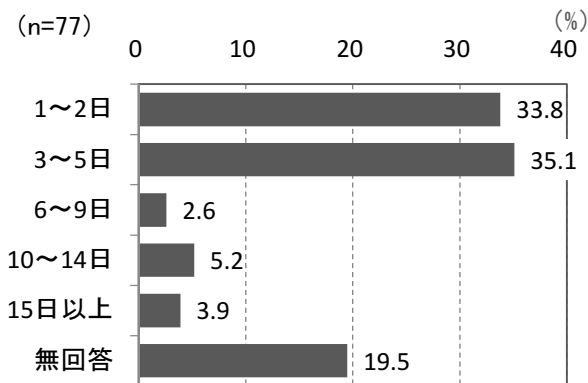
① 「父親が休んだ」



② 「母親が休んだ」



③ 「父親または母親のうち就労していない方」



《そのほか（サンプル数が 50 未満）の対処に要した日数》

	親族・知人に子どもを みてもらった	病児・病後児の 保育を利用した	仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	その他
	n=48	n=2	n=43	n=12
1~2日	60.4	100.0	58.1	8.3
3~5日	20.8	0.0	20.9	16.7
6~9日	2.1	0.0	2.3	16.7
10~14日	4.2	0.0	2.3	16.7
15日以上	4.2	0.0	0.0	0.0
無回答	8.3	0.0	16.3	41.7

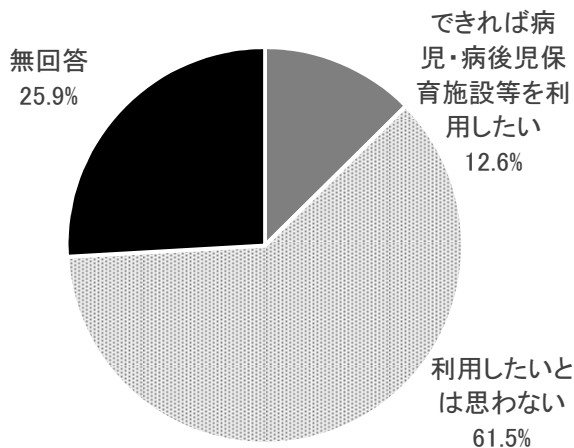
【問 16-1 で「5. 病児・病後児の保育を利用した」に○を付けた方以外の方にうかがいます】

問 16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についても口内にご記入ください。（単数回答・数量回答）

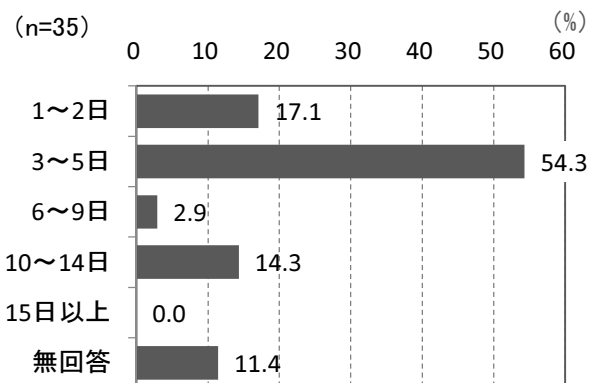
病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「利用したいとは思わない」が 61.5%で最も多く、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 12.6%となっています。

また、病児・病後児保育施設等を利用したい日数については「3~5日」が 54.3%で最も多く、次いで「1~2日」が 17.1%、「10~14日」が 14.3%となっています。

(n=278)



《利用したい日数》

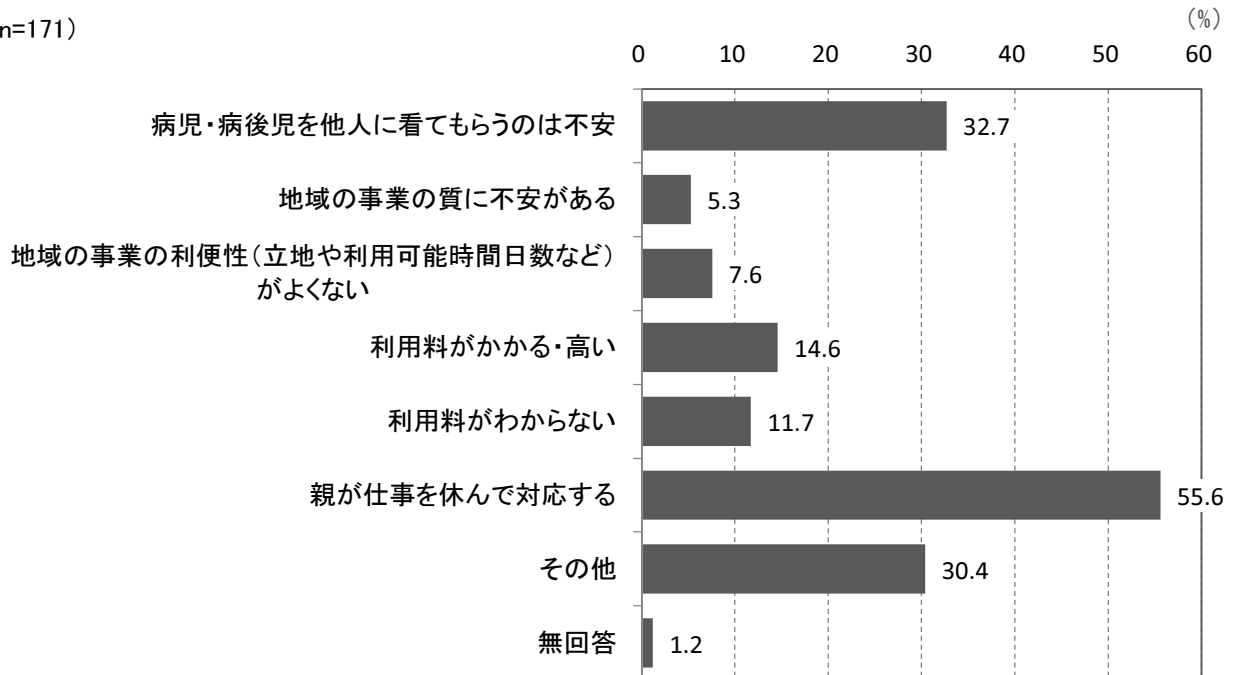


【問 16-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○を付けた方にうかがいます】

**問 16-3 病児・病後児のための保育施設を、利用したいとは思わない理由についてお答え
ください。(複数回答)**

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」が 55.6%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 32.7%となっています。

(n=171)

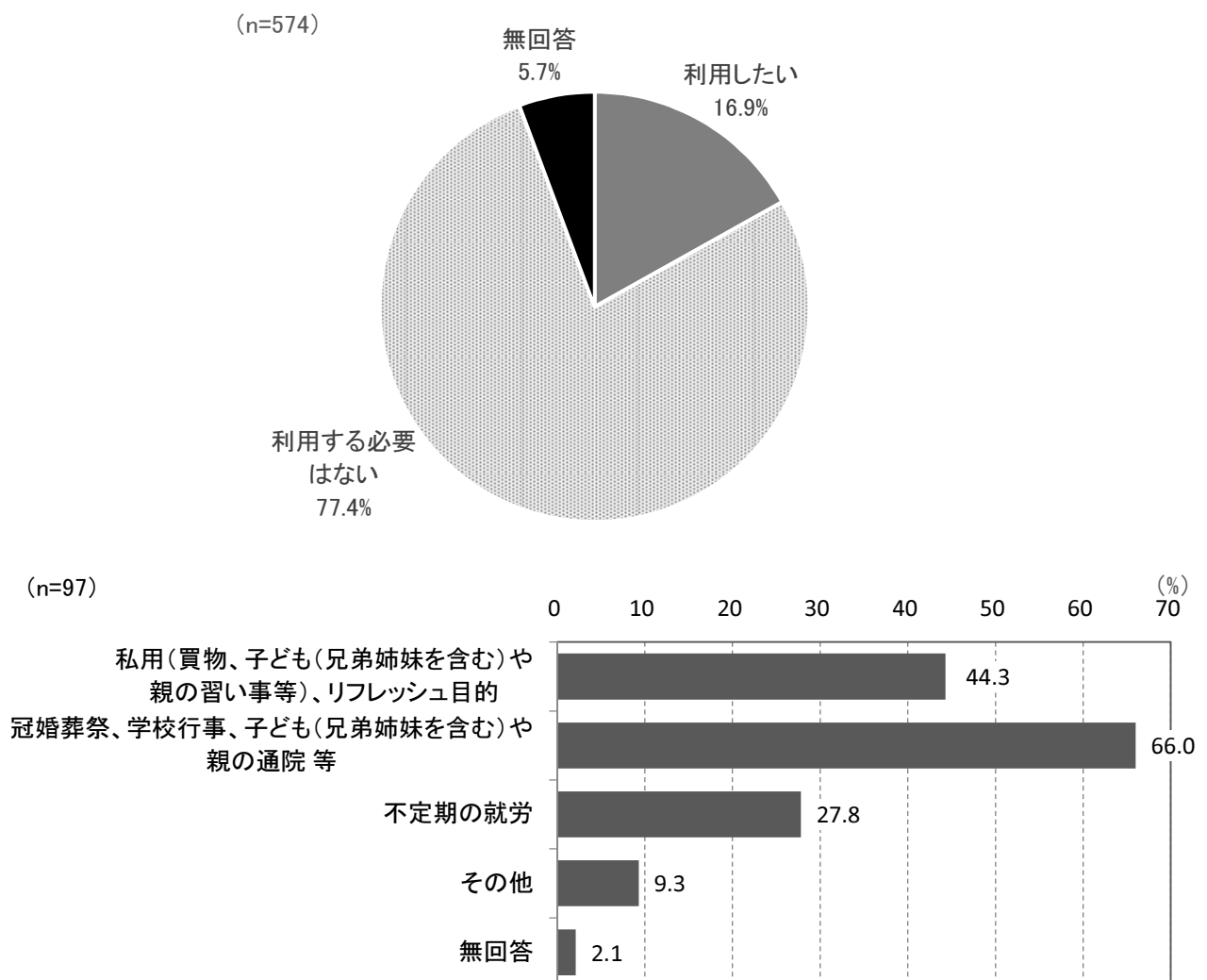


6 お子さんの不定期または宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 17 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数を口内にご記入ください。（複数回答・数量回答）

一時預かり等の事業利用希望の有無については、「利用する必要はない」が 77.4%、「利用したい」が 16.9%となっています。

また、利用を希望する目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 66.0%で最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 44.3%、「不定期の就労」が 27.8%となっています。

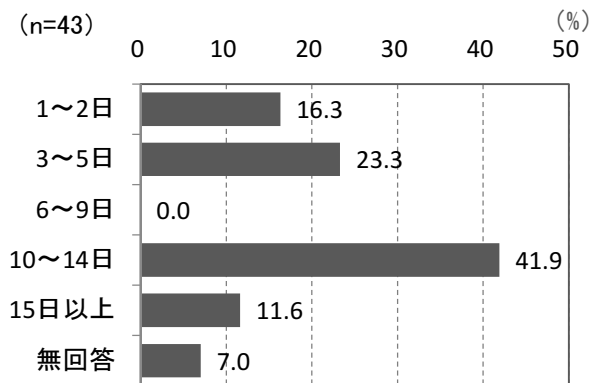


私用、リフレッシュ目的で利用したい希望日数は「10～14日」が41.9%で最も多く、次いで「3～5日」が23.3%、「1～2日」が16.3%となっています。

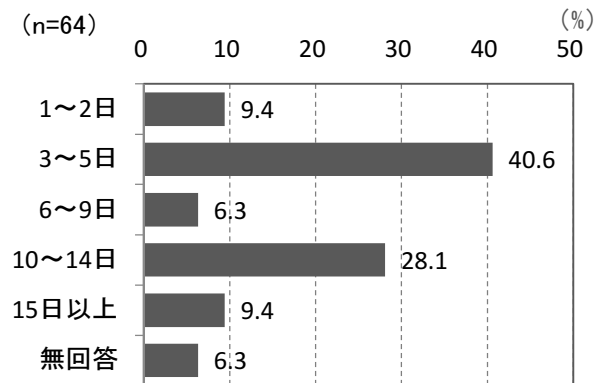
また、婚葬祭等では「3～5日」が40.6%で最も多く、次いで「10～14日」が28.1%となっています。

不定期の就労目的で利用したい希望日数は「10～14日」、「15日以上」がともに37.0%で最も多くなっています。

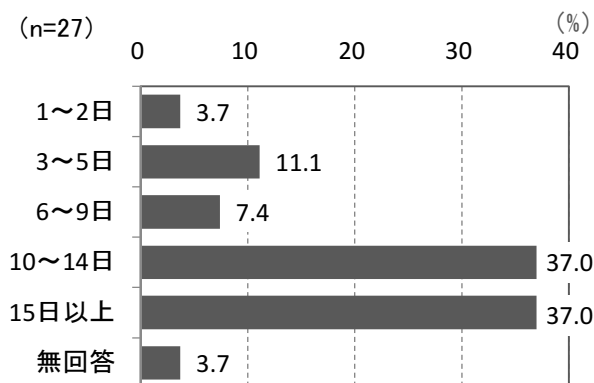
《私用、リフレッシュ目的》



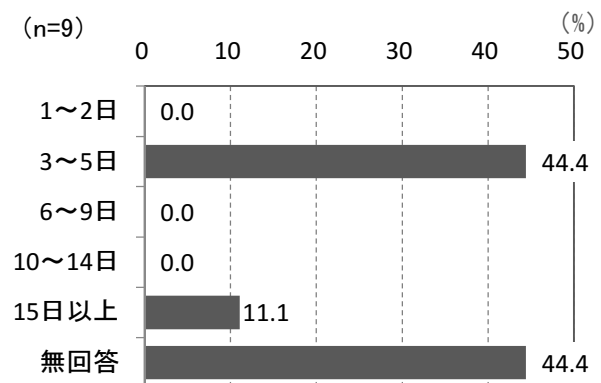
《冠婚葬祭等》



《不定期の就労》



《その他》

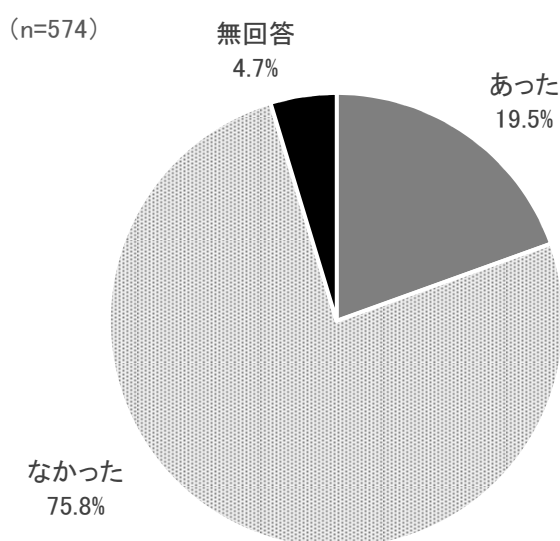


問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけまたは泊まり込みで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（複数回答・数量記入）

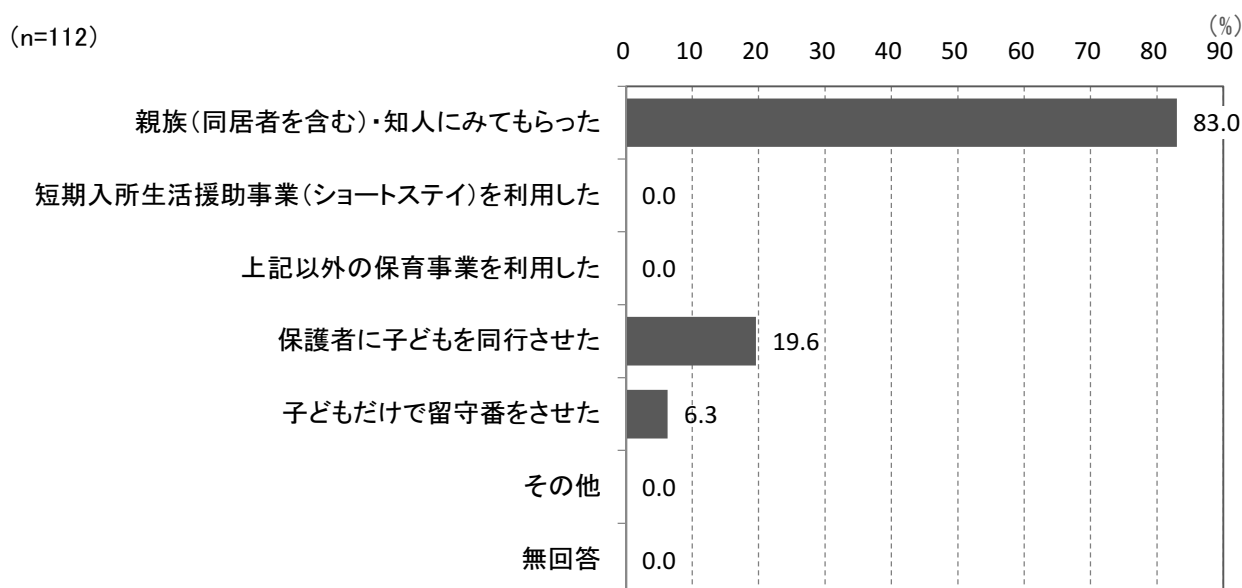
この1年間に、保護者の用事により宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについては、「なかった」が75.8%、「あった」は19.5%となっています。

また、その際の対処方法については、「親族（同居者を含む）・知人にみてもらった」が83.0%で最も多く、次いで「保護者に子どもを同行させた」が19.6%となっています。

親族・知人にみてもらった日数は「1～2泊」が47.3%で最も多く、次いで「3～5泊」が28.0%となっています。

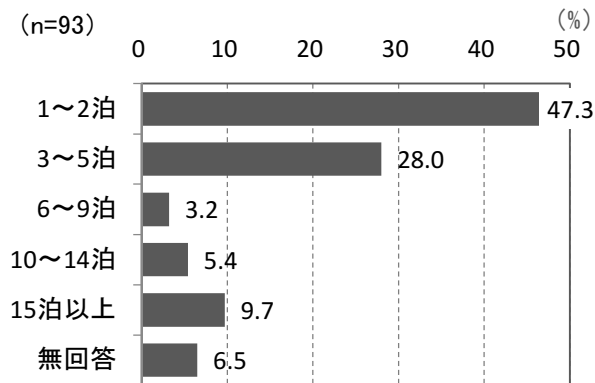


《対処方法》



《対処に要した日数》

① 「親族・知人にみてもらった」



《そのほか（サンプル数が50未満）の利用日数》

	保護者に子どもを 同行させた	子どもだけで留守番 をさせた
	n=22	n=7
1~2泊	68.2	42.9
3~5泊	9.1	0.0
6~9泊	0.0	0.0
10~14泊	4.5	0.0
15泊以上	0.0	0.0
無回答	18.2	57.1

7 新座市の子育て支援について

問 19 新座市ではさまざまな子育て支援の取り組みをおこなっていますが、次にあげる取り組みについて、どのくらい満足されていますか。(単数回答)

「大変満足」と「満足」を合わせた『満足』の割合は、「1. 地域の子育て支援への協力」が 47.6%で最も多く、次いで「4. 母と子の健康を育む環境」が 45.7%、「2. 地域住民と交流する機会」が 43.4%となっています。

一方、「大変不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合は、「14. 公園の整備」が 60.5%で最も多く、次いで「19. 子どもの安全に配慮した住環境」が 50.9%、「15. 仕事と子育ての両立環境づくり」が 43.5%となっています。

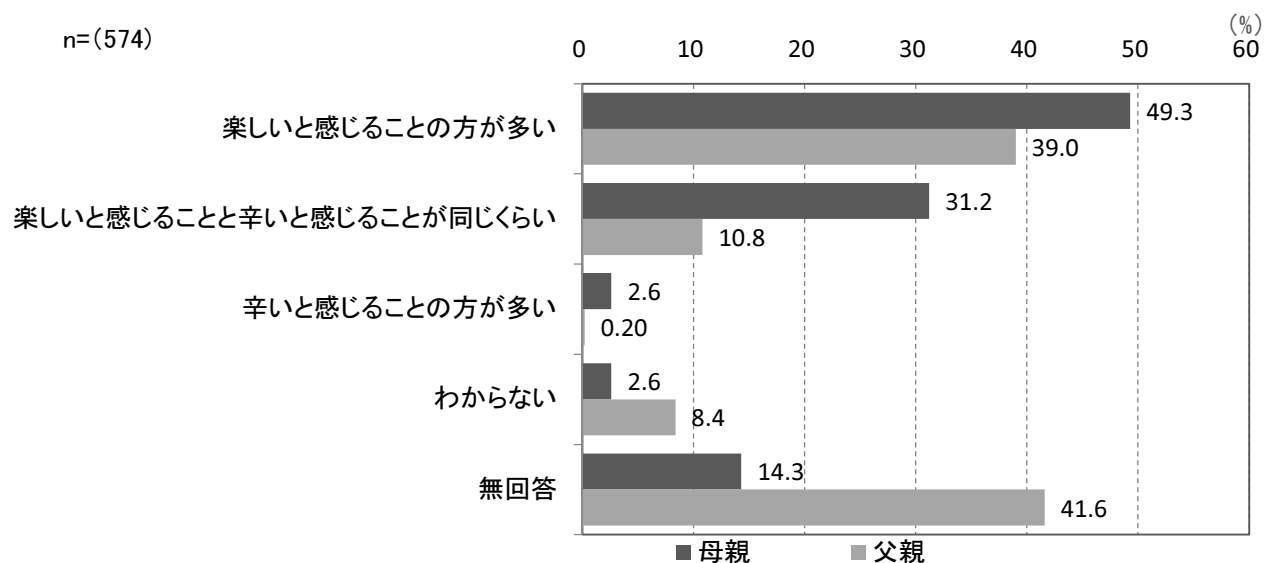


8 子育てで日頃感じていることについて

問 20 あなたは、子育てが楽しいと感じることが多いですか。(単数回答)

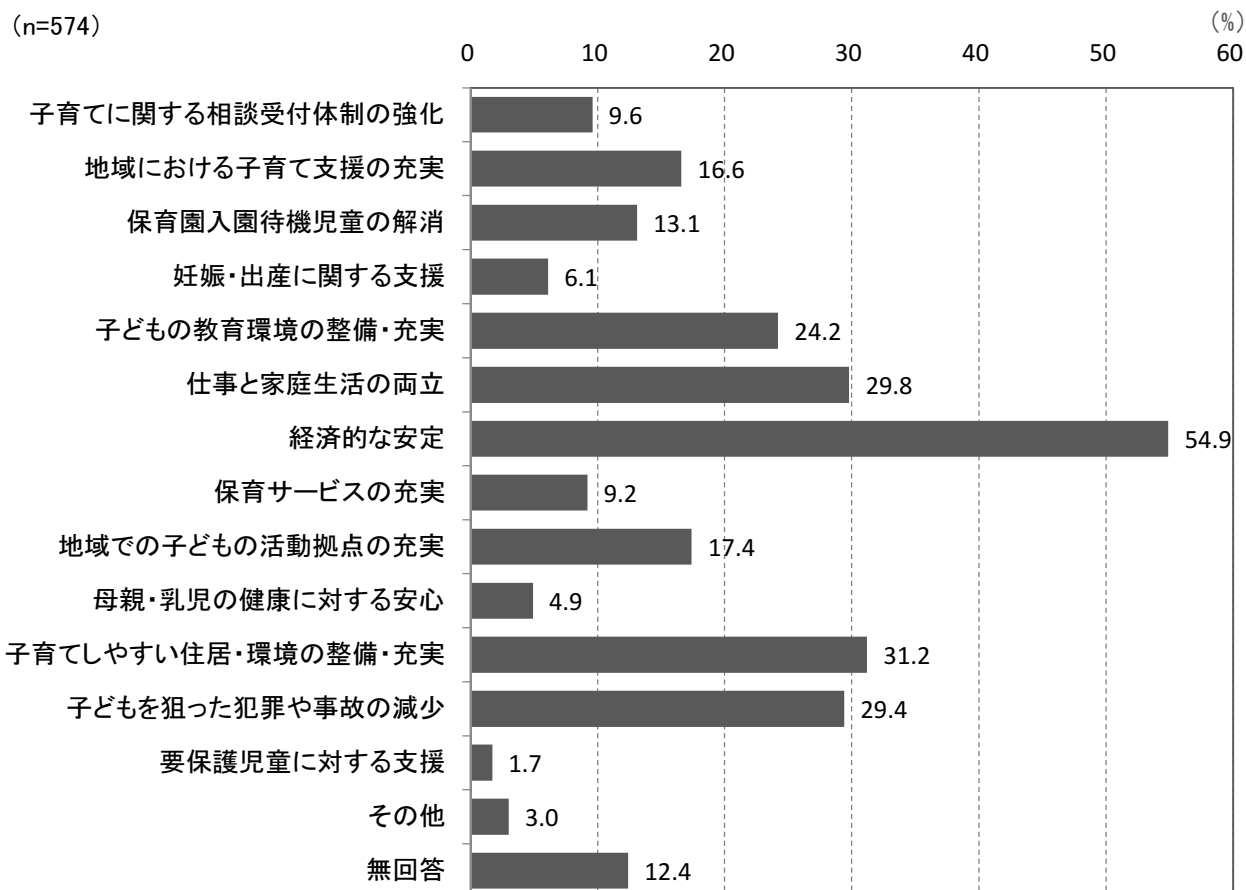
子育てが楽しいと感じることが多いかについて、母親は、「楽しいと感じることの方が多い」が49.3%で最も多く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が31.2%、「辛いと感じることの方が多い」および「わからない」は2.6%となっています。

父親は、「楽しいと感じることの方が多い」が39.0%で最も多く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が10.8%、「わからない」が8.4%となっています。



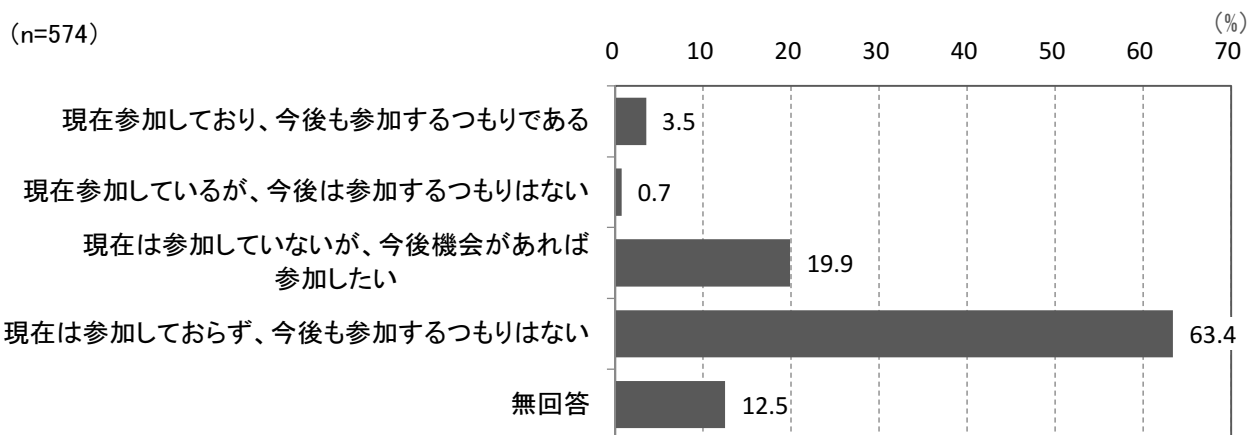
問 21 子育てをする中で、子育ての辛さを解消するためには、どのような支援・対策が有効だと思われますか。(複数回答)

子育ての辛さを解消するために有効だと思われる支援・対策については、「経済的な安定」が 54.9%で最も多く、次いで「子育てしやすい住居・環境の整備・充実」が 31.2%、「仕事と家庭生活の両立」が 29.8%となっています。



**問 22 あなたは、子育てサークルなどの自主的なグループ活動などに参加していますか。
(単数回答)**

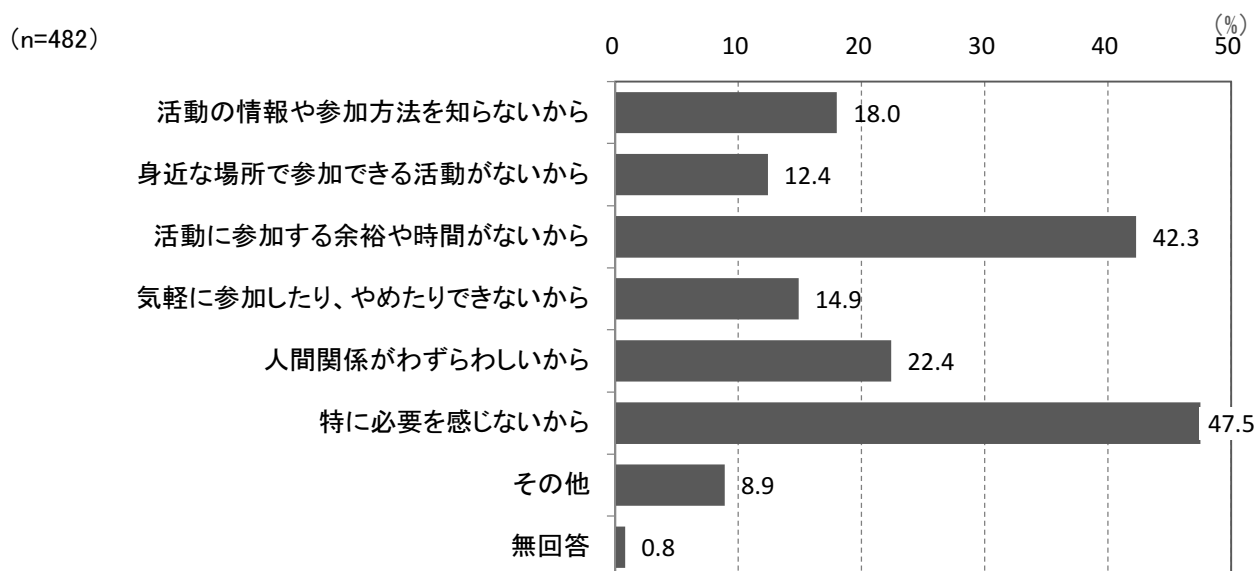
子育てサークルなどの自主的なグループ活動などへの参加については、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が63.4%で最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が19.9%、「現在参加しており、今後も参加するつもりである」が3.5%となっています。



【問 22 で「2～4」に○を付けた方にうかがいます】

問 22-1 参加していない理由、または今後参加しない理由は何ですか。(複数回答)

活動に参加していない、または今後参加しない理由については、「特に必要を感じないから」が47.5%で最も多く、次いで「活動に参加する余裕や時間がないから」が42.3%、「人間関係がわずらわしいから」が22.4%となっています。



自由回答

1. 自由回答の概要

今回のニーズ調査の中で、子育てに関して日頃感じていることや悩みごと、お子さんを育てている上で気をつけていること、新座市への要望事項等について、自由記述形式でご意見をいただきました。それらを項目ごとに分類すると以下のようになります。

分野	件数
回答数	247 人
1. 放課後児童保育室	86 件
2. 小学校	75 件
3. 遊び場	67 件
4. 児童センター	42 件
5. 保育園について	31 件
6. 子ども医療費、小児科、小児健診	29 件
7. 一時預かり	15 件
8. 児童手当	15 件
9. 中学校	13 件
10. 幼稚園	11 件
11. 障がい	5 件
12. ファミリー・サポート・センター	5 件
13. パパ・ママ・応援ショップ	3 件
14. 子育て支援センター	2 件
15. その他	137 件
合計	536 件

2. 自由回答における意見一覧（抜粋）

1. 放課後児童保育室（86件）

<ul style="list-style-type: none"> ・学童の人数が多すぎる。
<ul style="list-style-type: none"> ・新座の学童は行事が多く、働いてる人にとっては負担に感じることがある。行事の多さから辞めるものも居る。他の市町村の学童の様子を観察して新座の学童の向上を。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供を学習塾に通わせるには経済的に負担が大きいので、小中学校の放課後に塾講師を招いて希望者が勉強できるようにして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童保育室は時間が6時までで保育園より短く困る。
<ul style="list-style-type: none"> ・池田地区在住。子供の移動の安全面からも学校併設の学童を考えて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学童に預けなくても済むように放課後も校庭を開放して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の大規模化問題は近年益々酷くなっており、一刻の猶予も無い。100名も居る大規模保育室の環境に馴染めない。とにかくうるさくて耐えられない。静かに過ごせない。
<ul style="list-style-type: none"> ・学童がずっと定員オーバーの広さのまま改善されず残念。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分は夜勤のパートをしているが、放課後児童保育室は利用できないので、せめてココフレンドが利用できれば自分にも子供にも助かる。
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時には家に残っている児童に対しても学校・学童などで卒業するまで見守る事の出来る体制を作ってもらいたい。学校の登下校についても、交通指導員の配置時間を延ばして、暗くなりかけの一番事故の多い時間帯も是非立っててもらいたい。

2. 小学校（75件）

<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護などで行事の写真が一切無い上に保護者の撮影もNG。しかしセキュリティーはズサンで誰でも出入りできる。先生方の声かけも無し。PTA活動は働いている保護者には厳しい時間帯ばかり。仕事を休んで出席しろと強要される。
<ul style="list-style-type: none"> ・ココフレンドを全小学校で行って欲しい。学区構成がおかしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校によって児童数の差が多い。学区の見直しをして児童数が平均化すれば、学童の子供たちの人数も平均化するのでは？
<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学童・保育園と、働く為に入れているのに、行事・手伝い等、無駄に多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の先生方のやる気の無さが目立つ。耳を疑うような先生の話が沢山入ってくる。スマートフォン等を扱う上での怖さやデメリット等、親と一緒に学校も教えて行って欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・パートを始めたが、長期休みや振り替え休日が不安。夏休み以外の長期休みでも学童や放課後児童保育を開けて欲しい。

3. 遊び場（67件）

<ul style="list-style-type: none"> ・公園や道路の整備が行き届かず、道を挟んだ隣の区との差を感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後に子供達が安心・安全に遊べる場所が欲しい。児童センター近くに無い。
<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞から数年前に越してきた者ですが、施設が遠い為、身近に感じた事が無い。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供の遊べる場所も少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・せっかくの公園の作り方に疑問を感じる。小さい子供から大きな子供まで遊べる遊具等を設置して欲しい。また、水遊びのできる公園もあればよい。
<ul style="list-style-type: none"> ・同級生は忙しいようで、ゲーム機で遊ぶ事が多いようだ。ココフレンドに行けば良いのだが、子供が学校を好きでないため行きたがりませんし、制度に窮屈さを感じる。遊びをリードしてくれる人が居ればもっと魅力が出ると思う。

4. 児童センター（42件）

・安全な場所に新しい児童館が欲しい。
・子供の人数が増えているのに、30人学級制や、児童センターなどの環境が追いついてない。
・近くに児童館が無い。図書館が無い。
・保育園を作るなら、児童館なども併設して放課後の子供の居場所作りを考えて欲しい。
・子育て支援センターやココフレンドも良い取り組みだと思うが、児童館をそれぞれの地域に作って欲しい。それぞれの公民館に併設するなど考えて欲しい。こんなに広い新座に児童センターがひとつというのはなぜ長年見直されないのか。
・市内に児童センターが2つだけなのはヒドイと思う。税金納めているのだから小学生以上の子が集える児童館をもっとたくさん作って欲しい。

5. 保育園について（31件）

・保育所の一時預かりが急には出来ないのが困った。
・多少の負担はあっても病後児童を預かってもらえるシステムが欲しい。
・保育園、学童保育とも親が付き添わなければならない業務、係などがありそのような部分のサポートをしてほしい。
・都内から引っ越してきたが保育料が驚くほど高い。
・保育環境の充実。預かるだけではなく、教育の場としても充実させて欲しい。保育園は充実すると、幼稚園の助成が減ると言う話を聞いた。
・保育園より幼稚園に入りたいが、帰宅時間が早い為、短時間で働く場所が無く働きに行けないと言う人が多い。
・子供が小さい時、一時保育を2件の保育園で頼んでいたが全然働けず、結局働いた分のお金は保育園の費用でほとんど消えた。家庭に余裕が無いと学校を選べないのは不公平。
・仕事を始める際、保育園の一時預かりを利用したいと思った時に、幼稚園へ通っていた為断られた。それならこの保育園も一時預かりをうたわない方がいいのでは？

6. 子ども医療費、小児科、小児健診（29件）

・就学児の医療補助は本当に助かる。
・保健センターでの関わり（定期健診）が終わると、子育てについて話を聞く機会がなくなりますが、学年毎に成長の特徴について専門部門（教師ではなく養護教諭や保健師など）の先生からお話をしてもらおう機会が必要ではないかと感じました。
・休日診療、特に小児科をやっている所が少ない。遠い。
・新座市の夜間救急や休日医療等がどうなっているのか情報が少なく不安。

7. 一時預かり（15件）

・保育所の一時預かりが急には出来ないのが困った。
・一時保育の定員をもっと増やして欲しい。
・長期休み中に一時預かりを探すのに苦労した。
・一時預かりの定員が少ない。金額も高い。もっと安くして預けられる施設を増やして欲しい。

8. 児童手当（15件）

・ひとり親の方が支援があるとか、離婚を考えている女性は支援やっていた方が楽と話す方も居て、ひとり親の責任が昔より少なくなっているのは、支援が裏目に出ているのではないのでしょうか。
・今後は大学入学などにも補助や税金の軽減などをして欲しい。
・近隣と比べ保育料が高く、幼稚園などの補助も少ない。
・補助金も周囲の市に比べると少ない。

9. 中学校（13件）

・中学生は道幅いっぱい歩いたり飲食・深夜徘徊していても先生達は見て見ぬフリ。
・中学校の制度が学校によって違うのはおかしい。市内統一を希望する。
・私立中学受験が増えてきている。学費の援助等も充実して欲しい。

10. 幼稚園（11件）

・幼稚園代の負担金大きい。条件付きなど付けずに支援が欲しい。
・保育環境の充実。預かるだけではなく、教育の場としても充実させて欲しい。保育園は充実すると、幼稚園の助成が減ると言う話を聞いた。
・新座市は幼稚園が私立しかない。公立の幼稚園が欲しい。

11. 障がい（5件）

・特別支援体制が学校で不十分過ぎる。個別支援計画を立てて指導していない。特別支援児童の実態把握が全くできていない。
・療育手帳A・Bには手当金があるがCには無いのはなぜ。苦労は全て同じです！障がい児の親と言うのは親全体から見れば少数派かもしれないが、同じように育てたいと言う気持ちがある。
・全ての小学校に支援学級を設置して欲しい。

12. ファミリー・サポート・センター（5件）

・保育士ですが、ファミリーサポートの研修会に参加したところ、給料が安すぎるのに驚いた。資金援助を預かる側にも必要。また研修会なども必要だと思う。
・知人がファミリーサポートする側をしているが、預かった子供の面倒を自分の子供にやらせ自分は家事をしていたり、預かった子供の家庭事情を他人に話している。これはどうなのか。

13. パパ・ママ・応援ショップ（3件）

・パパママ応援ショップも良いシステムだと思う。
・妊婦の時に頂く割引等になるカードですが、近くで使える場所がほとんど無いのであまり意味が無いです。

14. 子育て支援センター（2件）

・支援センターも少なく情報も無い。

15. その他 (137 件)

・ 経済的に苦しい家庭でも十分な教育をさせられる環境になってほしい。
・ 子供の安全を第一に。外灯を増やしたり見通しの悪い交差点の改善。
・ 協力したいが、このアンケートは多すぎて少し負担。
・ 子育て支援が未就学児に偏っているように感じる。子供が地域ボランティアに参加できる様な活動があまり無いように感じる。あったとしても情報が少なく広報誌以外ではなかなか知る機会が無い。
・ 小学校・学童・保育園・子供会等、基本的にはとても良く見てくれて感謝している。ただ、どこかに入ると必ず役員や係りがありとても辛い。子供が増えるとその分、役も増え今年は三つで済んでいるが、来年から六つに増える予定だ。とても生活が成り立たない。子供が多いと、とても働ける環境にならない。
・ 税金が高い。
・ 歩道の整備・居場所作りでは新座市はかなり遅れている。
・ 安心して働ける環境作り・子供たちを安心して守れる地域・新座市に住みたい！と思える子育て支援をお願いします。

新座市子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

発行：平成 26 年 3 月

編集：新座市 福祉部 保育課

〒352-8623

埼玉県新座市野火止 1-1-1

Tel 048-477-1111 (代)

Fax 048-482-6922
